

北海道議会時報

昭和60年第1号

第 1 回 臨 時 会
第 1 回 定 例 会



北海道議会事務局

北海道議会時報第37巻第1号(昭和60年第1回臨時会第1回定例会)

(表紙写真説明)

道北観光圏

日本海の北の果てに浮ぶ利尻、礼文島をはじめ、海鳥が乱舞する天売島、美しいイチイの森と羊がのどかに群れる焼尻島、初夏ともなれば、エゾカンゾウの咲き乱れる広漠としたサロベツ原野など離島、海蝕海岸、高山植物群等数多くの優れた自然観光資源を有している。

写真は、花の浮島といわれる礼文島桃岩の花園から望んだ利尻富士である。

(礼文町観光協会提供)



和田勝之議員逝去

議員和田勝之氏（自民、札幌市西区選出）は、2月18日午後11時、急性心筋硬塞のため、札幌市医師会夜間急病センターにおいて逝去され、2月23日、札幌市西区博善斎場において告別式が執り行われた。行年58歳。

なお、3月1日、第1回定例会本会議において、相沢武彦議員（公明党、札幌市西区選出）から追悼演説が行われ、次いで、全員起立のうえ黙禱がささげられた。

追 悼 演 説

和田勝之先生、あなたの黄泉の国への旅立ちは、余りにも余りにも突然でした。

あなたとは、1月25日夜、市内のホテルで開かれた西区交通安全協会の新年会で同席しましたが、そのときは、いつものようにお元気でした。それから20日余りにして、にわか身まかろうとは、諸行無常なるは世の習いとは申せ、悲報に接したとき、我が耳を疑い、しばし茫然と立ちすくむような衝撃を受けたのであります。

同じ選挙区であった和田先生と私は、区内での催しで、よく御一緒しました。しかし、日ごろはお互いに忙しい身、顔を合わせても立ち話程度でしたのに、あの夜は、あなたのお誘いで席を変え、一階の喫茶ホールでコーヒーを飲みながら2時間半にもわたって教育問題や西区の将来、さらには北海道の将来についても熱っぽく語り合い、そして、近く始まる第1回定例会に備えて、「お互いに心身ともに充電しておかねば……」とホテルを後にしたのでした。

今にして思えば、あのときのあなたの情熱、幾度となく腰を浮かしかけた私を引きとめ、長い時間話し込まれたのは、あなたの私に対する惜別の詩だったのでしょか。

あの夜は、再び帰り来ぬ。

今、私は、かけがえのない政治家、すばらしい人を永久に失ってしまった無念で胸のかきむしられる思いを禁じ得ません。

和田先生、あなたは札幌市議会議員を経て、昭和50年に北海道議会議員に初当選、以来3期10年にわたって道政発展のために心血を注がれてきました。

あなたと私との出会いは、昭和58年の統一地方選挙の一年前、春なお浅きちょうど今ごろ、ある福祉団体の総会の席上でした。和田先生のごあいさつを伺って、あなたが福祉問題にすぐれた御見識を持たれ、また、みづから社会福祉法人を設立され、社会福祉事業の向上に献身的な努力をされていることに深く心を打たれたことが、きのうのこのように思い出されます。

会合の後、私に対して「あなたのような人が立候補してくれるので、喜んでいるんですよ。お互い頑張りましょう」とあの厚みとぬくもりのある手で、しっかりと握り締めてくれました。その後、ともに宿願を果たしたのでありますが、いつどこで顔を合わせても、必ずあなたの方から声をかけられ、握手を求めてくださいました。

和田先生の礼儀の正しき、人柄のよさは、だれしもが感服するところですが、議会への登庁、退庁の際、「おはようございます」「御苦労さん」と大きな声で親しみを込めて職員などに声をかけられていた様子は、まさに模範的なお姿でした。

思えば、あなたとの交友は極めて短いものでありました。しかし、あなたの印象は、私の胸の奥底に深く深く焼きつき、消ゆることはないでしょう。

和田先生は、道政各般にわたる諸問題に意欲的に取り組んでこられました。とりわけ、膨張する道都札幌の過密問題には早くから問題意識を持ち、都市機能の分散を力説されるとともに、中小企業対策を初め、札幌医科大学や公立高校の整備促進、国鉄の高架化並びに石狩湾新港の建設促進の諸問題について、その解決策を迫り、見事な答弁を引き出して、みずからもその推進に奔走されてまいりました。

また、予算特別委員長、公害対策特別委員長を初め、多くの要職を歴任されておりましたが、殊に公害対策特別委員長当時、日高中央横断道路の道道認定問題の審議の際、建設委員会との連合審査会を主宰するなど、縦横の活躍をされたのであります。

また、いずれの議会においても最も難しいと言われる議会運営委員会にあっては、当時、与党の筆頭理事として効率的な議会運営に絶えず頭を悩まされ、議会の運営がデットロックに乗り上げたときなど、一刻も早く軌道に乗せるために、あのにこやかな風貌の中にも緊張感をみなぎらせながら、まさに八面六臂の活躍をされたのであります。

和田先生、あなたの道議会議員としての輝かしい足跡は、この本会議場がそして、あなたが活躍された各委員会室が一番よく知っているのであります。この壇上からユニークな提言を交え、あのソフトな語り口で、しかも熟ぼく代表質問や一般質問を行われたお姿は、あなたを知る人々の脳裏にあなたも走馬燈のように今よみがえっているであります。

道民の負託にこたえる道議会、和田先生が3期10年間傾けられたその御努力と御功績は衆日の一致するところであり、私ども同僚議員の敬服してやまないところでもあります。

また、あなたは政党人として自由民主党札幌西区連合支部長を初め、道連政務調査会副会長、同国民運動北海道本部長などの要職を歴任され、道内政界の将来を担う大器として注目されていたのであります。

このようなあなたの業績に対し、本日、従六位勲五等瑞宝章が授与されましたことは、御生前の血のにじむ労苦の結晶と拝し、皆様とともに最大の賛辞を贈りたいのであります。

温厚重篤な議会人であったあなたは、またよき家庭人でもありました。去る2月18日も夜の会合から帰宅され、目に入れても痛くないお孫さんに声をかけられた後、食堂のテーブルで新聞に目を通してのうち、崩れるように倒れられ、直ちに救急センターへ運ばれたのであります。午後11時、急性心筋硬塞のため、呼べどこたえず、不帰の客とされたのであります。

手稲で生まれ、手稲で育った和田先生、あなたが、こよなく愛した手稲の山々は、いまだ深い白雪に覆われ、ひっそりと声を潜めています。その樹林の陰に間もなく純白の花をつける早春のコブシ、あなたは、その花を見ずしてこの世を去られてしまいました。

今、和田勝之先生という巨星をにわかにかきましたことは、御家族の御悲嘆はもとより、歴史の大きな転換期を前にした本道にとりましても大きな損失であり、返す返すも痛恨のきわみであります。

58歳の余りにも余りにも輝ける未来を奪った天を恨む。

道政の発展へ我が身を燃焼し尽し、忽然として、この世を去った和田勝之先生、あなたの魂魄は、今なおこの議場にとどまり、私たちを、そして道政の行く末を見守られていることでしょう。

今、あなたとの永遠のお別かれに当たり、最後に万感の思いを込めて自作の追悼の詩を
ささげます。

人生夢の如く赤煙の如し

君逝いて痛恨涙潜々

噫々政界屈指の君今その雄姿なく

髣髴たる温容偲びて冥福を祈るのみ

和田勝之先生、安らかに黄泉の旅路に赴かれんことを。

……第1号もくじ……

第1回臨時会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	3
景気対策予算審査特別委員会	4

第1回定例会

概 要	5
本 会 議	6
提 出 案 件	20
意 見 案	23
請 願・陳 情	27

委員会 の 動 き

議会運営委員会	30
常任委員会	40
特別委員会	50
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
予算特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	61
都道府県議会議員共済会	61

資 料

第1回定例会において議決を経た 条例の公布調	62
提出案件の処理状況（昭和59年中）	63
議員提出案件及び処理結果一覧	64
請願・陳情の件名及び処理経過一覧	65

1・2・3・4月のメモ

議 会 日 誌



- | | | | |
|--------|--|--------|---|
| ▶ 1月 | | 8日(金) | 議会運営委員会 |
| 11日(金) | 各常任、石炭対策特別、北方領土
対策特別各委員会 | 11日(月) | 議会運営委員会 |
| 16日(水) | 決算特別委員会 | | 本議会 (代表質問<2人>) |
| | | 12日(火) | 議会運営委員会 |
| ▶ 2月 | | | 本議会 (代表質問) |
| 1日(金) | 水産委員会 | 13日(水) | 議会運営委員会 |
| 5日(金) | 議会運営、総務、厚生、商工労働、
農務、建設、農地開発、文教林務、
総合開発調査特別、公害対策特別、
エネルギー問題調査特別各委員会 | | 本議会 (代表質問、石狩湾新港管理組
合議会議員の補欠選挙、追加提案説明) |
| 15日(金) | 議会運営、決算特別各委員会 | 14日(木) | 議会運営委員会 |
| 20日(水) | 議会運営、各常任、総合開発調査
特別、石炭対策特別、北方領土対
策特別、公害対策特別、エネルギー
問題調査特別各委員会 | | 本議会 (一般質問<1人>) |
| 21日(木) | (第1回臨時会開会・閉会) | 15日(金) | 議会運営、建設各委員会 |
| | 議会運営委員会 | | 本議会 (一般質問<6人>) |
| | 本議会 (会期決定<1日間>、提案説
明、景気対策予算審査特別委員会設置、
景気対策予算審査特別委員長報告・審
査終了、補正予算等可決) | 18日(月) | 議会運営委員会 |
| 22日(金) | (第1回定例会開会) | | 本議会 (一般質問<2人>) |
| | 議会運営委員会 | 19日(火) | 議会運営委員会 |
| | 本議会 (会期決定<33日間>、道政執
行方針並びに提案説明、教育行政執行
方針) | | 本議会 (一般質問<4人>) |
| | | 20日(水) | 議会運営委員会 |
| | | | 本議会 (一般質問<5人>) |
| | | 22日(金) | 議会運営委員会 |
| | | | 本議会 (一般質問<3人>) |
| | | 23日(土) | 議会運営委員会 |
| | | | 本議会 (一般質問) |
| | | 25日(月) | 議会運営、商工労働、農務各委員
会 |
| | | | 本議会 (一般質問<1人>、予算特別
委員会設置、先議案件議決) |
| | | | 予算特別委員会(正副委員長の互選、
予算第1・第2・第3各分科会設置) |
| ▶ 3月 | | | 予算第1・第2・第3各分科会
(正副委員長の互選) |
| 1日(金) | 議会運営、農務各委員会 | 26日(火) | 議会運営委員会 |
| | 本議会 (追悼演説、特別委員補欠選任、
代表質問<2人>) | | 本議会 (会期延長<3日間>) |
| 4日(月) | 議会運営、総務各委員会 | | 予算第1・第2・第3各分科会
(各部所管審査) |
| | 本議会 (意見案1件可決) | | |
| 5日(火) | 議会運営委員会 | 27日(水) | } 予算第1・第2・第3各分科会
(各部所管審査) |
| | 本議会 (代表質問) | 28日(木) | |
| 6日(水) | 議会運営委員会 | 29日(金) | 議会運営委員会 |
| | 本議会 (日程延期) | | 本議会 (会期延長<1日間>) |
| 7日(木) | 議会運営委員会 | | 予算第1・第2・第3各分科会 |
| | 本議会 (代表質問) | | |

30日(土) (各部所管審査)
議会運営、各常任、石炭対策特別、
公害対策特別、エネルギー問題調
査特別、決算特別各委員会
予算第1分科会(各部所管審査)
予算特別委員会(総括質疑、意見調
整)
本会議(各委員長報告、議案等可決、
追加提案説明、公安委員会委員の選任
同意、意見案3件可決、請願・陳情審
査)
(第1回定例会閉会)

▶ 4月

1日(月) 商工労働、建設、農地開発、水
産、文教林務各委員会
9日(火) 総務、厚生、農務各委員会
18日(木) }
23日(火) } 決算特別委員会
24日(水) }
25日(木) }

第1回臨時会

景気浮揚対策補正予算可決

概 要

- ① 国の景気浮揚対策の前倒しに係る補正予算等を審議する第1回臨時会は、2月21日招集され、会期を2月21日、1日間と決定の後、知事から、189億6,500万円余の景気対策補正予算等3件が上程され、知事から提案説明。

次に、景気対策予算審査特別委員会を設置の上、直ちに関係案件を同委員会に付託し、付託案件の審査のため休憩。再開後、景気対策予算審査特別委員長から、付託案件に対する委員長報告の後、異議なく委員会決定のとおり原案可決又は承認議決と決定して、今期臨時会に付議された案件は、すべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、午後3時閉会した。

- ② 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処理の状況			計
		原案可決	承認議決	報告のみ	
知事	3	1	1	1	3
計	3	1	1	1	3

本 会 議

吉田 英治 (社会) 藤井 虎雄 (社会)
新沼 浩 (自民) 笹浪 幸男 (自民)
作田 政次 (自民)

○2月21日(木) 午前10時18分開議、三上勇議長、昭和60年第1回臨時会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、議長から、元道議会議員大内三治氏(1月9日)、大浦貞助氏(1月27日)及び和田勝之議員(自民)の逝去(2月18日)について弔意を表した旨報告。故和田勝之議員の追悼演説については、第1回定例会の3月1日の冒頭に行うことを決定。

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期臨時会の会期を2月21日、1日間とすることを決定。次に、

日程第3 議案第1号及び報告第1号を議題とし、知事から提案説明の後、木本由孝議員(自民)から、議案第1号及び報告第1号について、17人の委員をもって構成する景気対策予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査されたい旨の動議を提出、賛成があつて動議成立、これをはかつて異議なく可決。動議に係る案件は同委員会に付託の上、次の委員(配付名簿のとおり)を議長指名により選任。付託案件の審査のため午前10時23分休憩、午後2時52分再開。諸般の報告の後、

追加日程 議案第1号及び報告第1号を議題とし、作田政次景気対策予算審査特別委員長(自民)から、議案第1号及び報告第1号の審査経過と結果について報告の後、異議なく委員長報告のとおり原案可決または承認議決と決定し、今期臨時会に付議された案件は、すべて議了。三上勇議長から閉会のあいさつがあつて、午後3時閉会。

○景気対策予算審査特別委員(17人)

相沢 武彦(公明)	大野 忠義(自民)
木戸浦隆一(自民)	高橋 庸(社会)
一野坪 勉(社会)	樺林 巖(社会)
中川 隆之(道政)	岩本 允(自民)
桜井 外治(自民)	中川 義雄(自民)
石山 直行(自民)	宇川 源吉(自民)

景気対策予算審査特別委員長報告

私は、景気対策予算審査特別委員会に付託されました議案第1号及び報告第1号の審査経過と結果について御報告申し上げます。

本委員会には、景気対策にかかわる昭和59年度一般会計補正予算1件及び専決処分報告1件が付託されたのでありますが、その大要は、国における債務負担の措置による昭和60年度分の公共事業を前倒しして実施することができることになったことに伴う公共事業費でありまして、その総額は、189億6,500万円余となっているのであります。

委員会といたしましては、直ちに正・副委員長の互選を行うとともに、審査の方法等について協議を行った結果、補正予算の緊急かつ重要性にかんがみ、本日、慎重に審査を行った次第であります。

以下、付託案件に対する質疑を通じ、論議の対象となりました主な事項を申し上げますと、

景気対策国費補正予算の本道配分に対する受け止め方と景気に及ぼす波及効果。

本道経済活性化対策にかかわる経済界からの要望に対する認識及び対応措置。

昭和59年度の景気浮揚対策の推進状況とその成果及び本道景気停滞の原因。

補正予算の適正な運用と執行に対する見解。

昭和60年度の景気予測と61年度分の前倒し措置についての取り組み姿勢。

工事発注にかかわる前払い金の適正運用に対する指導と地場企業への優先発注、下請保護に対する指導と雇用対策における効果及び今後の指導。等の諸問題を中心に質疑が交わされた次第であります。

質疑終結後、各党派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、いずれも全会一致、議案第1号は、原案可決、報告第1号は、承認議決と決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案審査の経過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

第1回臨時会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議決月日	議事結果
2. 21	1	昭和59年度北海道一般会計補正予算（第8号）	景気対策 予算審査 特別	2. 21	原案可決

報 告

提出月日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議決月日	議事結果
2. 21	1	専決処分報告につき承認を求める件〔昭和59年度北海道一般会計補正予算（第7号）1月31日専決処分〕	景気対策 予算審査 特別	2. 21	承認議決
同	2	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定1月4日1件、1月16日1件、2月2日1件、2月4日2件、2月13日1件、2月14日1件専決処分）			報告のみ

景気対策予算審査特別委員会

○2月21日(木) 午前10時38分、第1委員会室
において開議、午後2時20分

閉会

委員長 作田 政次(自民)

正副委員長の互選

- ① 作田政次臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法についてはかり、吉田英治委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって作田政次委員(自民)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、宇川源吉委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって藤井虎雄委員(社会)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午前10時42分休憩、午前10時45分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査、質疑の方法について協議決定した。
- ④ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとするに決定。
- ⑥ 本委員会の運営について、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名計6名の理事を選び、その協議により行うことをはかり異議なく決定。理事には、宇川源吉委員(自民)、桜井外治委員(自民)、吉田英治委員(社会)、榎林巖委員(社会)、中川隆之委員(道政)、相沢武彦委員(公明)をそれぞれ選出。
- ⑦ 委員外議員の発言の取扱いについて、その都度委員会にはかり決定することとした。
- ⑧ 議案第1号及び報告第1号を一括議題とし質疑に入り、

桜井 外治委員(自民)から、

景気対策の問題に関し、補正予算が国会で補正可決され、本道に配分があったことに対する評価と本道景気に対する波及効果、58年度・59年度の経済状況の認識と対応、景気に対する経済企画庁の考え方、自民党道連の総

合開発推進調査会の活動に対する道の考え方、景気浮揚に係るこれまでの対策及び効果、景気対策が遅れている原因、今回の追加補正についての道の基本方針、執行に当たっての総括的な方針、前倒し政策に対する道の取り組みについて

中川 隆之委員(道政)から、

補正予算に関し、工事の前渡金が末端の業者まで行きわたるために道が指導する考え、地域に均衡ある事業の配分と地場企業の優先発注に対する見解、倒産が増加している原因、工事発注に関し、事業内容、発注時期、前払金の適切な運用方について

大橋 晃議員(共産)から、

景気対策に関し、道内における経済状況と道民生活の状況に対する認識、公共事業による景気対策としての効果に対する認識、住宅建設が今回の景気対策予算に入っていない理由、中小業者の受注確保に対する見解、下請業者の保護に対する見解、これまでの公共事業による雇用効果、今回の補正予算に係る公共事業発注による雇用効果の見直し等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長、土木部長、農地開発部長、住宅都市部長、水産部長、林務部長及び労働部長から答弁。

付託案件に対する意見調整のため、午後2時18分休憩、午後2時19分再開。

- ⑨ 委員長から、議案第1号については原案可決、報告第1号については承認議決とすることについてはかり、異議なく決定。
- ⑩ 付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することについてはかり、異議なく決定。

委員長から、付託案件の審査終了にあたってあいさつがあった。

第 1 回 定 例 会

総額 1 兆 8,349 億円余に及ぶ昭和 60 年度当初予算成立

▶ 北海道企業立地促進条例案可決 ◀

概 要

- ① 横路道政の 3 年目を迎え、産業・経済の活性化、景気対策、福祉医療対策等の政策予算などを審議する第 1 回定例会は、2 月 22 日招集され、会期を 3 月 26 日までの 33 日間と決定の後、総額 1 兆 8349 億 700 万円余に及ぶ昭和 60 年度当初予算並びにこれに関連する議案等が上程され、知事から道政執行方針及び提出案件に関する説明、教育長から教育行政執行方針に関する説明の後、議案調査のため、2 月 23 日から 28 日まで休会した。
- ② 休会あけの 3 月 1 日は、北方領土対策及び決算両特別委員を補欠選任の後、代表質問に入り、中川義雄議員（自民）からの知事の政治姿勢、新計画策定等に係る再質問に対する知事答弁で審議が中断し、議案調査のため 3 月 2 日を休会とした。4 日に審議が再開され、「昭和 60 年度畜産物価格等に関する要望意見案」を原案のとおり可決。翌 5 日、知事答弁で審議が中断、7 日に審議が再開されたが、再び中断、翌 8 日、議案調査のため 3 月 9 日を休会とした。
- ③ 休会あけの 3 月 11 日から代表質問を継続し、13 日に終結。次いで、石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選任の後、昭和 59 年度補正予算等の追加提出議案について知事から提案説明。14 日から一般質問に入り、議案調査のため 16 日は休会することに決定の後、18 日から一般質問を継続し、25 日に終結。同日直ちに 52 人からなる予算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行った。
- ④ 予算特別委員会は、3 月 25 日、正副委員長との互選を行い、3 分科会を設置のうえ、昭和 59 年度補正予算等について先議を行い、同日質疑を終結し、予算特別委員長報告及び各付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも原案可決。26 日から各分科会において昭和 60 年度予算に対する各部所管審査に入り、30 日に質疑を終結し、各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑に入り、同日終結、採決の結果、議案第 1 号については付帯意見を付し原案可決、その他の議案はいずれも原案のとおり可決した。
- ⑤ 本会議再開日の 26 日は、会期を 3 月 29 日まで 3 日間延長することとし、3 月 27 日から 28 日まで休会することに決定。29 日、さらに 3 月 30 日まで 1 日間延長することに決定。
- ⑥ 会期最終日の 30 日は、各付託議案に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも原案可決。次に、北海道税条例の一部を改正する条例案、公安委員会委員の人事案件の 2 件が追加提案され、知事から説明の後、いずれも原案可決または同意議決。次に、「日ソ漁業に関する要望意見案」ほか 2 件の意見案を原案のとおり可決の後、請願・陳情審査の件について委員会決定のとおり 2 件を採択。次いで、前会から継続審査中の報告第 1 号（昭和 58 年度各会計歳入歳出決算）の閉会中継続審査並びに閉会申請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、前会から継続審査中の報告第 1 号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあつて、開会以来 37 日目の 3 月 30 日午後 9 時 50 分閉会した。
- ⑦ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況			計
		原案可決	同意議決	継続審査	
知 事	63	62	1	(1)	63(1)
議 員	4	4	—	—	4
計	67	66	1	(1)	67(1)

注 括弧内は、継続審査に係る議決件数を示し外数である。

本 会 議

○2月22日(金) 午前10時3分開議, 三上勇議長, 昭和60年第1回定例会の開会を宣し, 引き続き,

日程第1 会議録署名議員の指定を行い, 諸般の報告の後,

日程第2 会期決定の件を議題とし, 今期定例会の会期を, 本日から3月26日までの33日間と決定。次に,

日程第3 議案第1号ないし第50号を議題とし, 知事から道政執行方針及び提出議案に関する説明並びに教育長から教育行政執行方針に関する説明の後, 議案調査のため, 2月23日から28日まで休会することに決定し, 午前11時12分散会。

○3月1日(金) 午前10時7分開議, 諸般の報告の後, 議員和田勝之氏の逝去(2月18日)に対し, 相沢武彦議員(公明)から追悼演説が行われ, 次いで, 全員起立し, 故和田勝之議員の逝去に対する黙禱をささげた後, 議事進行の都合により, 午前10時18分休憩, 午前10時51分再開し,

日程第1 特別委員補欠選任の件を議題とし, 議長から, 古川靖晃議員(自民)を北方領土対策委員に, 中崎昭一議員(自民)を決算特別委員に, それぞれ指名し異議なく決定。次に,

日程第2 議案第1号ないし第50号を議題とし, 代表質問に入り,



保格 博夫議員(社会)

から, ① 知事の政治姿勢に関し, 平和を語る集いの取り組み, 道民の森構想, 反核・平和宣言についての所信, 知事公約の現状と達成に向けての展望と決意, 予算編成についての基本的な考え方, 国の補助率切り下げによる影響と道税収入の見込み, 地方財政の現状と道財政の今後の展開, 行政改革に対する基本認識, 支庁の機能, 市町村の行政改革についての指導方針, 新計画を策定するに当たっての

基本理念, 北海道経済の具体的な展望とプロセス, 巨大プロジェクトなどの課題への対応, 国際化と地域格差, 地域生活経済圏構想の基本的理念と政策意図, 圏域相互の関係づけと均衡ある発展, ローリングシステムによる具体的な推進計画, 基本的構想の今後の取り扱い方

② 福祉, 医療行政に関し, 地域福祉の推進に対する基本姿勢, 新しい福祉計画の策定に当たっての道民参加, 北海道保健医療基本計画の実績に対する評価, 新しい保健医療計画の取り組みについて検討, 地域における医師確保の現状認識と今後の対処, 救急医療情報システムの導入についての所信

③ 産業, 労働政策に関し, 企業誘致にかかわる理念, 外資系企業誘致運動のあり方, 地場産業や中小企業の具体的振興対策, 試験研究機関の役割, 北海道先端技術推進会議の提言に対する受けとめ, 食品加工の研究についての対応, 食品産業に関する窓口の一元化, 畑作地帯の基盤整備対策, 海外漁場の確保についての今後の見通しと新資源, 新漁場の開発の進め方, 北海道森林整備公社の役割と同公社を軌道に乗せるまでのプロセス, 季節労働者の実情, 新計画の中での通年雇用の方途, 季節労働者の冬期雇用援護制度の延長に取り組む決意

④ 当面する諸課題に関し, 北海道新幹線整備についての基本的な考え方と今後の取り組み, 建設費に係る地元負担に対する見解, 国際青年年の取り組み, 女性自立プランの策定など婦人問題に対する基本姿勢, 千歳川放水路計画に対する所見, 道庁西側周辺の再開発

⑤ 教育問題に関し, 新長期教育計画の作成に当たっての現状把握と教育理念, 中期的な目標の設定とローリングシステムの取り組み, 道民意向の反映, 高校長期収容計画及び生涯教育推進会議の報告と新長期計画との関連, 障害児の教育における高等部校の職業教育と進路指導, 子供とその父母及び父母と学校の交流の機会拡充等, いじめの実態や要因の把握と対応策, 女子非行防止対策の指導資料の内容と活用, 禁煙教育についての見解

⑥ 公安問題に関し, 公安行政全般にわたる警

察本部長の決意、長期的視野に立った交通安全対策、風営適正化法施行に伴う対応策、営業の自由等基本的権利と立入権等の運用について

質問があり知事、教育長及び警察本部長から答弁があって、議事進行の都合により、午後1時1分休憩、午後2時10分再開、次いで



中川 義雄議員(自民)

から、① 知事の政治姿勢に関し、苫東会社の金利負担軽減のための国に対する具体的要請状況、公約の実現と基本的認識、道政執行方針における公約の扱い、政教分離問題にかかわる知事の姿勢と客観的基準づくりなどその後の対応、防衛に対する基本認識、日米相互の分担と義務についての認識、本道の防衛現状に対する認識、自衛隊の演習・施設整備、市町村の自衛隊誘致に対する受けとめと道の対応、苫東工業基地開発第三段階計画における業種別想定根拠、航空宇宙産業を明示した根拠、素材型産業と航空宇宙産業との関連、新計画の企業立地政策における企業立地促進条例の位置づけ、同条例に基づく予算措置、苫小牧地区工業用水道料金値上げの理由、値上げによる増収見込み、大企業誘致の道費支出と地場企業育成の諸対策との関連と位置づけ、条例に対する現状認識

② 新計画の策定に関し、計画の策定方法、与党からの具体的な提言と基本構想骨子への反映、戦略プロジェクトの認識、プロジェクトの扱いについての見解、新しい生活モデルの提供、一次産業の体質強化、苫東など大規模工業基地の計画における位置づけ、交通ネットワークの構図、整合性に欠けた骨子案発表の責任、女性の地位向上など婦人問題の取り上げ、教育をめぐる現状と施策、新しい教育システム

③ 道財政と行財政改革問題に関し、道税など一般財源の伸びと歳出規模の伸び、財調基金などの全額取り崩しによる不安感と道民への影響、61年度以降の予算編成、地方交付税の伸びを大きく見込んだ理由、公債費や人件費の増加による財政の硬直化に対する認識、中

期的な財政計画の策定、予算の効率的な重点配分のガイドラインの設定、財政資金の効率的運用、簡素効率化調査会の提言に対する予算編成の具体的取り組み、行財政改革への今後の取り組み、市町村等へ移管を決めた寿都、松前の両病院と和光学園の取り扱い

④ 景気対策に関し、景気の現状と対策、景気関連予算の効果と適期執行の方針

⑤ 教育問題に関し、59年第1回定例会における主任手当に関する附帯意見の受けとめと問題解決のめど、今後の行動についての考え、学校現場における不平常問題の是正措置と解決のめど、新任教務主任研修会の参加対象者数、参加者数、北教組の阻止行動の実態、参加対象者の参加義務、参加拒否者の処分について

質問があり、知事及び教育長から答弁。あらかじめ会議時間を延長し、同議員から再質問があって、議事進行の都合により、午後4時53分休憩、午後4時54分再開し、議案調査のため3月2日は休会することに決定して、午後4時55分延会。

○3月4日(月) 午後3時46分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第50号を議題とし、議事進行の都合により、日程第1の議事を中止し、意見案第1号を議題とすることを異議なく決定の後、

追加日程 意見案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決の後、午後3時48分延会。

○3月5日(火) 午後2時17分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第50号を議題とし、代表質問を継続、知事及び教育長から3月1日の本会議における中川義雄議員(自民)の再質問に対する答弁。高橋康之議員(自民)から議事進行発言があり、議事進行の都合により、午後2時48分休憩、午後4時2分再開し、直ちに延会。

○3月6日(水) 午後4時25分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会する

ことに決定して、午後4時26分延会。

○3月7日(木) 午後3時30分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号を議題とし、代表質問を継続し、知事から3月1日の本会議における中川義雄議員(自民)の再質問に対する補足答弁の後、同議員から再再質問があって、議事進行の都合により、午後4時17分休憩、午後4時19分再開し、直ちに延会。

○3月8日(金) 午後4時16分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第50号を議題とし、代表質問を継続、知事から3月7日の本会議における中川義雄議員(自民)の再再質問に対する答弁の後、議案調査のため、3月9日は休会することに決定して、午後4時31分延会。

○3月11日(月) 午後1時36分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第50号を議題とし、代表質問を継続、



高橋 敏議員(公明)

から、① 知事の政治姿勢に関し、道政推進の基本理念、就任以来の2か年との関連性、相違点、着眼点、具体的取り組み、憲法の理念を生かした道政、核兵器廃絶平和宣言の決意、仕事始めのあいさつでの職員人事にかかわる発言の真意

② 行財政運営に関し、国庫補助率の引き下げ措置についての認識と今後の取り扱い、60年度予算編成に対する理念、予算編成システムの改善、施策のスクラップ・アンド・ビルド、事務事業の見直しの具体的取り組み、市町村、団体に対する補助金の整理合理化の検討内容と結果、道民の森構想調査費及び博物館等調査費にかかわる計上の考え方、将来の見通し、60年度の道税収入見込み、60年度中の新たな基金の積み立て、60年度中の追加財政需要と財源確保の見通し、中期財政収支見込みの策定、組織機構等検討委員会の全庁的

体制への拡充強化、定員適正化計画の策定、支庁など出先機関の改革、審議室の位置づけ

③ 新計画に関し、これまで策定された数次の計画に対する考え、新計画策定の体制と手法、我が国における本道の果たすべき役割との関係、計画のフレームについての基本的な考え方、新計画の理念

④ 当面する諸問題に関し、道営住宅の果たす役割りとあり方、家賃改定に当たっての基本的な考え方、入居基準の拡大、簡素効率化調査会からの公営住宅供給にかかわる提言に対する今後の対処、エネルギー対策調査費を予算化した背景、今後の日ソ漁業交渉の見通し、日韓漁業問題の基本的な解決策と国内調整の取り組み、沖合底びき網漁業の再編成

⑤ 医療、福祉行政に関し、地方自治体における医療、福祉行政の基本的取り組み、地方自治体と住民との費用の負担のあり方についての基本認識と今後の取り組み、老人保健事業計画による事業の進捗状況と今後の見通し、在宅福祉サービスモデル事業の今日までの成果と今後の取り組み

⑥ 産業の振興に関し、企業誘致の基本的取り組み、出先機関の体制強化の考え、工業再配置促進法と企業誘致との関連、国が策定中の工業再配置計画に対する企業誘致促進の観点からの働きかけ、新技術や新製品開発に取り組む中小企業に対する助成措置の拡大

⑦ 教育に関し、公約にある中学校、高校における英語教育の具体的な充実策と国際高校の設置、職業学科集合型モデル高等学校の設置構想と新しい教育長期計画の中での取り組み、小、中、高一貫教育と多様な授業形態のあり方について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。次いで、



小野 秀夫議員(道政)

から、① 知事の政治姿勢に関し、就任以来前半2年間の政治姿勢を貫いての今後における行政執

行、政党や団体等の理解と協力、次期選挙におけるこれら諸団体との友好関係

② 道政執行方針と予算案に関し、行政の活性

化、道財政事情の認識と健全財政の維持、財政調整基金の運用に当たっての基本的な考え方とこの基金を取り崩した理由、地財法第4条と基金条例との関連、災害などの緊急の財源需要が生じた場合の対応、予算編成における事業の見直しについての受けとめ、事業選択方式の採用など予算編成方式についての見解

③ 新総合計画に関し、地域生活経済圏についての基本的な考え方と広域生活圏との関連、地域生活経済圏ごとの人口動態、地域における頭脳集団の形成と大学等への働きかけ、人材確保のためのUターン対策、生涯教育の充実、生涯教育の推進のための取り組み

④ 当面する行政課題に関し、環境影響評価条例についての対象事業の考え方、国の機関等の行う環境影響評価と同条例との関係、特定地域における再評価等の解釈と考え方、苫東工業基地の開発にかかわる第3段階計画資料表題の「向けて」の意味、計画期間などに関連する資料1の「計画の意義」と資料4の「計画の期間」との関係並びに「おおむね」の解釈、九者連とともに詰めた道の素案と計画との相違、関連工業等にかかわる導入業種、生産額と従業員数、想定業種から鉄鋼、鉛など非鉄金属を外した理由と基本計画との関連、動燃事業団による幌延町の貯蔵工学センター立地環境調査に対する見解

⑤ 教育問題に関し、北教組の教育長に対する辞任要求や研修会、講習会などへの参加拒否による対抗戦術の影響、北教組小樽支部での対抗戦術の実情把握と市教委に対する指導、賃金カットの対象、学校の体育館を使用している先生方のレクリエーションの事実、市町村立学校職員給与負担法に基づく給与支給に疑義がある場合における監査委員の臨時監査について

質問があり、知事、代表監査委員及び教育長から答弁があって、議事進行の都合により、午後4時52分延会。

○3月12日（火） 午後1時39分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号を議題とし、代表質問を継続、小野秀夫議員（道政）か

ら再質問があり、議事進行の都合により、午後2時10分休憩、午後4時12分再開し、直ちに延会。

○3月13日（水） 午後2時8分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号を議題とし、代表質問を継続、知事、代表監査委員及び教育長から3月12日の本会議における小野秀夫議員（道政）の再質問に対する答弁があり、同議員から再々質問、知事及び代表監査委員から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、同議員から発言があって、議事進行の都合により、日程第1の議事を中止し、石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙を日程に追加することを異議なく決定の後、

追加日程 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙に入り、指名推選の方法をもって議長指名により、高橋一史議員（自民）を当選人と決定。次いで、日程に追加し、議案第51号ないし第61号を直ちに議題とすることを異議なく決定の後、

追加日程 議案第51号ないし第61号を議題とし、知事から追加提出案件に関する説明の後、午後3時10分延会。

○3月14日（木） 午前10時30分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第61号を議題とし、一般質問に入り、

国本 康夫議員（自民）から、

① 住宅都市問題に関し、新聞報道に関連して札幌市の人口200万人構想の試案検討の有無とその根拠、自衛隊の移転についての構想の状況と具体的協議の見込み、国立農業試験場の開放についての計画の国との協議予定の有無、これらの計画試案についての札幌市との話し合いの状況、報道の事実関係とその処置、第4期住宅建設5箇年計画の成果、身障者のための公営住宅建設の公約への取り組み、ケアつき住宅建設に対する履行状況と履行できないでいる理由及び今後の対処方針、第5期住宅建設5箇年計画策定に当たっての方針・構想への取り組み及び北海道新計画と

の整合性、道営住宅家賃改定に係る北海道住宅対策審議会の答申に対する受けとめ、改定の基本的な考え方・実施時期・改定率・対象住宅、改定に伴う家賃増収額、家賃の減免基準に係る答申内容と改定時期及び改定内容、改定に伴う減免見込額の現行基準との対比、道営住宅の管理体制整備の検討状況、道内の街づくり事業とその目的・事業計画・実施状況・問題点、北のまちづくり推進事業のプロジェクト体制と作業計画及び検討結果に対する対処方針、市町村の地域整備計画点検予定の有無と点検した場合の市町村に対する指導等対処方針、都市カルテ等の事業との相違点、市街地再開発事業予算の推移と事業推進の取り組み・問題点及び制度改善・体制整備への見解、道費補助対象項目の拡大を行っていない理由及び札幌市に対し基本計画作成費等を補助対象外としている理由

- ② 職員公宅の管理に関し、公宅の必要性和管理運営のあり方への認識、知事部局の公宅の管理戸数と必要数に対する充足状況、借上公宅数と空屋の状況、行政機構の見直しや職員数の増減及び借上公宅の解消などに対応した今後の対処、一般的居住水準や土地の高度利用に対応した公宅の建てかえ及び長期的展望に立った維持修繕や環境整備への対応、公宅料の算定方法及びこれまでの改定経緯と今後の対処方針等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があった、答弁準備のため午前11時30分休憩、午後4時38分再開。知事から再質問に対する答弁の後、午後4時43分延会。

○3月15日（金） 午前10時47分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第61号を議題とし、一般質問を継続、

大島 一郎議員（社会）から、

- ① 農業行政に関し、道産農産物の需要拡大や加工開発の促進に対する取り組み方、バイオテクノロジーの開発研究に当たっての他分野への影響や安全性の確保に対する見解、本道畑作農業の振興にかかる基本的な考え方、地域特産作物の振興、バイオテクノロジーを活用し

た新しい作物の開発などについて検討の考え、土づくり推進に対する考え

- ② 水産行政に関し、サケ・マス増殖事業において銀毛のサケの比率を高める考え、サクラマスのふ化事業における先端技術導入への今後の取り組み

- ③ 衛生行政に関し、エキノコックス病の知識の普及啓発の考え、キツネの駆除対策推進に対する考え方、今後の汚染実態の把握方法、飲料水に対する安全対策等について

質問があり、知事から答弁、次いで、

神戸 典臣議員（自民）から、

- 千歳川放水路に関し、基本的な認識、道の昨年の夏以降の対応状況及び現地視察の有無、道の体制、東ルートへ決定の有無、ルート選定に係る道への事前連絡の内容、ルート決定についての開発局との対応状況、事業推進に当たっての国の今後の対応、ルート選定における検討事項等に対する所見、環境影響評価を実施する際の道条例又は国の要綱との関係及びその場合の手続、環境影響評価の調査項目に対する見解、放水路建設に伴う農業対策、地域の振興と放水路の活用への所信等について

質問があり、知事から答弁、同議員から再質問があった、知事から答弁の後、議事進行の都合により、午後5時5分休憩、午後1時36分再開。次いで、

大平 盛雄議員（社会）から、

- ① 北海道経済の自立と活性化への諸課題に関し、道民の自立への意欲の高まりに対する受けとめ、北国の条件を生かした研究や技術向上への評価と展望、道と比較して東北地域に企業立地が進んでいる原因、積雪寒冷を前面に出した国の予算確保と企業誘致との関係、北海道が他地域よりすぐれている点及び今後のイメージアップ等PRの方策、企業誘致活動における市町村との機能分担の必要性、誘致活動の中で入手した情報の扱い、当該地域との効率的な連携運動の進め方、企業誘致担当者の連携に対する考え、企業誘致推進員・専門員等の制度の成果と情報の活用状況及び今後の改善すべき課題、推進員との連絡会議に市町村関係者を出席させる考え、企業誘致体制の強化に対する考え、道経済の活性化を

図る上での港湾の役割、陸・海・空の一貫輸送の北の拠点としての位置づけと新計画における盛り込み、国際貿易港としての拠点づくりのための積極的な活動の展開

- ② 学校給食問題に関し、本道中学校における完全給食の実施率の低い原因と小中学校の完全給食の実施に対する市町村教育委員会への今後の指導、文部省体育局長通知「学校給食業務の運営の合理化について」に係る市町村教育委員会への指導方針、学校教育の一環としての位置づけと学校給食のあり方等について

質問があって、知事及び教育長から答弁。

操上 良宏議員（自民）から、

- 農業行政に関し、日本の食糧自給率が低いことに対する認識、60米穀年度における米の需給見通し、水田利用再編第3期対策の備蓄計画との関連を踏まえた61米穀年度の米の需給見通し、ポスト3期対策の国の検討状況及び道としての国への要望状況、58・59年度の都道府県における転作の達成状況、他府県の転作超過達成成分を本道転作目標面積から軽減する考え及び今後の国への要請方法、60年度の他用途利用米の作付の見通しと達成に向けての指導方針、60年度他転作目標面積及び用途利用米生産目標を設定するに当たっての59年度実績の勘案状況、主要畑作物の作付指標に対する評価、作付指標設定に当たっての作物別・地域別要因に対する見解と指導方法、てん菜の作付に対する見解と指導方法、穂別ダムの現状認識及び農業基盤整備事業の進捗率50%未満の地区と工事の早期完了促進のための方策、受益者負担の一部を肩がわりした市町村に対する財政援助措置、食品関連産業振興のための企業立地促進条例の助成対象条件を緩和する考え、企業誘致条例を検討するに当たっての農林水産の関係各部との連携等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があり、知事から答弁。

谷川 英雅議員（社会）から、

- ① 環境汚染に関し、スパイクタイヤ道民意識調査の結果に対する行政の対応と指導の強化、法令によるスパイクタイヤの使用制限に

賛成者が少ない現状とそれに対する受けとめ、調査時期の適否と汚染の激しい春に再調査する考え、公害苦情の内容と今後の対応、微量有害化学物質による環境汚染に対する取り組み

- ② 新長期計画に関し、新長期計画基本構想骨子案の従来の4ブロック区分から6圏域に転換した基本的発想、道央圏と他の5つの圏域との相互関係、道東圏を3圏域に分けたことへの見解、北海道の分県構想に対する見解、釧路市を中心とする地域生活経済圏に対する構想及び道東地域への医大誘致の今後の位置づけ

- ③ 青函トンネル利用と国鉄青函連絡船の存続に関し、新幹線が函館まで開通した場合の函館地域に及ぼす影響、青函連絡船の存続に対する所信

- ④ 教育に関し、臨時教育審議会で論議されている自由化論等の考え方及び教育システムの変更による問題解消の方法に対する見解、自由競争の原理を導入することによる差別・選別等の影響への見解、京都座会の提言に関連しての現在の教育システムの変革の必要性に対する見解、ゆとりのある教育への取り組みと現状、卒業生の就職の見通しと対策等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時45分休憩、午後4時17分再開。

平井 進議員（自民）から、

- ① 国旗掲揚と国歌斉唱に関し、日の丸と君が代を国旗・国歌と認めることへの所見、道が主催する行事等で国旗・国歌等を用いるよう指示した通達の有無、通達を出した時期と趣旨、道及び出先機関における国旗掲揚と国歌斉唱の実態、成人式等の道職員を対象とした行事等において国旗掲揚・国歌斉唱を実施する考え、道内消防機関の出初め式等における実態、道内の公立学校の入学式等における実態と実施していない学校に対する指導の経過と今後の指導方針、道内市町村の成人式における国旗・国歌の取り扱いの実態

- ② 国際青年年に関し、この年を契機とした青年問題に対する道民へのPRの必要性、国際青年年を意義ある充実したものにするための

方策と決意等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。

日程第1のうち議案第49号を先議することとし、建設委員会に付託することを決定。

議案調査のため、3月16日は休会することを決定して、午後4時58分散会。

○3月18日（月）午後3時2分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第49号を議題とし、古川靖晃建設委員長から議案第49号に関し、委員会における審査の経過と結果について報告の後、委員長報告のとおり原案可決と決定。

日程第2 議案第1号ないし第48号及び第50号ないし第61号を議題とし、一般質問を継続、

伊藤 武一議員（公明）から、

- ① 新計画と地域発展方策に関し、北海道分県論に関連して面積拡大の本道を府県並みと見ることの適否、道央偏重による地域格差、医療と文化的格差の是正、非効率的な行政手続、中央へのアピール性、一県一施設主義と政治力の弱さ、知事に対する公開質問状に類するものへの回答に対する認識と見解、分県論についての反対答弁が知事個人の見解か庁内討議の結果か否か、今後の分県論に対する取り扱い、地方議会等における分県論の論議や主張に対する把握状況と認識、分県論の背景にある道の政策執行への住民の不満に対する認識と対応、人口の道央集中に対する基本的認識、新計画における地方都市への人口の定着方策、新計画の地域生活経済圏構想に関連し道央複合都市圏と地方との振興が連動するとの論拠、新計画策定に向けて分県論を推進することへの見解
- ② 中小企業にかかわる諸課題に関し、中小企業政策の推進のための専任大臣の設置を国に要請する考え、中小企業の実態把握のための調査への取り組み、人材育成への取り組み、情報力を高めるための支援策、ベンチャービジネスの振興策への方針、中小企業従業員の能力開発のため職業訓練校等の体制の整備及びその運営体制を見直す考え
- ③ 民生行政に関し、保育所の定員割れに対す

る認識、新たな保育需要への取り組みに対する見解、道の障害者福祉施策の充実への取り組み、身障者の自動車運転免許取得事業の拡充

- ④ 高等教育に関し、国立3大学の誘致見通しと当面の医療対策、公私立大学の建設に対する道の助成方策等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があり、知事から答弁。

綿貫 健輔議員（自民）から、

- ① 水産行政に関し、日ソ漁業交渉により影響を受ける漁業基地及び魚種とその数量、道の沖合底びき網漁業の再編対策指針に対する業界の受けとめと協議の状況及び再編実施に向けての経緯、日ソ漁業交渉の再編成に与える影響、韓国漁船に対する我が国漁業水域法適用に取り組む決意、日本海を栄養豊かにする事業への推進策と取り組みへの決意、水産資源等の試験研究による地場産業形成の可能性と道企業立地促進条例案の適用
- ② 行政改革に関し、国からの指導に対する受けとめ、本庁と支庁の機能の位置づけと本庁及び支庁の組織機構の見直しに対する見解、支庁の見直しに当たって地域の総合的出先機関としてのあり方など検討の必要性、行政改革を推進する上での民間能力の活用等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があり、知事から答弁の後、午後4時46分散会。

○3月19日（火）午前10時25分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第48号及び第50号ないし第61号を議題とし、一般質問を継続、

今津 寛議員（自民）から、

- ① 新計画に関し、西暦2,000年の人口想定根拠と国の新構想における人口想定との関連、地域別人口の現状認識と西暦2,000年における各圏域の人口配分の予測と将来の考え方、新計画の期間、東北・九州と比較した人口減少の動向の原因
- ② 北海道経済の活性化に関し、本道の経済停滞の原因とこれに対する基本的な政策のあり方及び新年度予算編成における措置、本道の

工業構造の問題点と具体的方策、企業誘致と地場工業振興についての公約とその対処状況、公約を実施したものの効果

③ 企業立地促進条例に関し、企業のニーズに合致した幅広い企業立地政策の必要性とその基本的な考え方及び今後の方向、高額補助を行っている他県の実績と評価、本条例適用の見通しと効果、各県が高額補助を競い合うことへの見解、工業の地方分散に対する国への要請状況、同条例案を提案した理由と政治的判断及び条例施行に伴う財源との関連、地場工業振興のための技術基盤と情報基盤の整備・充実への基本的見解と今後の政策方向、地域において技術指導を行っている施設と地域配置の状況及び今後の整備計画、他府県と比較した航空機・フェリーの輸送コスト、産業用電気料金の他府県との格差及び企業立地や地場工業経営に与える影響、電力料金や輸送コスト格差に対する対応状況及び今後の方針

④ 交通体系に関し、本道の高速道路整備のおくれの原因及び今後の建設促進への取り組み、これまでの道新幹線の誘致運動に対する取り組み、青森・函館間に新幹線を通すことへの見解、函館以北札幌までの工事着工の見通しと建設費、札幌・旭川間及び南回りの基本計画線が整備計画路線に昇格することへの見通しと建設費、道東・道北の都市間交通改善に対する見解、新計画における高速交通システム構想の位置づけと道東・道北の都市交通に適用する考え方等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問の後、知事から答弁。同議員から要望等がある、議事進行の都合により、午後客時10分休憩、午後2時1分再開。次いで、

岩瀬 正人議員（自民）から、

- ① 財政問題に関し、道税収入の積算方法、地方交付税において給与と定額経費の財源を保留していることに対する見解、60年度に退職手当債を予算計上していない理由と59年度における処置、60年度の財源と財政運営への所見及び基金の積立金に依存することへの見解
- ② 道営競馬に関し、競馬問題懇談会の性格と委員の選定基準及び諮問内容、懇談会の答申

内容及び明年度の開催計画への反映、開催競馬場の売り上げ減少の傾向と明年度売り上げ減少見込み等の実態を道民に周知させない理由、帯広等3競馬場における施設整備費の貸借料での債務償還の措置状況と未払の債務額及び債務負担行為の議決による措置を行わない理由、道軽種馬振興公社からの職員の派遣の合法性、59年度における道営競馬の経営に関する監査実施の有無及び地方自治法に基づく知事への監査結果の報告の有無並びに問題点の指摘や改善を求めた事例とその内容、競馬場賃貸料及び公社からの派遣職員問題について知事や関係部局への意見・提言の有無等について

質問があり、知事及び代表監査委員から答弁。同議員から再質問があって、知事及び代表監査委員から答弁。同議員から再々質問の後、知事から答弁。次いで、

村田 雄平議員（自民）から、

- 酪農振興に関し、乳価の保証価格や限度数量に対する取り組み姿勢、草づくり・牛づくり・人づくりなど酪農経営の生産性向上を図る上での基本的な諸問題に対する今後の取り組み等について

質問があり、知事から答弁。同議員から要望がある、議事進行の都合により午後3時26分休憩、午後4時2分再開。次いで、

高橋 一史議員（自民）から、

- ① 民生行政に関し、日本船舶振興会の補助金問題に対する対応、北教組との接触状況、道民党の定義、53年から57年までの社会福祉施設関係への同振興会からの補助金の実績並びに58年から60年までの補助要望と未交付の実態、未交付施設への指導の成果と国との折衝の状況、同振興会補助金に関連して未整備施設に対する福祉の面からの認識
- 2 公有財産の管理、処分のあり方に関し、市街化区域内で道が保有している未利用地の評価額及び管理方針、道有未利用地処分に関連して道民本位の有効利用に対する見解と60年度予算における土地売却の処分理由、道有未利用地の管理及び処分の基準を作成することに対する見解
- 3 商工行政に関し、優良道産品推奨制度に対

する認識と成果に対する評価、つるマーク製品の販売拡大やPRに対する取り組み状況、物品購入にかかわる業者選定の方法、競争入札参加資格者名簿に登録されるために必要な資格と手続、優良道産品取り扱い企業に対する指導状況、同資格者としてつるマーク製品取り扱い業者を優先させる考え、体育器具を購入する際の業者選定の基準、つるマーク製品を優先購入することに対する見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問があり、あらかじめ会議時間を延長の後、知事から答弁。同議員から再々質問があり、知事から答弁の後、午後5時3分延会。

○3月20日（水） 午前10時18分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第48号及び第50号ないし第61号を議題とし、一般質問を継続、
木下 一見議員（道政）から、

① 産業構造の高度化に関し、道先端技術会議で提言の先端技術導入に対する新年度の対処と今後の方向、産・学・官の連携強化のための施策及び共同研究開発の進め方、道立工業試験場を超先端技術の導入促進機関として改革する考え、道立の試験研究機関の改組・統廃合等を検討する考え、地場産業振興条例制定にかかる具体的構想

② 新計画の構想と当面の対策に関し、札幌圏の振興対策、各都市の構想との調整、札幌圏における総合交通体系の将来展望と構想、札幌圏対策室と常設のプロジェクトチーム設置の考え、札幌圏における治水対策の検討状況と現状及び今後の対策、保健婦の養成計画のテンポを速める考えと辺地における保健婦の確保策、医師の養成定員削減に対する本道の特殊性を踏えた対応、国立病院・療養所の再編整備に対する認識と対応、国立3大学誘致の見通しと公立国際総合大学設置に対する見解

③ 樺太対策に関し、サハリン地域の墓参拡充に対する見解、樺太引き揚げ3船遭難者の遺族に対する見舞金実現のための国への働きかけ、樺太記念館の設置と当面の対策として道の施設内に記念コーナーを設置する考え

④ 給食問題に関し、本道学校給食の業務運営の実態と学校給食業務運営の合理化にかかる文部省の指導通知に対する認識、給食の民間委託など合理化に対する関係職員団体の反対運動の現況、文部省通知にかかる道教委としての今後の運営合理化の方法と市町村教委に対する指導・周知の方法、医大病院や道立病院の給食の民間委託への見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問があり、知事及び教育長から答弁。次に、

増井 貞一郎議員（自民）から、

○ 林業行政に関し、新計画における「生産性の高い林業」の意味、国有林への取り組み方、道内の造林の現状と今後の推進方策及び予算減額の理由、製材移出促進資金の貸付制度に係る予算が計上されていない理由、木材需要促進対策事業費の予算が前度より減額されている理由、木造公営住宅の耐用年数の延長についての対処状況と今後の見通し、木造住宅の耐久性の研究開発の状況と成果の見通し、道有林経営の現状認識と経営安定についての検討経緯と今後の対処方針、森林整備公社（仮称）に出資する理由、道民の森構想の調査目的・方法等、21世紀の森等他の事業との相違、森林を平和のシンボルとする理由、平和と安らぎとの相違、道有林を道民の森の候補地とする理由と予定地、道有林の経営健全化との整合性、財源確保の見通し等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があり、知事から答弁の後、同議員から再々質問、知事から答弁。議事進行の都合により、午後2時45分休憩、午後2時7分再開。次に、

酒井 芳秀議員（自民）から、

○ 産業振興行政に関し、民間活力の育成方策、企業立地促進条例に関連し郡部等への企業立地に対する考え、道民の生活実態、「生活の質」を高めるための指針、農村の過疎化への認識、過疎地域の経済の実態、地域中心都市や町村の産業振興策、地域中心都市の定義、特産品の販路拡大など消費流通面での対応状況と今後の取り組み、貿易業務取り扱いの設置機関と設置方法、貿易可能な品目と数量、道産品の販路拡大の体制検討の状況と今

後の対処方針等について
質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があり、知事から答弁の後、同議員から再々質問があり、知事から答弁。次いで、

小野寺 勇議員（自民）から、

- 教育行政に関し、主任制度の問題点の是正措置と北教組との交渉状況、学校現場での問題改善の状況、主任制度の問題点と想定される結論、学校運営研修会に多くの不参加者が出た理由と本研修会に対する取り組み状況、研修会不参加者に対し賃金カットする考え、研修会不参加者のうち教頭昇任選考受検者及び登録者の実態、職務命令に従わない教員が教頭昇任候補者となることの是非と候補者名簿から削除する考え、教頭昇任選考にかかる不適格条項などの内規を定める考え方等について

質問があり、教育長から答弁。同議員から再質問があり、教育長から答弁。議事進行の都合により、午後3時24分休憩、午後3時50分再開。次いで

久田 恭弘議員（自民）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、平和を執行方針の基本として述べた真意、道政と憲法との関係、「ぬくもりのある地域社会への実現」に対する所信と60年度の対策、福祉に対する基本的な認識
- ② 新計画に関し、骨子案における21世紀の社会像に対する見解、本道と米国とのかかわり合い、産業構造の動向に対する考えと将来の政策展望、技術と倫理とシステムの3要素のバランスに立った新計画策定の基本理念、市町村の計画と新計画における地域別人口想定との関連と対処、年代別人口予測の方法、国の経済成長率に対する見解と本道への見解、供給及び需要の面からの本道経済の成長力、技術進歩の経済成長率に対する影響、資源エネルギーの需給予測とエネルギー源についての基本認識、資源エネルギーの伸び率、電力の設備容量と構成比、本道の電源立地と電力の安定確保策、空港建設が必要な地域、港湾貨物量の確保に対する見解、市町村からの海洋開発についての要望と新計画での位置づけ
- ③ 企業誘致と地場企業振興策に関し、企業誘致に当たっての中堅企業への取り組み、業種

の特性などを踏まえた企業の振興策、先端技術と在来技術との結合の必要性

- ④ 生活文化の振興に関し、59年度における生活文化振興基金設置への取り組み、生活文化振興基金検討懇話会からの提言の内容、基金の資金づくりの方法と受け入れ窓口及び着手の時期、資金づくりに取り組む決意
- ⑤ 住宅都市行政のあり方に関し、都市計画の策定に際しての将来人口想定の内容と札幌圏の想定将来人口
- ⑥ 覚せい剤乱用防止対策に関し、道内の覚せい剤乱用の実態と乱用防止対策、乱用防止策としてボランティア組織を活用する考え、学校現場における覚せい剤乱用防止の指導状況、道教委としての対策等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問があり、知事から答弁の後、午後4時58分延会。

○3月22日（金） 午前11時24分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第48号及び第50号ないし第61号を議題とし、

伊藤 弘議員（自民）から、

- ① 試験研究機関のあり方に関し、道立試験研究機関の果たすべき役割と目指す方向、道立試験研究機関の産業区分別の数と職員数及び予算総額並びに研究職員と研究費、試験研究機関の連携システム、研究テーマに対する認識と機関の再編成と統轄部門の設置の必要性、先端技術推進会議の産・学・官の連携にかかる提言への取り組み、現在の先端技術の試験研究の現状と今後の方向、研究職員の研修派遣の状況と今後の計画、遺伝資源の収集保存に対する認識と今後の取り組み及び現在の保存状況、木質飼料の試験成果と今後の実用化の見通し、食品加工研究所の設置検討の担当部及び設置の必要性、食品加工研究のあり方への基本的な見解、民間育種家の試験研究に対する援助の考え、試験研究機関等の連携強化に係る公約への取り組み状況
- ② 農協問題に関し、農協運営に対する道の指導的役割への認識、本道農協の信用事業の実態と現況及び問題点、農協信用事業の運営に対する道の指導状況、畜産地域に経営不振農

協が多い原因と畜産地域に農協検査を重点的に実施する考え、札幌市近郊の農協における農協法の趣旨に反した貸し付け行為の実態と農協に対する指導状況及び今後の対処、経営不振農協における理事の責任に対する見解と指導方法等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があり、知事から答弁の後、議事進行の都合により、午後零時31分休憩、午後4時10分再開。次いで、

岩本 允議員（自民）から、

- ① 公共事業等の執行に関し、工事の発注計画、道内業者への発注状況とそれに対する対処、地元中小建設業者に対する優先発注への所信と具体策、景気対策予算の地域配分に当たっての基本的認識、公共事業における道産資材活用の推進策、道産資材の使用状況調査実施の有無と調査結果を踏えた関係業界への指導の状況と今後の取り組み、道事業の民間委託の現状と今後の対処、新計画の基本構想骨子案における「経済自立化」についての検討状況と位置づけ、基本構想の骨子案における自立の時期と所得水準等の見込、バイオテクノロジーの本道における現状認識と開発導入のプロセス及び利用形態や実用化の見通し、農業の国際化に対応できる経営規模及び達成の時期

- ② 商工行政に関し、金融の自由化に対応した財政資金の調達・運用等に当たっての対処、中小企業金融制度の具体的充実強化、季節金融の貸付金利見直しへの所信、道の融資制度を簡素化して利用しやすい低利に統一する考え及び本道経済への効果、企業誘致に関連した産業経済界との協力内容、企業立地促進条例の運用に当たっての対象業種・地域の拡大に対する見解等について

質問があり、知事から答弁。あらかじめ会議時間を延長の上、同議員から再質問があり、知事から答弁。次に、

吉川 貴盛議員（自民）から、

- ① 道政の諸問題に関し、道の情報公開制度基本計画素案において公安委員会や議会を実施機関に含めない理由説明の有無、情報公開を制度化している都府県、公安委員会や議会を実施機関としている都府県及びその運営の実

態、情報公開懇話会での議論が越権的行為との考えに対する見解と対応、懇話会の傍聴者の受け入れ体制とそのPRの有無、懇話会の提言に対する対応への見解、大学等高等教育機関の誘致についての基本的見解、市町村の大学誘致運動の実情と道の助言指導の状況、知事の公約に関連し、「いま、新・開拓時代」の基本理念の政策や新計画への反映、経済の自立化にかかわり域際収支の赤字減少の状況と雇用状況、知事の公約に関連した訪米・訪ソの実績、加工製品の道内製品化の実績、農業投資の方向と補助制度の見直しの状況と融資の実績、農業機械銀行実現の見通し、農民年金の婦人への適用の可能性、水産中核都市の複合都市化と海洋大学設置に対する取り組み状況、総合流通情報センター設置構想と市町村における貿易相談窓口設置構想の進捗状況、交易文化センターの設置状況、石炭産業振興のための研究機関及び炭鉱技術者養成機関の新設への取り組み状況、ソ連からの天然ガス導入促進の状況、福祉や医療の環境づくりに対する施策の点検結果とその総合化の状況、ノーマライゼーション研究センター設置の有無、道立病院に高次のケアサービス機能を持たせることの実施状況、老人ホームを複合福祉施設とする構想への実施状況、保育計画検討委員会設置の有無、母子家庭の働く場の確保への取り組み状況、北海道カルチャーセンター設置の時期、企業施設の開放等への取り組み実績と結果、婦人総合相談所設置の地域、北海道青少年憲章策定の目的・内容と策定スケジュール、市町村への権限移譲についての市町村会等との協議の経過・内容及び58年度以降の権限移譲の実績

- ② 校内研修促進費の執行に関し、道教委と北教組の確認内容の真意を改めて通達し直す考え、59年度の子算の執行状況と新年度の取り扱い方法

- ③ 道警察の装備の充実問題に関し、本道における警察無線の傍受や電波妨害等の発生状況、国費及び道費による警察無線のデジタル化の整備計画等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があり、知事から答弁。議事進行の

都合により、午後6時11分休憩、午後6時45分再開の後、直ちに延会。

○3月23日(土) 午後3時開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第48号及び第50号ないし第61号を議題とし、一般質問を継続。

吉川貴盛議員(自民)から、3月22日の知事答弁に関し、再々質問があり、答弁準備のため、午後3時10分休憩、午後3時25分再開の後、議事進行の都合により直ちに延会。

○3月25日(月) 午前11時26分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第48号及び第50号ないし第61号を議題とし、一般質問を継続。

知事から、3月23日の吉川貴盛議員(自民)の再々質問に対する答弁。次いで、

大橋 見議員(共産)から、

① 知事の政治姿勢に関し、核廃絶に向けての国際政治の動きへの評価、核抑止力論・均衡論への見解、非核北海道宣言を行う考え、補助金一括削減法案に反対表明する必要性、簡素効率化調査会と地方行革大綱との関係

② 道民生活問題に関し、道民の生活実態の認識と道営住宅の家賃等に係る改定の道民への影響、道住宅対策審議会の答申による新たな家賃算定方式と今回の家賃改定との関係、激変緩和処置として4年間で段階的改定を行うことが家賃改定を今後毎年行うこととなる恐れへの見解、家賃改定の実施時期に対する考え、季節労働者への就労事業の実施及び市町村の就労事業への援助等に対する見解

③ 開発・産業問題に関し、企業立地促進条例施行に伴う道や市町村の財政負担増大への見解、苫東基地等への整備投資と企業誘致時に更に助成することへの見解、先端産業への設備投資の償却が短期間であることへの危惧、減反政策と韓国米輸入の事態への見解、他用途利用米制度の存続への見解、他用途利用米の作付配分におけるペナルティ等の実施を改めさせる考え、減反緩和面積の配分における他用途利用米作付の条件を改める考え

④ 教育問題に関し、私学助成の補助金を増額

する考え等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があり、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、同議員から発言があり、知事から答弁があって、質疑並びに質問を終結。次いで、

輪島幸雄議員(社会)から、予算に関する案件について、本会議に52人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、議案第1号ないし第18号、第23号、第37号ないし第48号及び第51号ないし第59号を付託の上、審査されたい旨の動議を提出、賛成があって動議成立、これをはかって異議なく可決。動議に係る案件は、予算特別委員会に付託の上、次の委員(配付名簿のとおり)を議長指名により選任。

残余の案件については、議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託の後、あらかじめ会議時間を延長の上、暫時休憩、再開後、日程に追加し、

追加日程 議案第51号ないし第61号を議題とし、

佐々木利昭予算特別委員長(自民)から、議案第51号ないし第59号について

湯本芳志商工労働委員長(社会)から、議案第60号について

神本三也農務副委員長(社会)から、議案第61号について

それぞれ各委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋見議員(共産)から、議案第51号、第57号、第59号に関する反対討論があって討論終結。

次いで、採決に入り、追加日程のうち、議案第51号、第57号及び第59号を問題とし、いずれも委員長報告のとおり原案可決。次に、追加日程のうち、議案52号ないし第56号、第58号、第60号及び第61号を問題とし、いずれも委員長報告のとおり原案可決と決定して、午後6時4分散会。

○予算特別委員(52人)

大内 良一(社会)	伊達 忠一(道政)
生駒 隆介(自民)	今津 寛(自民)
岩瀬 正人(自民)	操上 良宏(自民)
酒井 芳秀(自民)	高橋 一史(自民)

平井 進 (自民)	村田 雄平 (自民)
木下 一見 (道政)	浅野 俊一 (公明)
大島 一郎 (社会)	柏倉 勝雄 (社会)
高橋 庸 (社会)	三沢 道男 (社会)
小田原要四蔵 (社会)	神本 三也 (社会)
工藤 啓二 (公明)	湯佐 利夫 (自民)
青山 章 (自民)	伊藤 弘 (自民)
岩本 允 (自民)	小田部善治 (自民)
中川 義雄 (自民)	橋 浪蔵 (自民)
久田 恭弘 (自民)	松崎 義雄 (自民)
山口 眞人 (自民)	吉川 貴盛 (自民)
青山 正男 (自民)	石山 直行 (自民)
伊藤 豪 (自民)	岩田 徳弥 (自民)
宇川 源吉 (自民)	佐々木利昭 (自民)
高木 繁光 (自民)	寺崎 政朝 (自民)
小野 秀夫 (道政)	柳谷 正一 (公明)
関根 建二 (社会)	長岡 寅雄 (社会)
吉野 之雄 (社会)	岩崎 守男 (社会)
渋谷 澄夫 (社会)	舟山 広治 (社会)
星野 健三 (社会)	湯本 芳志 (社会)
笠島 保 (社会)	西村 慎一 (道政)
野村 權作 (自民)	宇野 眞平 (自民)

案第1号ないし第18号、第23号及び第37号ないし第48号について、

川口常人総務委員長 (自民) から、議案第19号、第20号、第24号及び第25号について、

湯本芳志商工労働委員長 (社会) から、議案第21号及び第36号について、

岩田徳弥文教林務委員長 (自民) から、議案第22号、第34号及び第35号について、

佐々木行雄公害対策特別委員長 (自民) から、議案第26号について、

星野健三厚生委員長 (社会) から、議案第27号ないし第30号について、

寺崎政朝農務委員長 (自民) から、議案第31号及び第32号について、

古川靖晃建設委員長 (自民) から、議案第33号及び第50号について、

それぞれ各委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋晃議員 (共産) から、議案第1号、第11号、第16号ないし第18号、第20号、第21号、第25号、第36号、第38号、第39号に関する反対討論があった、討論終結。

次いで、採決に入り、日程第1のうち、議案第1号、第11号、第16号ないし第18号、第20号、第21号、第25号、第36号、第38号及び第39号を問題とし、いずれも委員長報告のとおり、原案可決。次に、

日程第2 議案第62号及び第63号を議題とし、知事から追加提案説明の後、委員会付託を省略のうえ、いずれも原案のとおり可決又は同意議決と決定。

日程第3 意見案第2号ないし第4号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、いずれも原案のとおり可決。次に、

日程第4 請願・陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略のうえ、異議なく委員会決定 (採択2件) のとおり採択と決定。

次いで、決算特別委員長から、前会より継続審査中の報告第1号について申し出のとおり、閉会中継続審査に付することに決定。

次に、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに関係特別委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することに決定して、今期

○3月26日 (火) 午後1時32分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、会期を3月29日まで3日間延長することをはかり、異議なく決定の後、各委員会付託議案審査のため、3月27日から3月28日まで休会することを決定して、午後1時34分散会。

○3月29日 (金) 午後4時45分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、会期を3月30日まで1日間延長することをはかり、異議なく決定して、午後4時46分散会。

○3月30日 (土) 午後4時33分開議、諸般の報告の後、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時34分休憩、午後9時10分再開、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第48号及び第50号を議題とし、

佐々木利昭予算特別委員長 (自民) から、議

定例会に付議された案件は、前会より継続審査中の報告第1号を除き、すべて議了。

三上議長から、閉会に当たってのあいさつがあって、午後9時50分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案のうち、先議案件を除く議案第1号ないし第18号、第23号及び第37号ないし第48号の31件につきまして、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

これらの議案の審査方法につきましては、去る3月25日の委員会におきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、直ちに3分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、直ちに分科正・副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に吉川貴盛君、副委員長に吉野之雄君、第2分科会を委員長に神本三也君、副委員長に湯佐利夫君、第3分科会は、委員長に松崎義雄君、副委員長に長岡寅雄君を選任するとともに、審査の方法等について協議を行った後、各部所管の審査に入り、30日をもって一切の質疑を終了し、本日の委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、昭和60年度一般会計及び特別会計を合わせ総額1兆8,349億700万円余に及ぶ予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き、各分科会において質疑保留となった事項につきまして総括質疑を行い、先ほど付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。その総括質疑の主なものを申し上げますと、

1. 政教分離について
1. 知事の財政認識について

1. 新計画における農業の将来構想について
 1. 財蔵工学センター立地環境調査について
 1. 環境影響評価と貯蔵工学センターについて
- などであります。

質疑終結後、各会派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、いずれも意見の一致を見、先ほどの委員会におきまして、議案第1号ないし第18号、第23号及び第37号ないし第48号の各案件は、いずれも全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、議案第1号につきましては、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、60年度予算編成において、財政調整基金等を全額取り崩したことは、今後の財政運営を極めて厳しいものに行っている。

よって、本予算の執行に当たっては、その効率化に配慮するとともに、新規財政需要にも適切に対応できるよう、財源確保に最善を尽くすべきである。

との附帯意見を付されたいとの動議が提出され、全会一致、これを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされました次第でありまして、その御労苦に対し衷心より敬意を表する次第であります。

以上をもって、私の報告を終わります。

第1回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 22	1	昭和60年度北海道一般会計予算	予算特別	3. 30	原案可決
同	2	昭和60年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計予算	同	同	同
同	3	昭和60年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	4	昭和60年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	5	昭和60年度北海道小児総合保健センター事業特別会計予算	同	同	同
同	6	昭和60年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	7	昭和60年度北海道畜産振興資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	8	昭和60年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	9	昭和60年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	10	昭和60年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	11	昭和60年度北海道公共下水道事業特別会計予算	同	同	同
同	12	昭和60年度北海道地方競馬特別会計予算	同	同	同
同	13	昭和60年度北海道病院事業会計予算	同	同	同
同	14	昭和60年度北海道有林野事業会計予算	同	同	同
同	15	昭和60年度北海道北広島開地開発事業会計予算	同	同	同
同	16	昭和60年度北海道工業団地開発事業会計予算	同	同	同
同	17	昭和60年度北海道電気事業会計予算	同	同	同
同	18	昭和60年度北海道工業用水道事業会計予算	同	同	同
同	19	北海道立文書館条例案	総務	同	同
同	20	低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例案	同	同	同
同	21	北海道企業立地促進条例案	商工労働	同	同
同	22	北海道立21世紀の森条例案	文教林務	同	同
同	23	北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	同	同
同	24	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	25	北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	26	北海道公害紛争処理条例の一部を改正する条例案	公害対策特別	同	同
同	27	北海道ウタリ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例案	厚生	同	同
同	28	北海道立衛生学院条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	29	北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	30	北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	31	北海道立農業大学校条例の一部を改正する条例案	農務	同	同
同	32	北海道生乳取引調停審議会設置条例及び酪農振興法の規定により知事から出頭を求められた者の費用弁償条例の一部を改正する条例案	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 22	33	北海道立都市公園条例の一部を改正する条例案	建設	3. 30	原案可決
同	34	北海道林業改良指導員資格試験条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	35	北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	36	北海道営工業用水道料金及び分担金徴収条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	37	財団法人北方圏交流基金に対する出資の件	予算特別	同	同
同	38	財団法人地域活性化センター（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	39	財団法人消防試験研究センターに対する出資の件	同	同	同
同	40	北海道地域医療財団（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	41	北海道信用保証協会に対する出資の件	同	同	同
同	42	北海道農業信用基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	43	社団法人北海道青果物価格安定基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	44	社団法人北海道畜産物価格安定基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	45	日本下水道事業団に対する出資の件	同	同	同
同	46	財団法人北海道森林整備公社（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	47	財団法人北海道学校保健会に対する出資の件	同	同	同
同	48	宝くじの発売に関する件	同	同	同
同	49	河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件	建設	3. 18	同
同	50	財産の処分（建物・沙流郡門別町）に関する件	同	3. 30	同
3. 5	51	昭和59年度北海道一般会計補正予算（第9号）	予算特別	3. 25	同
同	52	昭和59年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	53	昭和59年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	54	昭和59年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	55	昭和59年度北海道有林野事業会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	56	昭和59年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	57	昭和59年度北海道工業団地開発事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	58	北海道信用保証協会に対する出資の件	同	同	同
同	59	苫小牧東部石油備蓄株式会社に対する出資の件	同	同	同
同	60	財産の処分（土地・勇払郡厚真町字共和）に関する件	商工労働	同	同
同	61	財産の処分（土地・滝川市東滝川）に関する件	農務	同	同
3. 30	62	北海道税条例の一部を改正する条例案		3. 30	同
同	63	北海道釧路方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決

前会から継続審査中の案件

報 告

提出月日	番号	件 名	付託 委員会	議決月日	議事結果
59.12.11	1	昭和58年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	60. 3.30	継続審査

第1回定例会において議員から提出のあった案件

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
3. 4	1	昭和60年度畜産物価格等に関する要望意見書	寺崎政朝議員ほか13人	3. 4	原案可決	農 務
3. 30	2	日ソ漁業に関する要望意見書	中崎昭一議員ほか12人	3. 30	同	水 産
同	3	年金客船の建造に関する要望意見書	星野健三議員ほか12人	同	同	厚 生
同	4	小樽海員学校の存続に関する要望意見書	川口常人議員ほか13人	同	同	総 務

注 備考欄は提出者の所属委員会を示す。

意見案

意見案第1号

(昭和60年 1定
寺崎政朝議員ほか13人提出<農務>
昭和60年3月4日 原案可決)

昭和60年度畜産物価格等に関する要望意見書

本道の酪農・畜産は、地域経済の基幹産業であり、関係者は、国が農政の基本とする総合的な食料自給力の維持強化の方針に即した生産性の高い経営を確立し、我が国最大の食料供給基地としての位置付けを一層高めるよう北海道農業発展方策の実現のため、努力を重ねているところである。

しかしながら、本道酪農・畜産は、長年にわたる畜産物価格の低迷や生産資材価格の上昇、これまでの規模拡大等に要した借入金の重圧、さらには、輸入畜産物の影響などその経営環境は、依然として厳しいものとなっている。

このため、国においては、本道酪農・畜産が当面するこれらの諸問題を早期に解決し、安定的な発展が図られるよう左記事項の実現について強く要望する。

記

1. 加工原料乳保証価格の設定について
加工原料乳保証価格については、本道酪農経営の厳しい実態を十分勘案し、再生産を確保し、今後の経営安定が期せられるよう適切に設定すること。
2. 指定食肉安定価格の設定について
指定食肉安定価格については、本道畜産経営の厳しい実態を十分勘案し、適切に設定すること。
3. 加工原料乳限度数量の大幅な拡大について
加工原料乳限度数量については、乳製品需給を的確に把握し、国内自給率を高める観点から枠の大幅な拡大を図るとともに、その配分に当たっては、加工原料乳を主体とする本道酪農の役割を十分勘案すること。
4. 酪農経営負債整理資金の融資枠の確保について
酪農経営の安定を図るため、酪農経営負債整理資金需要の実態を踏まえ、必要な融資枠を確保するとともに、その円滑な融通を図るため、債務保証機能の充実強化について所要の助成措置を講ずること。
5. 国産生乳等の需要拡大について
 - (1) 国産生乳の需要拡大を図るため、生乳需給調整対策を継続するとともに、国産ナチュラルチーズの振興方策を実現すること。
 - (2) バターと脱脂粉乳の均衡のとれた需要の増大を図るとともに、はつ酵乳等の生乳使用を高める対策を講ずること。
 - (3) ロングライフミルクの常温流通を可能とする措置を講ずること。
6. 国産乳製品による適正在庫量の確保について
本年度における脱脂粉乳の緊急輸入措置にかんがみ、国内自給率の向上と畜産振興事業団の需給調整機能の強化の観点から、国産乳製品による適正在庫量の確保を図ること。
7. 乳牛改良事業推進体制の強化について
乳牛改良の一層の促進を図るため、乳牛検定業務のシステム化など事業推進体制の整備強化に対する助成措置を講ずること。

8. 肉用牛の経営安定対策について

- (1) 肉用牛経営の安定を図るため、償還が困難となっている負債を長期・低利な資金に借換える制度を創設すること。
- (2) 経営を廃止する農場の有効活用を図る農場継承制度（仮称）を創設すること。

9. 肉用牛生産基盤の強化について

- (1) 優良な乳用肥育素牛の安定的な供給を促進するため、乳肉複合経営等推進事業を一層促進すること。
- (2) 肉専用子牛価格の長期的な低迷にかんがみ、素牛供給を担う繁殖農家の生産意欲の向上と繁殖雌牛の頭数拡大を図るため、子牛生産拡大奨励事業を一層促進するとともに、肉用子牛価格安定融資強化事業を拡充すること。
- (3) 乳用種の肥育素牛価格の安定を期するため、肥育素牛導入安定化特別対策事業に乳用種も対象とすること。

10. 牛肉の低コスト生産の推進について

牛肉の低コスト生産を推進するため、肉用牛経済肥育普及促進事業を拡充強化すること。

11. 牛枝肉取引規格の改善について

赤肉志向などの消費者ニーズの動向に対応し、牛肉の生産、流通の合理化を促進するため、乳用種など大衆牛肉が適正に評価されるよう枝肉取引規格の改善を早期に行うこと。

12. 畜産物の輸入について

- (1) 牛肉の輸入については、国内生産の不足分に限るという方針を堅持すること。また、現行の畜産振興事業団の需給調整機能を維持強化し、国内産牛肉価格の安定を図ること。
- (2) 乳製品の輸入については、現行の規制措置を堅持すること。特に、調整食用脂やコア調整品など擬装乳製品の輸入抑制についての指導を強化すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣、
厚生大臣、農林水産大臣 } 各通

意見案第2号

(昭和60年 1 定
中崎昭一議員ほか12人提出〈水産〉)
昭和60年 3 月 30 日 原案可決)

日ソ漁業に関する要望意見書

日ソ漁業交渉の結果、漁獲割当量の削減、操業区域の縮小、更には大陸棚資源である、かに、つぶ、えびが政府間協定の枠外とされたほか、新たに底刺し網はえなわ漁業等の操業条件が一段と強化されるなど、ソ連水域に大きく依然してきた本道漁業にとっては、誠に厳しいものとなっている。

日本海水域を操業区域とする沖合底びき網漁業については、禁止区域の拡大と漁獲割当量の大幅な削減によって減船は避けられない状況にあり、乗組員や水産加工等関連産業にも大きな影響が生ずることが懸念されるなど、その基地は深刻な事態に立ち至っている。

また、かに、つぶ、えび漁業については、大日本水産会が窓口となって民間交渉を進めることになっているが、その成り行きは予断を許さない状況にある。

よって、政府においては、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

1. 沖合底びき網漁業の救済措置について

減船を余儀なくされる日本海水域の沖合底びき網漁船に対し、救済措置を講ぜられたい。

2. かに、つぶ、えび漁業に係る日ソ漁業交渉について

交渉が早期に妥結し、円滑な操業が確保されるよう配慮されたい。

3. 底刺し網はえなわ漁業等の操業条件の緩和措置について

通報業務など操業条件の緩和措置を講ぜられたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
外務大臣、農林水産大臣 }

意見案第3号

(昭和60年 1定
星野健三議員ほか12人提出<厚生>
昭和60年3月30日 原案可決)

年金客船の建造に関する要望意見書

四面を海に囲まれている我が国は、海洋国として発展してきたところである。

今後さらに発展するためには、海外諸国との交流親善を深めていくことが肝要である。

国際化時代にふさわしい人づくりを進めるための、青少年洋上研修、社会の第一線で活躍してきた年金受給者の海外慰安や、旅行など、大型客船の活用は無限である。

したがって、各種の年金積立金を活用し、海洋国にふさわしい大型客船を、早期に建造して、国際的な視点に立った諸施策を積極的に推進されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、厚生大臣 } 各通
運輸大臣、総務庁長官 }

意見案第4号

(昭和60年 1定
川口常人議員ほか13人提出<総務>
昭和60年3月30日 原案可決)

小樽海員学校の存続に関する要望意見書

国においては、行政改革の一環として海員学校の再編整備を進めており、昭和61年度には、廃止対象校の生徒募集の停止措置を講ぜられるやに仄聞しているが、小樽海員学校は、本道で唯一の海員養成学校として、昭和14年の創立以来今日まで、実に2,600余名の有為な人材を送り出してきた。

また、人口570万人余を擁する本道において、ここに居住する青少年の中には、海にあこ

がれ船員を志す者が多数潜在しており，さらには，長距離フェリー等による海上輸送の依存度の高い本道においては，各都市の港湾整備とあいまって，今後もなお一層有為な船員の育成が本道においてなされることが強く期待されている。

よって，政府においては，小樽海員学校を存続されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣，運輸大臣 }
総務庁長官，北海道開発庁長官 } 各通

請 願 ・ 陳 情

① 第1回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 結 果
62	季節労働者対策の充実に関する件	地元で働く仕事と90日支給復活を要求する北海道連絡会 代表委員 山科 喜一	商工労働	継続審査
63	同	同	建 設	同
64	道営住宅家賃の値上げと減免制度の改正に反対する件(外3件)	北海道生活と健康を守る会連 合会 会長 館本 一豊	同	同
65	道営住宅家賃の値上げなどに関する件	小樽公営住宅協議会 会長 竹内栄次郎	同	同
66	「非核北海道宣言」を求める件	「非核北海道宣言」の実現を 求める北海道連絡会 齊藤 敏夫	総 務	同
67	日本国有鉄道苗穂工場旭川車両センター存置に関する件	国鉄旭川車両センター存置対 策旭川市民会議 議長 川中	同	採 択

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委 員 会	審 査 結 果
21	小樽海員学校の存続に関する件	小樽市長 志村和雄ほか2人	総 務	採 択

② 継続審査中のものであって、第1回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 結 果
33	道民負担増、大企業優遇に反対し、暮らしを守る59年度予算を求める件	北海道統一戦線促進労働組合 懇談会 代表 中野 募	石炭対策 特 別	議決不要

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委 員 会	審 査 結 果
20	非木造校舎（ブロック造）の危険改築に関する件（外2件）	北海道小学校長会 会長 石川 俊男	文教林務	議決不要

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番号	件 名	付託委員会
5	北海道を核戦場にさせないための件	総 務
12	登別市に警察署設置の件	同
14	平和に関する件	同
21	個人事業税に「みなし法人課税（事業主報酬）制度」の適用に関する件	同
22	「非核・平和北海道宣言」を求める件	同
25	獣医師の待遇等改善に関する件	同
46	北海道の気象事業整備拡充を求める件	同
52	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	同
6	老人医療に関する諸施策の拡充を求める件	厚 生
9	灯油元売価格の値下げなどを求める件	同
15	老人医療と諸施策の拡充を求める件	同
16	老人医療に関する件	同
18	灯油値下げに関する件	同
29	道民負担増、大企業優遇に反対し、くらしを守る59年度予算を求める件	同
54	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	同
55	精神障害者福祉法制定のための国会要請を求める件	同
57	軍人軍属恩欠者の処遇に関する件	同
60	無認可保育所への助成に関する件	同
8	灯油元売価格の値下げなどを求める件	商工労働
17	灯油値下げに関する件	同
27	建設・季節労働者の雇用安定に関する件	同
30	道民負担増、大企業優遇に反対し、くらしを守る59年度予算を求める件	同
34	母性保護を拡充し、実効ある男女雇用平等法を制定するよう国に意見書の提出を求める件	同
39	男女雇用平等法の制定に関する件	同
40	「私たちの求める男女雇用平等法の法制化を実現するよう」国に意見書の提出を求める件	同
45	広尾町の中小企業と、季節労働者のくらしと営業を守るために、適切な施策を求める件	同
51	対ソ貿易の振興についての件	同
53	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	同
61	江差労働基準監督署の廃止計画案の撤回に関する件	同
13	本道水田等農家の抜本的負債対策を実現し、冷害対策強化に関する件	農 務
41	北海道農業の基盤確立と水田復元対策推進に関する件	同
32	道民負担増、大企業優遇に反対し、くらしを守る59年度予算を求める件	建 設
44	広尾町の中小企業と、季節労働者のくらしと営業を守るために適切な施策を求める件	同

文書表番 番号	件名	付託委員会
47	道営住宅若竹団地3号棟に物置を求める件	建設
58	暖房料の値上げ撤回と利用者の立場に立った熱供給事業の確立に関する件	同
48	水産問題に関する件	水産
56	太平洋海域におけるアカイカ流網漁業の実現に関する件	同
2	北海道立札幌中島体育センター別館を早期改修し弓道専用道場の併設を求める件	文教林務
3	北海道立武道館の建設を促進し専用弓道場の併設を求める件	同
7	子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	同
19	公立高校の増設等に関する件	同
23	(仮称)「雨竜地区高等養護学校」の収容定員等に関する件	同
24	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるための大幅私学助成を求める件	同
59	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるため、私学助成の拡充を求める件	同
49	原子力関連施設誘致実現に関する件	エネルギー問題調査特別
50	幌延町への核廃棄物施設設置に反対する件	同

陳 情

文書表番 番号	件名	付託委員会
6	「大型間接税導入と申告納税制度の改正に反対し、3兆円減税を要求する意見書」決議の件	総務
7	指名競争入札執行の自粛の件	同
18	外国人登録法の改正要請方に関する件	同
2	社会福祉法人釧路まりも学園の運営に関する件	厚生
4	医療保険制度の改悪に反対し、住民の健康を守る決議に関する件	同
5	老人医療の無料制度を復活・拡充し、老人を医療から締め出す老人診療報酬体系等の即時撤廃を求める決議に関する件	同
11	医療保険の抜本改悪に反対し、その充実改善を求める決議に関する件	同
14	自閉症収容施設建設場所の移転に関する件	同
15	医療保険制度改定に反対する決議に関する件	同
16	アイヌ民族に関する法律制定に関する件	同
3	サラ金利用者のサラ金苦による悲劇の根絶及び住民保護に関する件	商工労働
10	一級河川十勝川水系札内川第二札内橋架橋促進に関する件	建設
12	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直しに関する件	同
13	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直しに関する件	文教林務
19	非木造校舎(ブロック造)の危険改築制度の創設と銭函小学校の改築に関する件	同

委員会の動き

議会運営委員会

○ 2月5日(火) 午前11時39分、議会運営委員会室において開議、午前11時42分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- 総務部長から、景気対策予算に係る専決処分報告及び昭和60年第1回臨時会について発言の後、専決処分及び景気対策関係補正予算審議のため、2月下旬開催の1定招集日前日に臨時会を招集することを了承。

○ 2月15日(金) 午後3時8分、議会運営委員会室において開議、午後3時12分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 委員長から、元道議会議員大浦貞助氏(夕張市選出、第19期在職)の逝去(1月27日)について報告。
- ② 第1回定例会の招集期日を2月22日とすること及び第1回臨時会は2月21日に招集することを了承。
- ③ 総務部長から、第1回臨時会付議事件について説明。
- ④ 第1回臨時会の付議案件の審議方法についてはかり、これを決定。
- ⑤ 第1回定例会の会期を33日間とすることに決定。
- ⑥ 第1回定例会の日程について、次のとおり取り進めることに決定。

▽ 第1回定例会日程

2月22日	本会議(道政執行方針、提案説明、教育行政執行方針)
23日～28日	休会
3月1日	本会議(代表質問)
2日・3日	休会
4日	本会議(代表質問)
5日	本会議(代表・一般

質問)

6日～8日	本会議(一般質問)
9日・10日	休会
11日	本会議(一般質問)
12日	本会議(一般質問、予算特別委員会設置)
13日	本会議
14日～25日	休会
26日	本会議

- ⑧ 代表質問について、順位は、社会、自民、公明、道政の順位とすることを了承。

○ 2月20日(水) 午後1時27分、議会運営委員会室において開議、午後1時48分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 委員長から、元道議会議員大内三治氏(網走市選出、第17期ないし第19期)の逝去(1月9日)及び和田勝之議員(自民、札幌市西区選出)の逝去(2月18日)について報告。
各派の所属議員数は、自民59人、社会33人、道政8人、公明6人、共産1人、欠員3人となったことを報告。
- ② 和田議員の逝去に伴う議席は、空席とすること、追悼演説は同一選挙区の他会派所属議員(公明)が行うこととし、3月1日の本会議冒頭に行うことを了承。
- ③ 臨時会提出議案の委員会付託について、配付のとおりとすることを了承。
- ④ 景気対策予算審査特別委員会について、配付の委員名簿のとおり選任すること、設置動議は木本由孝議員(自民)が提出することを決定。
- ⑤ 2月21日の臨時会本会議の議事順序については、明日協議することを了承。
- ⑥ 総務部長から、第1回定例会提出案件について説明。
- ⑦ 代表質問の通告について、2月27日正午までに提出することを決定。
- ⑧ 一般質問について、順位は従来の例により取り進めることを決定。10番日は公明とすることを報告。通告については、3月2日正午までに提出することを決定。
- ⑨ 議案調査のため、2月23日から28日まで休

会し、3月1日再開することをはかり決定。

- ⑩ 2月22日の本会議の議事順序については、22日協議することを決定。
- ⑪ HBCから、知事の執行方針演説の録画及び録音のため、演壇上にマイクを設置することについて申し出があり、議長が許可することを了承。
- ⑫ 高橋康之委員（自民）から、知事の執行方針演説の新聞の事前報道に関し質問があり、総務部長から答弁。関連して各委員から質疑、意見等があり、総務部長から答弁。
委員長から、情報の管理に関し対処の方法を検討するよう要請。

○2月21日（木） 午前9時37分、議会運営委員会室において開議、午後2時39分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（開会）

日程第1 会議録署名議員の指定

諸般の報告

元議員の逝去報告

議員和田勝之君の逝去報告

日程第2 会期決定の件

日程第3 議案第1号及び報告第1号

提出議案に関する知事の説明

○景気対策予算審査特別委員会設置

○景気対策予算審査特別委員の選任

—— 休 憩 ——

午前9時40分休憩、午後2時38分再開。

- ② 委員長から、委員会付託議案の審議状況について報告。
- ③ 再開後の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

追加日程 議案第1号及び報告第1号

作田政次景気対策予算審査特別

委員長の報告

（採決）

1. 本件をいずれも委員長報告（議案は

可決、報告は承認議決）のとおり決することについて簡易採決

○議長の閉会あいさつ

○閉会宣告

○2月22日（金） 午前9時38分、議会運営委員会室において開議、午前9時40分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、2月20日の委員会で論議のあった執行方針等に係るマスコミ報道について、今後の情報管理等に注意をする旨及び庁内にも徹底させる旨並びに知事の執行方針及び提案理由の説明については、従前どおりの取り扱いを願いたい旨発言。

- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（開会）

日程第1 会議録署名議員の指定

諸般の報告

日程第2 会期決定の件（2月22日から3月26日まで33日間）

日程第3 議案第1号ないし第50号
道政執行方針並びに提出議案に関する知事の説明

教育行政執行方針に関する教育
長の説明

議案調査のための休会日の決定

（2月23日から2月28日まで6日間）

○3月1日（金） 午前9時40分、議会運営委員会室において開議、午前9時46分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 委員長から、和田勝之議員（自民）に対する追悼演説について、相沢武彦議員（公明）が、本日の本会議冒頭に行うことをはかり決定。故和田議員は従6位勲5等瑞宝章を受章したことを報告。

- ② 和田議員の逝去に伴う欠員中の北方領土対策特別委員に古川靖晃議員（自民）、決算特別委員に中崎昭一議員（自民）を推せんし、本日の本会議においてそれぞれ補欠選任する

ことをはかり決定。

- ③ 代表質問の通告（4人）について報告。
- ④ 本日の本会議について、故和田議員の追悼演説の後休憩、再開後、特別委員の補欠選任を行い、引き続き代表質問2人行うこと及び代表質問は3月4日1人、5日1人行うことをはかり決定。
- ⑤ 予算特別委員会について、(1)委員会構成及び正副委員長の配分については、配付のとおりとすること(2)委員名簿は、3月9日正午まで提出すること(3)委員会設置動議の提出は、社会が行うことを決定。
- ⑥ 議案調査のため、3月2日休会し、3月4日再開することを決定。
- ⑦ 農務委員会において発議予定の要望意見案が提出された場合、3月4日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることを決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

議員和田勝之君の逝去に対する
相沢武彦議員の追悼演説
議員和田勝之君の逝去に対する
黙禱
一休 憩一

日程第1 特別委員補欠選任の件

1. 欠員中の北方領土対策特別委員に古川靖晃君、決算特別委員に中崎昭一君をそれぞれ補欠選任することについて簡易採決

日程第3 議案第1号ないし第50号

質疑並びに一般質問（代表質問2人）

議案調査のための休会日の決定

（3月2日）

○3月4日（月） 午後零時46分、議会運営委員会室において開議、午後3時30分散会
委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、3月1日の本会議における中川義雄議員（自民）の再質問に対する答弁

準備に時間を要する旨発言。

- ② 意見案第1号について、本日の本会議において議決する扱いとすることを決定。
- ③ 総務部長から、追加提出予定案件について説明の後、3月5日追加提出することを決定。午後零時50分休憩、午後3時25分再開。
- ④ 総務部長から、3月1日の本会議における中川義雄議員（自民）の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言。高橋康之議員（自民）から、3月1日の本会議における知事の自席での発言に関して、要望の後、本日の本会議は、日程第1の代表質問の議事を中止し、意見案第1号を追加日程とし議決の後、延会することをはかり決定。
- ⑤ 代表質問の通告内容等の変更について了承。
- ⑥ 一般質問の通告（30人）について報告、順位は、従前の例により取り進めることとし、個人別順位について、事務局長説明のとおりとすることに決定。進め方については、改めて協議することを了承。

○3月5日（火） 午前9時41分、議会運営委員会室において開議、午後3時49分散会
委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、3月1日の本会議における中川義雄議員（自民）の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言。
- ② 総務部長から、追加提出案件（11件）について説明の後、本日追加提出すること及び知事の提案説明を行う時期について改めて協議することを決定。議案第49号及び議案第51号ないし第61号は先議する扱いとすること、先議の日程等については後日、協議することを決定。
- ③ 一般質問の通告内容等の変更について、了承。午前9時46分休憩、午後2時3分再開。
- ④ 総務部長から、3月1日の本会議における中川議員の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は中川議員の再質問に対する知事の答弁から入ることとし、代表質問を本日何人行うかについては、進行状況により協議することを了承。

- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第50号
質疑並びに一般質問(代表質問
3人)

午後2時4分休憩、午後3時48分再開。

- ⑥ 休憩前の本会議における高橋康之議員(自民)の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、議事録精査に時間を要する旨発言の後、高橋康之委員(自民)から、質問にそった知事の答弁準備に努力願いたい旨発言があって、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することをはかり決定。

○3月6日(水) 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午後4時18分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 昨日の本会議における高橋康之議員(自民)の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、議事録の精査に時間を要する旨発言の後、午前9時37分休憩、午後4時15分再開。
- ② 総務部長から、なお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は日程を延期し延会することをはかり決定。

○3月7日(木) 午前9時46分、議会運営委員会室において開議、午後3時14分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 3月5日の本会議における高橋康之議員(自民)の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、なお時間を要する旨発言の後、午前9時47分休憩、午後3時12分再開。
- ② 総務部長から、3月5日の中川義雄議員(自民)の再質問に対する答弁に関し、議事録精査の結果、知事から補足答弁を行いたい旨発言があり、本日の本会議は、中川議員の再質問に対する知事の補足答弁から入ることを決定。
- ③ 代表、一般質問の通告内容等の変更について了承。

- ④ 本日の本会議について、代表質問1人(継続)とすることを決定。

- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第50号
質疑並びに一般質問(代表質問
1人・継続)

○3月8日(金) 午前9時37分、議会運営委員会室において開議、午後4時7分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 総務部長から、昨日の中川義雄議員(自民)の再々質問に対する答弁準備に時間を要する旨発言の後、午前9時38分休憩、午後4時5分再開。
- ② 総務部長から、中川議員の再々質問に対する答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は中川議員の再々質問に対する知事の答弁から入ることを決定。
- ③ 本日の本会議について、代表質問1人(継続)を行い延会することをはかり決定。
- ④ 議案調査のため、3月9日は休会し、11日再開することをはかり決定。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第50号
質疑並びに一般質問(代表質問
1人・継続)

議案調査のための休会日の決定
(3月9日)

○3月11日(月) 午後零時48分、議会運営委員会室において開議、午後零時53分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 本日の本会議について、代表質問2人行うことを決定。
- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。

③ 一般質問の進め方について、当初日程では3月12日までとなっているが、3月12日6人、13日6人、14日6人、15日6人、16日は休会とし、18日6人行う予定で取り進めることを決定。

④ 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙について、同組合管理者から議長に対し、和田勝之議員（自民）の逝去に伴う欠員議員の選任依頼があったことを報告。本件については、各会派会長会議で協議の結果、自民から推せんする旨決定し、自民から高橋一史議員の推せん申し出があり、各会派の了承を得たことを報告。補欠選挙は、明日の本会議の一般質問の前に行うこととし、会長会議で協議されたとおり取り進めることをはかり決定。

⑤ 追加提出のあった議案第51号ないし第61号に関する知事の提案説明は、明日本会議で一般質問の前に行うことを決定。

⑥ 農務正副委員長外委員2名が、3月11日、12日の2日間上京することを報告。

⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第50号
質疑並びに一般質問（代表質問
2人）

○3月12日（火） 午前9時48分、議会運営委員会室において開議、午後4時5分散会

委員長 平野 明彦（自民）

① 総務部長から、昨日の本会議における小野秀夫議員（道政）の再質問に対する答弁準備に時間を要する旨発言。

② 本日の本会議について、代表質問1人（継続）を行った後、日程第1の議事を中止し、追加日程として、石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙並びに追加提出のあった議案の知事の提案説明の後、日程第1に追加日程を合せ一括議題として一般質問に入ることを決定。

③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第50号
質疑並びに一般質問（代表質問
1人・継続）

◎日程第1の議事中止

追加日程 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙（選挙すべき管理組合議会議員の補欠人数1人）

1. 選挙の方法は指名推せんによることについて簡易採決

2. 指名の方法は議長において指名することについて簡易採決

（議長により指名）

追加日程 議案第51号ないし第61号

追加提出議案に関する知事の説明

◎日程第1にあわせ、追加日程の議案第51号ないし第61号を一括議題として議事継続

質疑並びに一般質問（一般質問
6人）

○3月13日（水） 午前9時41分、議会運営委員会室において開議、午後1時50分散会

委員長 平野 明彦（自民）

① 総務部長から、昨日の本会議における小野秀夫議員（道政）の再質問に対する答弁準備に時間を要する旨発言の後、午前9時42分休憩、午後1時47分再開。

② 総務部長から、昨日の本会議における小野議員の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は小野議員の再質問に対する知事の答弁から行うことを了承。

③ 一般質問の 通告内容等 の変更 について了承。

④ 本日の本会議について、代表質問1人（継続）終了後、日程第1の議事を中止し、追加日程として石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙並びに追加提出議案に関する知事の提案説明を行い延会することをはかり決定。

⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第50号
質疑並びに一般質問(代表質問
1人、継続)

◎日程第1の議事中止

追加日程 石狩湾新港管理組合議会議員の
補欠選挙(選挙すべき管理組合
議会議員の補欠人数1人)

1. 選挙の方法は指名推せんによること
について簡易採決
2. 指名の方法は議長において指名する
ことについて簡易採決
(議長より指名)

追加日程 議案第51号ないし第61号
追加提出議案に関する知事の説
明

○3月14日(木) 午前9時52分、議会運営委員
会室において開議、午後4時
25分散会
委員長 平野 明彦(自民)

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了
承。
- ② 本日の本会議について、一般質問6人の予
定で取り進めることを決定。
- ③ 総務部長から、資産振興議会に出席するた
め永澤副知事が明15日の本会議を欠席したい
旨発言の後、了承。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取
り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第61号
質疑並びに一般質問(一般質問
6人)

午前9時55分休憩、午後4時25分再開。

- ⑤ 総務部長から、休憩前の本会議における国
本康夫議員(自民)の再質問に対する知事の
答弁準備が出来た旨発言の後、高橋康之委員
(自民)から答弁準備の対応に時間を要した
ことに対する経過等について質問。関連して
、各委員から質疑、意見交換等があり、部長
から答弁。委員長から、質問に対する対応に

関し、議長から理事者に対し充分誠意を持っ
て対応するよう伝えてもらいたい旨要望があ
り、本日の本会議は、国本議員の再質問に対
する知事の答弁を行うこと、一般質問1人
(継続)を行い延会することをはかり決定。

○3月15日(金) 午前9時55分、議会運営委員
会室において開議、午前9時
58分散会
委員長 平野 明彦(自民)

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了
承。
- ② 本日の本会議について、一般質問6人の予
定で行うことを決定。
- ③ 議案第49号(河川法に基づく一級河川の指
定等についての意見に関する件)の取り扱い
について、本日の本会議延会前に建設委員会
に付託し、委員会審査終了後、3月18日の本
会議冒頭において議決する扱いとすることを
はかり決定。
- ④ 議案調査のため、3月16日は休会し、3月
18日再開することをはかり決定。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取
り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第61号
質疑並びに一般質問(一般質問
6人)

◎日程第1のうち議案第49号を先議するこ
とについて簡易採決
議案調査のための休会日の決定
(3月16日)

○3月18日(月) 午後零時44分、議会運営委員
会室において開議、午後零時
47分散会
委員長 平野 明彦(自民)

- ① 議案第49号の取り扱いについて、付託委員
会で審査を議了したことを報告。本日の本会
議冒頭において委員長報告を行い、議決する
扱いとすることをはかり決定。
- ② 一般質問の通告内容等の変更について了
承。

③ 一般質問の進め方について、当初日程は本日までとなっているが、本日4人、19日6人、20日6人、22日3人の日程で取り進めることをはかり決定。

④ 本日の本会議について、議案第49号を議決後、一般質問に入り4人行うことを了承。

⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第49号
建設委員長の報告

(採決)

1. 本件を委員長報告(可決)のとおり決することについて簡易採決

日程第2 議案第1号ないし第48号及び第50号ないし第61号
質疑並びに一般質問(一般質問4人)

○3月19日(火) 午前9時38分、議会運営委員会室において開議、午前9時40分散会
委員長 平野 明彦(自民)

① 一般質問の通告内容等の変更について了承。

② 本日の本会議について、一般質問7人となるが、本日何人行うかは進行状況により協議することを決定。

③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第48号及び第50号ないし第61号
質疑並びに一般質問(一般質問7人)

○3月20日(水) 午前9時37分、議会運営委員会室において開議、午前9時39分散会
委員長 平野 明彦(自民)

① 一般質問の通告内容等の変更について了承。

② 本日の本会議について、一般質問6人行うことをはかり決定。

③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第48号及び第50号ないし第61号
質疑並びに一般質問(一般質問6人)

○3月22日(金) 午前9時37分、議会運営委員会室において開議、午後6時32分散会
委員長 平野 明彦(自民)

① 一般質問の通告内容等の変更について了承。

② 本日の本会議について、一般質問4人行うことをはかり決定。

③ 予算特別委員会について、各会派別分科委員数については、各会派間の調整の結果、配付のとおり決定した旨報告。委員の選任について各派から提出された名簿のとおり選任することをはかり決定。設置動議は輪島幸雄議員(社会)が提出することを了承。

④ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。

⑤ 昭和59年度補正予算案等の先議について、議案第51号ないし第61号は、本日、質疑並びに一般質問終了後、関係委員会に付託し、委員会審査終了後、明日、本会議を開会し、先議する予定で取り進めることを決定。

⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第48号及び第50号ないし第61号
質疑並びに一般質問(一般質問4人)

○予算特別委員会設置

○予算特別委員の選任

○議案第26号を公害対策特別委員会に付託することについて簡易採決

○残余の議案の各委員会付託
午前9時42分休憩、午後6時31分再開。

- ⑦ 本日の本会議の進め方について、吉川貴盛議員（自民）の一般質問については、明日引き続き行うこととし、本日の本会議は議事の都合により、この程度にとどめ延会することをはかり決定。
- ⑧ 先議案件の取り扱いについて、明日、一般質問終了後、関係委員会に付託し、委員会審査終了後、本会議を再開し、議決する扱いとすることをはかり決定。

○3月23日（土） 午前9時53分、議会運営委員会室において開議、午後3時19分散会
委員長 平野 明彦（自民）

- ① 本日の本会議について、一般質問2人（うち1人継続）することをはかり決定。
- ② 予算特別委員会の設置、委員の選任及び議案の各委員会付託について、昨日の委員会で決定したとおり取り進めることをはかり決定。
- ③ 昭和59年度補正予算案等の先議について、昨日の委員会で決定したとおり、本日、一般質問終了後、関係委員会に付託し、委員会審査終了後、本会議を再開し、議決する扱いとすることをはかり決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第48号及び第50号ないし第61号
質疑並びに一般質問（一般質問2人、うち1人継続）

（質疑終結宣告）

- 予算特別委員会設置
- 予算特別委員の選任
- 議案第26号を公害対策特別委員会に付託することについて簡易採決
- 残余の議案の各委員会付託

—— 休 憩 ——

- ⑤ 高橋康之委員（自民）から、吉川貴盛議員（自民）の審議室の資料提出に係る質問に対

する知事答弁について、質問があり、総務部長から答弁。

委員長から、知事の公約達成率に係るNHKの報道に関し、質問があり、総務部長から答弁。午前9時55分休憩、午後3時17分再開。

- ⑥ 総務部長から、休憩前の吉川貴盛議員（自民）の再々質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することとし、3月25日本会議を開き、引き続き、一般質問を行うことをはかり決定。
- ⑦ 先議案件の取り扱いについて、3月25日、一般質問終了後、関係委員会に付託し、委員会審査終了後、本会議を再開し議決する扱いとすることをはかり決定。

○3月25日（月） 午前9時37分、議会運営委員会室において開議、午後5時36分散会
委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、3月23日の吉川貴盛議員（自民）の再々質問に対する答弁について、なお時間を要する旨発言の後、午前9時39分休憩、午前11時10分再開。
- ② 総務部長から、吉川議員の再々質問に対する答弁準備が出来た旨発言があり、本日の本会議は吉川議員の再々質問に対する知事の答弁から入ることをはかり了承。
- ③ 本日の本会議について、一般質問2人（うち1人継続）となることを了承。
- ④ 予算特別委員会の設置及び委員の選任並びに議案の各委員会付託について、3月23日の委員会で決定したとおり取り進めることをはかり決定。
- ⑤ 昭和59年度補正予算案等の先議については、3月23日の委員会で決定したとおり、本日、一般質問終了後、関係委員会に付託し、委員会審査終了後、本会議を再開し議決する扱いとすることをはかり決定。
- ⑥ 委員長から、寺崎農務委員長が昭和60年度畜産物価格等に関する中央折衝のため、3月25日、26日の2日間上京することを報告。
- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取

り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第48号及び第50号ないし第61号

質疑並びに一般質問(一般質問
2人、うち1人継続)

(質疑終結宣告)

○予算特別委員会設置

○予算特別委員の選任

○議案第26号を公害対策特別委員会に付託することについて簡易採決

○残余の議案の各委員会付託

——休 憩——

午前11時13分休憩、午後5時28分再開。

⑧ 委員長から、先議案件の各委員会付託議案の審議状況について、すべて議了した旨報告。

⑨ 再開後の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

追加日程 議案第51号ないし第61号

予算特別、商工労働各委員長、
農務副委員長の報告

(討論)

1. 大橋晃議員の議案第51号、第57号及び第59号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 議案第51号、第57号及び第59号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて、起立により採決 (共産反対)

2. 議案第52号ないし第56号、第58号、第60号及び第61号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて簡易採決

○3月26日(火) 午後1時11分、議会運営委員会室において開議、午後1時14分散会

委員長 平野 明彦(自民)

① 予算特別委員長から、予算特別委員会にお

ける審議状況について報告。

② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について説明。

③ 委員長から、今期定例会の会期は本日までとなっているが、会期を3月29日まで3日間延長することをはかり決定。

④ 各委員会付託議案審査のため、3月27日から28日まで休会し、29日再開することをはかり決定。

⑤ 委員長から、北方領土対策特別委員長及び農務委員2人が中央折衝のため、3月26・27日の2日間上京することを報告。

⑥ 本日の本会議について、3月29日まで3日間の会期の延長を議決し、27日から28日までの休会を決定し、散会することをはかり決定。

○3月29日(金) 午後4時25分、議会運営委員会室において開議、午後4時35分散会

委員長 平野 明彦(自民)

① 予算特別委員長から、予算特別委員会における審議状況について報告。

② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。

③ 委員長から、今期定例会の会期は本日までとなっているが、会期を3月30日まで1日間延長したい旨発言。輪島幸雄委員(社会)から、各派に対し会期の延長内(30日まで)で議了するよう要請があって、今期定例会の会期を3月30日まで1日間延長することを決定。

三上議長から、会期再延長の中で議了出来るよう協力願いたい旨発言の後、委員長から各会派にこの旨伝えるよう要請。

④ 本日の本会議について、3月30日までの1日間の会期の延長を議決し、散会することをはかり決定。

⑤ 委員長から、農務委員長が昭和60年度畜産物価格等に関する中央折衝のため、本日上京中であることを報告。

○3月30日(土) 午後4時25分、議会運営委員会室において開議、午後9時

散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 委員長から、予算特別委員会及び各委員会付託議案の審議状況について報告の後、本日の本会議は取りあえず会議時間を延長することをはかり決定。午後4時27分休憩、午後8時55分再開。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、すべて議了した旨報告。
- ③ 決算特別委員会において継続審査中の報告第1号は、本日の委員会において継続審査とすることに決定した旨報告。
- ④ 総務部長から、追加提出案件について説明の後、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
- ⑤ 意見案第2号ないし第4号の提出があった旨報告の後、いずれも本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第48号及び第50号

予算特別、総務、商工労働、文教林務、公害対策特別、厚生、農務、建設各委員長の報告

（討論）

1. 大橋見議員の議案第1号、第11号、第16号ないし第18号、第20号、第21号、第25号、第36号、第38号及び第39号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

1. 議案第1号、第11号、第16号ないし第18号、第20号、第21号、第25号、第36号、第38号及び第39号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、起立により採決（共産反対）
2. 議案第2号ないし第10号、第12号ないし第15号、第19号、第22号ないし第24号、第26号ないし第35号、第37号、第40号ないし第48号及び第50号

を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて簡易採決

日程第2 議案第62号及び第63号

追加提出議案に関する知事の説明

（委員会付託省略）

（採決）

1. 議案第62号を原案のとおり可決、議案第63号を原案のとおり同意することについて起立により採決

（共産反対）

議案第62号 北海道税条例の一部を改正する条例案

議案第63号 北海道釧路方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件

日程第3 意見案第2号ないし第4号

意見案第2号 日ソ漁業に関する要望意見書

意見案第3号 年金客船の建造に関する要望意見書

意見案第4号 小樽海員学校の存続に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

1. 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決

日程第4 請願、陳情審査の件（採決2件）

（委員長報告省略）

（採決）

1. 本件をいずれも請願、陳情審査報告書（採決）のとおり決することについて簡易採決

○閉会中継続審査の件

決算特別委員長から前会より継続審査中の報告第1号について、申し出のとおり閉会中の継続審査に付することについて簡易採決

○閉会中請願陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長並びにエネルギー問題調査特別委員長から申し出のとおり閉会中継続審査または調査に付することにつ

- いて簡易採決
○議長の閉会あいさつ
○閉会宣告

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

- 1月11日（金） 午後1時37分、第5委員会室
において開議、午後2時散会

委員長 川口 常人（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和60年度国
費予算に関する中央折衝の概要について、口
頭により報告。
- ② 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及
び警察本部総務部長から、昭和60年度北海道
開発関係予算について説明。
- ③ 開発調整部長から、泊原子力発電所用地
（「堀株農園」関連）買収に係る国土利用計
画法に関する調査結果について報告。

- 2月5日（火） 午後1時7分、第5委員会室
において開議、午後1時12分
散会

委員長 川口 常人（自民）

一 般 議 事

- 総務部長から、公共事業費等補正予算の専
決処分について報告。

- 2月20日（水） 午前10時13分、第5委員会室
において開議、午前10時42分
散会。

委員長 川口 常人（自民）

一 般 議 事

- ① 総務部長から、第1回臨時会提出予定案件
について説明。
- ② 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及
び警察本部総務部長から、第1回定例会提出
予定案件について説明。

- 3月4日（月） 午後3時51分、第5委員会室
において開議、午後3時55分
散会

委員長 川口 常人（自民）

一 般 議 事

- 総務部長から、第1回定例会追加提出予定案件について説明。

○ 3月30日（土） 午後7時35分、第5委員会室
において開議、午後7時46分
散会
委員長 川口 常人（自民）

付託案件の審査

- 議案第19号（北海道立文書館条例案）、議案第20号（低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例案）、議案第24号（北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案）及び議案第25号（北海道税条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、総務部長からそれぞれ説明の後、いずれも異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願・陳情の審査

請 願

第67号 日本国有鉄道苗穂工場旭川車両センター存置に関する件

（採択）

陳 情

第21号 小樽海員学校の存続に関する件

（採択）

残余の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

一 般 議 事

- ① 委員長から、小樽海員学校の存続に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 警察本部警務部長から、警察本部の組織改正について説明。

○ 4月9日（火） 午後1時33分、第5委員会室
において開議、午後1時45分
散会
委員長 川口 常人（自民）

一 般 議 事

- ① 総務部長から、尻岸内町が恵山町と名称変更されたことに伴う道関係条例の一部改正の専決処分について報告。

② 総務部長から、組織機構の改正について報告。

- ③ 委員長から、小樽海員学校の在続等に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

厚 生 委 員 会

○ 1月11日（金） 午後1時30分、第9委員会室
において開議、午後2時35分
散会
委員長 星野 健三（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和60年度国費予算及び児童手当制度の改正に関する中央折衝の概要について報告。異議なく了承。

② 民生部長及び衛生部長から、昭和60年度国費関係予算の概要について説明。

- ③ 大橋晃委員（共産）から、腎臓移植の推進に関し、道内における人工透析患者数及び死亡者数、人工透析患者のうち腎移植希望者数と移植腎の生体腎、死亡腎の割合及び提供者の状況、売腎の実態、60年度国の予算における腎移植対策の内容、全国の腎移植センターの設置主体別分類、腎移植センターに対して道が果たす役割と財政負担、摘出腎臓の医療保険制度の適用、北海道腎バンクの活動内容と登録者数、同バンクに対する道補助と活動強化策、腎バンクに対する他府県の取り組み状況、腎移植促進の為の啓もう普及活動の取り組みと「広報ほっかいどう」に掲載する考え、腎登録に対する保健所等の体制及び市町村に対する指導について
質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。

○ 2月5日（火） 午後1時10分、第9委員会室
において開議、午後1時40分
散会
委員長 星野 健三（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきを実施した道外調査及び北霊碑慰霊祭参列の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 大橋晃委員（共産）から、障害児保育の問題に関し、道内における就学前障害児の実態、保育所で保育されている障害児数と経年的な数、国・道の助成制度の現状、助成制度の適用を受けている施設数と児童数、助成制度の適用を受けないで障害児保育を実施している保育所数と児童数、障害児保育が増えていることに対する認識、助成対象外保育所に助成を検討する考え、保母等関係職員に対する研修内容、全道で研修を受けた保母の数、研修についての見解、障害児保育を教科として特設している実態と特設教科の強化策、公約に掲げる障害児対策のこれまでの経過と今後の具体的な施策の強化等について質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

○ 2月20日（水） 午前10時28分、第9委員会室において開議、午前11時5分散会
委員長 星野 健三（社会）

一 般 議 事

- 民生部長及び衛生部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

○ 3月30日（土） 午後7時27分、第9委員会室において開議、午後7時39分散会
委員長 星野 健三（社会）

付託案件の審査

- ① 議案第27号（北海道ウタリ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例案）及び議案第28号（北海道立衛生学院条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、民生部長及び衛生部長からそれぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第29号（北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案）を議題とし、衛生部長から説明の後、大橋晃委員（共産）から、国の諸規程との

整合性について

質疑及び要望があり、衛生部長から答弁の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ③ 議案第30号（北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例案）を議題とし、衛生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをほかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをほかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、年金客船の建造に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをほかり、異議なく決定。

○ 4月9日（火） 午後1時18分、第9委員会室において開議、午後2時40分散会
委員長 星野 健三（社会）

請願・陳情の審査

- 委員長から、本委員会に付託されていた請願第57号（軍人軍属恩欠者の処遇に関する件）については、59年第3回定例会において意見案第3号が議決されたことに伴い、議決不要とすることをほかり、異議なく決定。

一 般 議 事

- ① 委員長から、年金客船の建造に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 伊藤豪委員（自民）から、(1)車粉じんの問題に関し、車粉じん健康影響調査検討委員会の検討状況、健康影響について国の検討内容、今後の取り組みについて、(2)ケア付住宅に関し、公約で想定しているケア付住宅の内容、ケア付住宅の問題点についての認識、心身障害者対策協議会における検討状況、社会福祉審議会の在宅福祉専門分科会との関係に

ついて

質疑、要望及び意見があり、衛生部長及び民生部長から答弁。

- ③ 大橋見委員（共産）から、B型肝炎母子間感染防止事業に関して、事業の目的、キャリア（保菌者）の意味、感染防止の具体的方法、母子感染予防の数値と防止出来ない場合の対処、生後5箇月以後のチェック、実施機関の選定方法、プライバシー保護のための方策、啓発、周知の方法、HBワクチンの供給システム、副作用事故等の心配、専門委員会の設置と防止対策実施要綱を作成する考え方、事業の実施時期等について質疑、要望及び意見があり、衛生部長から答弁。

商工労働委員会

- 1月11日（金） 午後1時25分、第8委員会室において開議、午後1時50分散会
委員長 湯本 芳志（社会）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和60年度の国費予算にかかる中央折衝の概要について口頭により報告。
- ② 商工観光部長、労働部長及び企業局長から昭和60年度北海道開発関係予算主要事項についてそれぞれ説明。
- ③ 委員長から、道外の商工労働事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することにした。
- ④ 藤井猛委員（自民）から、(1)さきに東京、大阪で実施された北海道フェスティバルの成果、反省点及び名古屋で開催の物産展の概要、(2)先端技術産業振興対策の方向づけ、(3)一村一品運動の現状と将来、(4)灯油など油類の購入価格等、(5)今後の北海道経済のあり方について、次回委員会まで回答されるよう要望があり、その旨決定。

- 2月5日（火） 午後1時10分、第8委員会室

において開議、午後1時45分散会

委員長 湯本 芳志（社会）

一般議事

- ① 商工観光部長から、昭和59年度上期における本道の観光客入込み調査の概要について報告。
- ② 労働部長から、北海道社会労働保険協会の労働保険料滞納問題に関し報告の後、久田恭弘委員（自民）から、観光客誘致対策について質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。

- 2月20日（水） 午前10時33分、第8委員会室において開議、午前11時28分散会
委員長 湯本 芳志（社会）

一般議事

- ① 商工観光部長、労働部長及び企業局長から第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 商工観光部長から、去る1月11日の委員会において保留となっていた藤井猛委員（自民）からの質疑に関して答弁。

- 3月25日（月） 午後5時5分、第8委員会室において開議、午後5時11分散会
委員長 湯本 芳志（社会）

付託案件の審査

- 先議を要する議案第60号（財産の処分に関する件）を議題とし、商工観光部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定、付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

- 3月30日（土） 午後7時20分、第8委員会室において開議、午後7時52分散会
委員長 湯本 芳志（社会）

付託案件の審査

- ① 議案第21号（北海道企業立地促進条例案）を議題とし、商工観光部長から説明の後、久田恭弘委員（自民）から、北海道の工業

構造の高度化に寄与する要件、食料品製造業への適用、学識経験者からの意見の聴取方法、申請にあたっての手續方法、補助金交付にあたっての条件、助成措置の承継、条例及び規則の啓発普及及び指導などについて質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁の後、原案のとおり可決することに決定。次いで、

久田恭弘委員（自民）から、本委員会における審議の経過にかんがみ、議案第21号に関する次の附帯意見、『北海道企業立地促進条例の施行にあたっては、次の事項に留意し、適正な運用に努めるべきである。

(1)第3条第1項第3号の「規則で定める工業団地等の地域内又は特定地域」については、地場産業の振興を図る観点から、関係市町村の意向を十分聴取し、特に、対象団地の拡大に配慮すること。

(2)第3条第1項の規定に基づき知事が指定する場合において、新設し、又は増設する工場が先端技術産業に係るものであるとき、及び札幌市の区域内に工場又は試験研究施設が立地するときは、あらかじめ、学識経験者並びに関係諸団体などで構成する審議機関を設置し、その意見を聴いて決定するように必要な措置を講ずること』を委員長報告に挿入されたい旨の動議が提出され、賛成があつて動議が成立、これをはかつて異議なく本動議のとおり決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

(2) 議案第36号（北海道営工業用水道料金及び分担金徴収条例の一部を改正する条例案）を議題とし、企業局長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

○ 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

○4月1日（月） 午前10時27分、第8委員会室

において開議、午前11時8分
散会

委員長 湯本 芳志（社会）

請願・陳情の審査

請願

第30号 道民負担増、大企業優遇に反対し
くらしを守る59年度予算を求める
件 （議決不要）

一般議事

① 労働部長から、北海道社会労働保険協会の滞納問題について報告。

② 労働部長から、公共職業安定所の再編整理について報告。

③ 出村勝彦委員（自民）から、テクノポリス開発計画に関し、道の対処方針と進捗状況、北東北地域との有機的連携の促進、企業立地促進条例とテクノ地域との関連、工業技術センターの運営主体、臨空型工業団地の造成見通し、工業技術センターと北大水産学部との連携、道央テクノ構想に対する道の対処方針等について

質疑があり、商工観光部長から答弁。

農務委員会

○1月11日（金） 午後1時25分、第7委員会室
において開議、午後1時48分
散会

委員長 寺崎 政朝（自民）

一般議事

① 委員長から、さきを実施した昭和60年度農業関係国費予算に関する中央折衝の概要について報告。

② 農務部長事務代理者から、昭和60年度農業関係国費予算について説明。

③ 農務部長事務代理者から、前回の委員会における大野新生委員（道政）の質疑に対する答弁の後、

大野新生委員（道政）から、他用途利用米用の多収量米の試験研究に取り組む考えについて

質疑があり、農務部長事務代理者から答弁。

○2月5日(火) 午後1時15分、第7委員会室
において開議、午後1時32分
散会
委員長 寺崎 政朝(自民)

一般議事

- ① 農務部長から、昭和59年度農業試験研究の成果について報告。
- ② 農務部長から、さきの委員会で大野新生委員(道政)からのキタヒカリの販売拡大に係る質問に対して答弁。
- ③ 青山正男委員(自民)から、ホクレンがメーカーに協力費を課したことに對する公正取引委員会の指摘についての受けとめ方、今後の道の指導に対する見解等について質疑があり、農務部長から答弁。

○2月20日(水) 午前10時17分、第7委員会室
において開議、午前11時51分
散会
委員長 寺崎 政朝(自民)

一般議事

- ① 農務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 三沢道男委員(社会)から、(1)北農中央会から示された畑作4品目の作付指標に対する道の見解、(2)バターの過剰及び脱脂粉乳の不足の状況等に対する道の認識と取り組みについて質疑があり、農務部長から答弁。

○3月1日(金) 午後1時14分、第7委員会室
において開議、午後1時16分
散会
委員長 寺崎 政朝(自民)

一般議事

- ① 委員長から、昭和60年度畜産物価格等に関する要望意見案の発議についてはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、昭和60年度畜産物価格等に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○3月25日(月) 午後5時6分、第7委員会室
において開議、午後5時8分
散会 委員長事故のため副委
員長 神本 三也(社会)

付託議案の審査

- 議案第61号(財産の処分に関する件)を議題とし、農務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

○3月30日(土) 午後7時32分、第7委員会室
において開議、午後7時39分
散会
委員長 寺崎 政朝(自民)

付託議案の審査

- 議案第31号(北海道立農業大学校条例の一部を改正する条例案)及び議案第32号(北海道生乳取引調停審議会設置条例及び酪農振興法の規定により知事から出頭を求められた者の費用弁償条例の一部を改正する条例案)を一括議題とし、農務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、付託の請願について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、さきに実施した昭和60年度畜産物価格等に関する中央折衝の概要について報告。

○4月9日(火) 午後1時20分、第7委員会室
において開議、午後1時28分
散会
委員長 寺崎 政朝(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和60年度畜産物価格等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、3月29日決定した昭和60年度畜産物価格等について説明。

委員長 古川 靖晃（自民）

建設委員会

- 1月11日（金） 午後1時28分、第4委員会室
において開議、午後1時54分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和60年度国
費予算に関する中央折衝の概要について口頭
により報告。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、昭和60年
度北海道開発関係予算の概要について説明の
後、
笹浪幸男委員（自民）から、ゼロ国債に関
し、その取り扱いについて
質疑があり、土木部長から答弁。

- 2月5日（火） 午後1時15分、第4委員会室
において開議、午後1時29分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、昭和59年
度景気対策に関する専決処分について報告。
- ② 土木部長から、北海道各地の積雪状況につ
いて説明の後、
吉川貴盛委員（自民）から、道道に係る除
雪費の予算の見通しについて
質疑があり、土木部長から答弁。
- ③ 住宅都市部長から、北海道住宅対策審議会
の答申について報告。

- 2月20日（水） 午前10時47分、第4委員会室
において開議、午前11時17分
散会、委員長事故のため、
副委員長 柳谷 正一（公明）

一般議事

- 土木部長及び住宅都市部長から、第1回臨
時会及び第1回定例会提出予定案件について
説明。

- 3月15日（金） 午後5時、第4委員会室にお
いて開議、午後5時4分散会

付託案件の審査

- 先議を要する議案第49号（河川法に基づく
一級河川の指定等についての意見に関する
件）を議題とし、土木部長から説明の後、異
議なく原案のとおり可決することに決定。付
託案件に対する委員長報告については、委員
長に一任することとした。

- 3月30日（土） 午後7時27分、第4委員会室
において開議、午後7時33分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

付託案件の審査

- 議案第33号（北海道立都市公園条例の一部
を改正する条例案）、議案第50号（財産の処
分に関する件）を順次議題とし、住宅都市部
長から説明の後、いずれも異議なく原案のと
おり可決することに決定。付託案件に対する
委員長報告については、委員長に一任するこ
ととした。

一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、
今後付託されるさるを含め、閉会中継続審査
の申し出をすること、及び所管事務につい
て、閉会中継続調査の申し出をすることをほ
かり異議なく決定。

- 4月1日（月） 午前10時28分、第4委員会室
において開議、午前10時33分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

請願・陳情の審査

請願

- 第32号 道民負担増、大企業優遇に反対
し、くらしを守る59年度予算を求
める件 （議決不要）
- 第64号 道営住宅家賃の値上げと減免制度
の改正に反対する件（外3件）
（議決不要）
- 第65号 道営住宅家賃の値上げなどに関す
る件 （議決不要）

農地開発委員会

- 1月11日(金) 午後1時15分、第3委員会室
において開議、午後1時29分
散会
委員長 中川 隆之(道政)

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した昭和60年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の経過の概要について報告。
- ② 農地開発部長から、昭和60年度農業基盤整備関係国費予算について説明。
- ③ 農地開発部長から、江別土地改良区の運営に係る問題に関し、道の調査結果を報告。

- 2月5日(火) 午後1時14分、第3委員会室
において開議、午後1時19分
散会
委員長 中川 隆之(道政)

一般議事

- 農地開発部長から、国の景気対策に伴う昭和59年度耕地災害復旧事業に係る補正予算の専決処分について報告。

- 2月20日(水) 午前10時10分、第3委員会室
において開議、午前10時23分
散会
委員長 中川 隆之(道政)

一般議事

- 農地開発部長から、第1回臨時会及び第1回定例会に提出予定の案件について説明。

- 3月30日(土) 午後7時41分、第3委員会室
において開議、午後7時43分
散会
委員長 中川 隆之(道政)

一般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることについてはかり、異議なく決定。

- 4月1日(月) 午前10時22分、第3委員会室
において開議、午前10時30分

散会

委員長 中川 隆之(道政)

一般議事

- ① 農地開発部長から、昭和59年度道営工事の発注状況について報告。
- ② 青山正男委員(自民)から、本道の農業基盤整備に対する取り組み姿勢について質疑があり、農地開発部長から答弁。

水産委員会

- 1月11日(金) 午後1時18分、第6委員会室
において開議、午後1時56分
散会
委員長 中崎 昭一(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した昭和60年度水産関係国費予算に関する中央折衝の経過について報告。
- ② 水産部長から、昭和60年度水産関係国費予算の概要について説明。
- ③ 委員長から、日ソ漁業委員会の協議に係る中央折衝の実施経過について報告。
- ④ 酒井芳秀委員(自民)から、日ソ漁業委員会の協議の経過と現在の状況、米国水域における日本漁船の漁獲割当ての内容等について質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

- 2月1日(金) 午後2時34分、第6委員会室
において開議、午後2時49分
散会
委員長 中崎 昭一(自民)

一般議事

- ① 委員長から、対ソ漁業危機突破緊急大会への参加について報告。
- ② 水産部長から、日ソ漁業委員会の協議の経過及び合意内容の概要について報告の後、委員長から本件に関する質疑等については合意内容の詳細を把握する必要性もあり、後日これを行うことをはかり、異議なく了承。

○2月20日(水) 午前10時39分、第6委員会室
において開議、午前11時24分
散会
委員長 中崎 昭一(自民)

一般議事

- ① 水産部長から、第1回臨時会及び第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 伊藤武一委員(公明)から、日ソ漁業協定に関し、カニ、エビ、ツブが民間協定に委ねられたことに伴う今後の取り組み、日ソ漁業共同事業を行う場合の問題点及びカニ等の消費者価格への影響、操業区域の変更に伴う沖合底曳網漁業への影響、操業規則が厳しくなったことに伴う対処策等について
質疑及び意見があり、水産部長から答弁。

○3月30日(土) 午後7時40分、第6委員会室
において開議、午後7時45分
散会
委員長 中崎 昭一(自民)

一般議事

- ① 委員長から、日ソ漁業に関する要望意見書の発議についてはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、日ソ漁業に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ③ 付託の請願について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることについてはかり、異議なく決定。

○4月1日(月) 午前10時27分、第6委員会室
において開議、午前10時54分
散会
委員長 中崎 昭一(自民)

一般議事

- 水産部長から、農林水産省に設置された「北海道対策室」の概要について説明。

文教林務委員会

○1月11日(金) 午後1時16分、第10委員会室
において開議、午後1時39分
散会
委員長 岩田 徳弥(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した昭和60年度国費予算に関する中央折衝の概要について口頭により報告。
- ② 教育長、林務部長及び学事課長から、昭和60年度文教林務関係国費予算の概要について説明。
- ③ 中川義雄委員(自民)から、社会教育主事及び社会体育指導者派遣事業の財源が補助金から交付金へ振り替えられたことに関し、その内容、都道府県への影響について
質疑があり、教育長から、答弁。

○2月5日(火) 午後1時13分、第10委員会室
において開議、午後2時22分
散会
委員長 岩田 徳弥(自民)

請願・陳情の審査

陳情

第20号 非木造校舎(ブロック造)の危険
改築に関する件 (議決不要)

一般議事

- ① 教育長から昭和57、58両年度の公立小・中学校学級編制実態調査の概要について報告の後、

伊藤弘委員(自民)から、実態調査の方法、市町村教委の自主調査の体制、調査対象学校数、調査対象校の全校に対する割合、水増しの方法、生徒数、要因、責任の所在、市町村教委からの報告に対するチェック、指導、水増しに基づく教員の数、国庫負担金で減額される額、責任者の処分、問題究明のためのプロジェクトの必要性

中川義雄委員(自民)から、道教委の調査が遅れた理由、調査の方法、水増し行為に対するモラル問題の調査結果、校名の公表、議員の調査権行使

菊地芳郎委員（社会）から、5月11日の実態調査結果により、学級編制替えをしている学校数、学級数、学級編制の仕組みの実態に対する考え方

高木繁光委員（自民）から、国庫負担金の返還時期、責任者に対する法上の処分、不正行為に対する損害賠償請求の検討等について質疑、要望があり、教育長から答弁。

○2月20日（水） 午前10時27分、第10委員会室において開議、午前11時3分散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

一般議事

○ 教育長、林務部長及び学事課長から、第1回臨時会及び第1回定例会提出予定案件について説明。

本日聴取した陳情

道立全日制高等学校の新設について

白老町長 山手一雄

○3月30日（土） 午後7時32分、第10委員会室において開議、午後7時42分散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

付託議案の審査

- ① 議案第22号（北海道立21世紀の森条例案）を議題とし、林務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。次に、
- ② 議案第34号（北海道林業改良指導員資格試験条例の一部を改正する条例案）及び議案第35号（北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、林務部長及び教育長から説明の後、いずれも異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

○ 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをほかり、異議なく決定。

○4月1日（月） 午前10時23分、第10委員会室において開議、午前11時57分散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

一般議事

- 1 教育長から、3月に発行した女子児童生徒の指導資料について説明。
- 2 木戸浦隆一委員（自民）から、(1)教職員の人事異動に関し、昭和60年度の人事異動の概要、都市部と郡部間の人事異動の状況、札幌市との人事交流の状況、函館市における郡部との交流状況、53年に定めた教職員人事異動要綱の主旨を徹底することに対する見解、(2)学校運営研修会に関し、参加状況とこれに対する評価、参加率が特に低かった会場とその状況、空知教育局管内での不参加者が多いことと事前対応のあり方、会場となったホテルとの契約内容、再度研修会を開催する考え、学校運営研修会の開催に対する今後の指導方策、新年度の研修会に対する取り組みと早期開催の必要性、不参加者の賃金カットのための確認作業の状況、教頭予定者の登録名簿からの削除時期等について

高木繁光委員（自民）から、学校運営研修会に関し、不参加者等についての教育委員会への報告の有無、教頭予定者登録名簿からの削除を早期に実施する必要性、人事異動への影響の有無、新任教務主任のうち研修会への不参加者数、新聞で報道された北教組の声明が現実に実施された場合の対応策、主任制に係る問題解決についての現在の状況等について

中川義雄委員（自民）から、学校運営研修会に関し、研修会への参加状況の地域間格差と人事異動の異動率との関連、教育局管内相互で人事異動を行う考え、研修会への不参加者が出たことに伴う予算支出上の処理、不参加者に対する管理責任に対する見解、60年度の研修会を夏休み前に実施する考え、今回の不参加者に対する60年度の研修会における扱い等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

- 2月5日(水) 午後2時38分、第1委員会室において開議、午後2時50分散会
委員長 笹浪 幸男(自民)
- ① 開発調整部長から、昭和60年度北海道開発関係予算の内示概要について説明。
 - ② 開発調整部長から、昭和59年度北海道開発事業費補正予算について説明。
 - ③ 開発調整部長から、新計画の策定に関する道民意向調査等について報告。
 - ④ 委員長から、さきに実施した他府県の開発事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- 2月20日(水) 午後2時10分、第1委員会室において開議、午後2時37分散会
委員長 笹浪 幸男(自民)
- ① 開発調整部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
 - ② 開発調整部長から、新計画の基本構想部門の骨子案について報告の後、
委員長から、新計画の基本構想の内容が委員会報告前に一部報道されたことについて発言があり、開発調整部長から遺憾の意を表明。

石炭対策特別委員会

- 1月11日(金) 午後4時3分、第11委員会室において開議、午後4時6分散会
委員長 伊藤 豪(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和60年度北海道石炭関係国費予算要求及び石炭関係の諸問題に関する中央折衝の概要について口頭

より報告。

- ② 商工観光部長及び労働部長から、昭和60年度エネルギー関係特別会計予算について説明。

- 2月20日(水) 午後1時8分、第11委員会室において開議、午後1時17分散会
委員長 伊藤 豪(自民)
- ① 委員長から、さきに実施した昭和60年度石炭対策等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
 - ② 商工観光部長及び労働部長から、第1回定例会提出予定予算案について説明。

- 3月30日(土) 午後8時4分、第11委員会室において開議、午後8時5分散会
委員長 伊藤 豪(自民)

請願・陳情の審査

請願

- 第33号 道民負担増、大企業優遇に反対し、くらしを守る59年度予算を求めめる件 (議決不要)

その他の議事

- ① 委員長から、来る4月3日から4月5日までの間、石炭対策等に関する中央折衝を実施する旨をはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

北方領土対策特別委員会

- 1月11日(金) 午後3時53分、第3委員会室において開議、午後4時8分散会
委員長 野村 權作(自民)
- ① 領対本部長から、昭和60年度国費関係予算について説明の後、
若狭靖委員(自民)から、北方領土隣接地域振興等基金造成費補助金の予算折衝に対する対処方針について
質疑及び要望があり、領対本部長から答弁。
 - ② 領対本部長から、「北方領土の日」啓発事

業について説明。

- 2月20日(水) 午後1時17分、第3委員会室において開議、午後1時24分散会、委員長事故のため、副委員長 櫻林 巖(社会)
- ① 副委員長から、さきを実施した北方領土返還促進に関する中央要請等の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 領対本部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

公害対策特別委員会

- 2月5日(火) 午後2時27分、第2委員会室において開議、午後2時33分散会
- 委員長から、さきを実施した道外調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- 2月20日(水) 午後1時28分、第2委員会室において開議、午後1時35分散会
委員長 佐々木行雄(自民)
- 生活環境部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- 3月30日(土) 午後8時4分、第2委員会室において開議、午後8時10分散会
委員長 佐々木行雄(自民)

付託案件の審査

- 議案第26号(北海道公害紛争処理条例の一部を改正する条例案)を議題とし、生活環境部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

その他の議事

- 生活環境部長から、石勝高原総合レクリエーション施設開発事業に係る環境影響評価の実施状況について説明。

エネルギー問題調査特別委員会

- 2月5日(火) 午後4時22分、第2委員会室において開議、午後4時29分散会
委員長 宇野 眞平(自民)
- 商工観光部長から、貯蔵工学センター関係国費予算に関し説明の後、中川義雄委員(自民)から、国及び動燃事業団が行う貯蔵工学センター立地環境調査について、知事が拒否する根拠、権限等について質疑があり、商工観光部長から答弁。
- 2月20日(水) 午後3時17分、第2委員会室において開議、午後3時22分散会
委員長 宇野 眞平(自民)
- 商工観光部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- 3月30日(土) 午後8時28分、第11委員会室において開議、午後8時30分散会
委員長 宇野 眞平(自民)
- 委員長から、付託の請願について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

予 算 委 員 会

○3月25日(月) 午後2時52分, 第1委員会室
において開議, 午後4時59分
散会

委員長 佐々木 利昭(自民)

正副委員長の互選

- ① 野村權作臨時委員長(自民)から, 委員長互選の方法についてはかり, 神本三也委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって佐々木利昭委員(自民)を委員長に選出。
- ② 委員長から, 副委員長互選の方法についてはかり, 吉川貴盛委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって関根建二委員(社会)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため, 午後2時56分休憩, 午後2時58分再開。休憩中協議の結果, 付託案件の審査の方法について, 付託案件のうち議案第51号ないし第59号についてはこれを先議することとし, 本委員会で審議を行うこと, その他の案件については3分科会を設置し質疑を行うこととし, 第1分科会は委員17人, 所管は総務部, 開発調整部, 生活環境部, 公安委員会, 人事委員会, 出納局及び監査委員, 第2分科会は委員17人, 所管は民生部, 衛生部, 土木部, 住宅都市部, 企業局及び教育委員会, 第3分科会は委員17人, 所管は農務部, 農地開発部, 水産部, 林務部, 商工観光部及び労働部とすること, 各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること, 各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は, 本委員会において行うことをはかり, 異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり, 異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員(17人)

生駒 隆介(自民)	操上 良宏(自民)
村田 雄平(自民)	三沢 道男(社会)
小田原要四蔵(社会)	工藤 啓二(公明)
青山 章(自民)	橋 浪蔵(自民)

山口 眞人(自民)	吉川 貴盛(自民)
石山 直行(自民)	伊藤 豪(自民)
高木 繁光(自民)	小野 秀夫(道政)
吉野 之雄(社会)	渋谷 澄夫(社会)
笠島 保(社会)	

○第2分科委員(17人)

大内 良一(社会)	高橋 一史(自民)
平井 進(自民)	木下 一見(道政)
大島 一郎(社会)	神本 三也(社会)
湯佐 利夫(自民)	小田部善治(自民)
中川 義雄(自民)	久田 恭弘(自民)
青山 正男(自民)	寺崎 政朝(自民)
柳谷 正一(公明)	関根 建二(社会)
岩崎 守男(社会)	湯本 芳志(社会)
野村 權作(自民)	

○第3分科委員(17人)

伊達 忠一(道政)	今津 寛(自民)
岩瀬 正人(自民)	酒井 芳秀(自民)
浅野 俊一(公明)	柏倉 勝雄(社会)
高橋 庸(社会)	伊藤 弘(自民)
岩本 允(自民)	松崎 義雄(自民)
岩田 徳弥(自民)	宇川 源吉(自民)
長岡 寅雄(社会)	舟山 広治(社会)
星野 健三(社会)	西村 慎一(道政)
宇野 眞平(自民)	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと, 分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことについてはかり, 異議なく決定。
- ⑥ 委員長から, 付託案件の審査日程についてはかり, 異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法等について, 通告の形式により一括して行うこと, 一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること, 発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり, 異議なく決定。
- ⑧ 委員外議員の発言の申し出について, その都度委員会にはかり決定することとした。
- ⑨ 議席についてはかり, 異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑩ 本委員会の運営について, 正副委員及び各分科正副委員長をもって構成する理事会を設置しその協議により運営すること及び正副委

員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことについてはかり、異議なく決定。

⑪ 議案第51号ないし第59号（先議案件）を一括議題とし、質疑に入り、

岩瀬 正人委員（自民）から、

地方競馬特別会計に関し、一般会計からの借入れの理由、借入れの条件、返済計画繰上げ充用しなかった理由、一般会計から特別会計へ貸付けする場合の法的根拠、地方競馬の健全運営に対する決意等について

大橋 晃議員（共産）から、

北海道生薬公社の再建に関し、経営健全化に係るこれまでの経過、道の損失補償と金融機関側に一定の協力要請をする考え、公社の役員人事に対する方針、名寄市の公社に対する債権放棄に伴う財政運営への影響と道の指導方針、生薬生産農家に対する今後の指導、公社の経営健全化に対する道の指導のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長、農務部長及び衛生部長から答弁があって質疑を終結。各会派代表者会議における意見調整のため、午後4時57分休憩、午後4時58分再開。

⑫ 委員長から、議案第51号ないし第59号はいずれも原案可決とすることについてはかり、異議なく決定。先議案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

第 1 分 科 会

○3月25日（月） 午後3時9分、第1委員会室において開議、午後3時17分散会

第1分科委員長

吉川 貴盛（自民）

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長に吉川貴盛委員（自民）、分科副委員長に吉野之雄委員（社会）をそれぞれ選出。

② 付託案件の審査日程、質疑方法について協議決定した。

③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その

協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、操上良宏委員（自民）、小田原要四蔵委員（社会）、小野秀夫委員（道政）及び工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。

③ 委員外議員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。

④ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○3月26日（火） 午後5時7分、第1委員会室において開議、午後5時8分散会

第1分科委員長

吉川 貴盛（自民）

○ 会期延長に伴う今後の分科会の審議日程について協議、決定した。

○3月27日（水） 午後5時57分、第1委員会室において開議、午後5時58分散会

第1分科委員長

吉川 貴盛（自民）

○ 分科委員長から、本日の議事はこの程度にとどめることをはかり、異議なく決定。

○3月28日（木） 午後1時6分、第1委員会室において開議、午後5時49分散会

第1分科委員長

吉川 貴盛（自民）

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

国本 康夫委員（自民）から、

違法駐車に関し、道内及び札幌市の駐車違反の実態とレッカー車で移動した件数、移動業務の委託内容及び委託業者数、反則金、移動料金、保管料金を規則で定める必要性、他府県の取扱実態、移動した車両の保管場所を確保する考え、今後の違法駐車を取り締まりに対する基本的な考え方等について

質疑、意見及び要望があり、警察交通部長から答弁があって、公安委員会所管に対する質疑を終結。

② 開発調整部所管に対する質疑に入り、

綿貫 健輔委員（自民）から、

国立大学の誘致に関し、医大、複合大学、芸術の経緯、誘致運動に対する道の対応、各地区・団体の誘致運動の経緯と現状、大学誘致と知事公約との関連、医大誘致運動の受けとめ方及び評価、国の医師削減方針及び本道への医大誘致の必要性に対する見解、高等教育拡充整備促進協議会の検討内容及び結論を得る時期、今後の医大誘致に対する取り組み方針等について

出村 勝彦委員（自民）から、

- (1) 北海道新幹線の誘致対策に関し、国に対する積極的な要請の必要性、当面函館まで引き続き札幌まで段階的に整備することについて関係団体との合意の有無、青函トンネルを新幹線で利用することに対する見解、道新幹線について調査費の配分を要望する考え
- (2) 青函博覧会に関し、青函トンネル開通記念行事調査費の内容及び調査のスケジュール、青森県及び函館市の協議の状況、博覧会の開催時期の見通し、国及び鉄道建設公団の協力を得る必要性、具体的な準備を早急に進める考え及び庁内体制の整備等について

岩本 允委員（自民）から、

本道経済の自立と新計画に関し、知事公約の「経済自立化への挑戦」に対する見解、新計画における経済の自立についての位置づけ、本道経済の自立に係る指標の現状、道の新計画策定のスケジュール、四全総の策定期と道の新計画とのかかわり、新計画基本構想骨子案の基本的な考え方、財政依存型から民間主導型への転換についての具体的な内容、本道経済が自立する時期等について

相沢 武彦委員（公明）から、

北方圏交流に関し、これまでの北方圏交流の評価、59年度に実施した経済交流に係る実態調査の内容、60年度予算における調査費の内容、北方圏に関する情報収集に対する取り組みと体制整備、北方圏センターの実績・財政状況、会員数、執行体制の現状、センターに対する指導監督責任、青少年の参加と協力が得られる事業に積極的に取り組む必要性、センターの販売業務及びコンピューター導入

に伴う発注方法の妥当性、執行体制の刷新に対する見解、新計画構想骨子案における北方圏交流に対する取り組み及び実現見通し等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があって、開発調整部所管に対する質疑を終結。

③ **生活環境部所管に対する質疑**に入り、

岩瀬 正人委員（自民）から、

ヒグマの保護及び駆除に関し、道内におけるヒグマの生息推定数・捕獲数、ヒグマによる被害状況、駆除に対する見解、鳥獣保護に関する権限、支庁長の通達の妥当性、ヒグマ被害防止対策に係る経費、道が市町村に財源措置する必要性等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁

○3月29日（金） 午前10時33分、第1委員会室において開議、午後6時18分散会

第1分科委員長

吉川 貴盛（自民）

① **生活環境部所管に対する質疑**に入り、

小野 秀夫委員（道政）から、

- (1) 環境影響評価と千歳川放水路計画に関し、道環境影響評価条例の対象事業に対する見解及び国の事業とのかかわり、国の環境影響評価実施要綱の対象事業の道条例での取り扱い、千歳川放水路が苫東基地内を貫通する場合苫東基地の環境影響評価の再評価を行う考え、道環境影響評価条例の改正に対する見解、
- (2) 貯蔵工学センターと環境影響評価に関し、貯蔵工学センターに係る立地環境調査の調査項目及び調査の性格、本調査を環境影響評価の一環と解することに対する見解、国が環境影響評価を行う場合の道の対応等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって、生活環境部及び各種委員会所管に対する質疑を終結。

② **総務部所管に対する質疑**に入り、
今津 寛委員（自民）から、

政教分離に関し、政教分離に係る学識経験者からの意見聴取による調査を行うに至った

経緯、調査内容等について事前・事後に議会に報告しなかった理由、調査項目、調査方法の妥当性等について

橋 浪蔵委員（自民）から、

60年度予算編成に関し、積極型予算となった理由、道税収入の見込みの妥当性、道内の景気動向に対する見通し、地方交付税の見積りの妥当性、経常経費の節減による財源捻出額、経費の合理化に対する取り組み、自主財源の確保策、地方債借入残高と今後の償還額、60年度の債務負担行為に基づく負担額、財政調整基金の全額取り崩したことの妥当性及び財政調整基金条例の解決、財政の中長期見通しを策定する必要性、一時借入金の限度額を2,000億円に引き上げた理由、一般会計から企業会計・特別会計への貸付状況、返済計画等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○3月30日（土）午前10時5分、第1委員会室において開議、午後零時24分閉会

第1分科委員長

吉川 貴盛（自民）

① 総務部所管に対する質疑の続行、

山口 真人委員（自民）から、

道財政の運営に関し、59年度道税収入の減額補正額と見積りの妥当性、道債の追加補正の理由、道債発行にあたっての基本的考え方及び返還の将来見通し、公共投資による景気対策への波及効果、60年度予算編成の基本的考え方、財政調整基金の全額取崩しと明年度以降の財政運営への影響、補正予算のための財源留保額、国の補助率の一割カットによる道の負担増となる額等について

中川 義雄委員（自民）から、

政教分離に関し、58年5月の護国神社例大祭等慰霊祭の取扱いに関する民生部長通達の適用範囲、海難者慰霊祭・交通事故物故者慰霊祭等への道職員の参画について取扱いが変更された理由、取扱いを統一する必要性、総務部長名で改めて通知を出す考え等について
質疑及び意見があり、総務部長から答弁があつて、総

務部所管に対する質疑を終結。

② 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することとした。

第 2 分 科 会

○3月25日（月）午後3時5分、第2委員会室において開議、午後3時15分散会

第2分科委員長

神本 三也（社会）

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長に神本三也委員（社会）、分科副委員長に湯佐利夫委員（自民）をそれぞれ選出。

② 付託案件の審査日程、質疑の方法について協議決定した。

③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選びその協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、高橋一史委員（自民）、大内良一委員（社会）、木下一見委員（道政）及び柳谷正一委員（公明）をそれぞれ決定。

④ 委員外議員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。

⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○3月26日（火）午後5時5分、第2委員会室において開議、午後5時7分散会

第2分科委員長

神本 三也（社会）

○ 会期延長に伴う今後の分科会の審査日程について協議、決定した。

○3月27日（水）午後5時55分、第2委員会室において開議、午後5時56分散会

第2分科委員長

神本 三也（社会）

○ 分科委員長から、本日の議事はこの程度に

と定めることをはかり、異議なく決定。

○3月28日(木) 午後1時5分、第2委員会室
において開議、午後6時4分
散会

第2分科委員長

神本 三也(社会)

① 土木部所管に対する質疑に入り、

岩本 允委員(自民)から、

公共事業の執行に関し、景気対策と公共事業との関連、景気対策予算の具体的な執行方針、土木関係公共事業に係る計画の進捗状況及び今後の取り組み、土木関係技術職員の研修の充実に対する見解、建設業の最近の倒産状況及び行政指導状況、建設業許可業者の増加状況、新規許可申請に対する審査状況及び執行体制強化に対する見解等について

意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部所管に対する質疑を終結。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員(自民)から、

(1) 都市計画に関し、都市計画の基本理念、都市計画決定にあたっての関係市町との協議内容、都市カルテの必要性和今後の活用方針、農山漁村中心市街地整備調査の目的、調査方法及び調査結果の活用方法、公園緑地の整備・街路事業・下水道整備の方針及び目標、街づくり関連事業について関係部との連携の必要性

(2) 営繕工事に関し、最近の営繕工事の推移及び営繕関係職員数、道の公有財産の管理状況及び営繕工事に対する積極的な取り組みの必要性等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

③ 民生部所管に対する質疑に入り、

平井 進委員(自民)から、

(1) 母子福祉対策に関し、母子相談員の全道における配置状況と配置基準、郡部において相談件数が少ない理由、常勤職員配置及び旅費の増額に対する見解、移動相談の回数増の必要性、寡婦控除の引き上げに係る国への働きかけ

(2) 老人福祉対策に関し、本道における特別

養護老人ホームの整備状況、開かれた施設づくりに対する所見、道内における老人福祉施設の配置基準、配置数及び年齢構成、寮母の研修の実施状況、施設長の研修の場の充実、道内における家庭奉仕員の配置状況及び増員に対する見解等について

柳谷 正一委員(公明)から、

(1) 在宅福祉に関し、在宅福祉サービスモデル事業の目的と実績、モデル事業の指定期間を延長した理由、事業実施主体に対する補助基準の妥当性、給食サービスの実態、在宅福祉サービス事業の推進体制の現状と社会福祉協議会の役割、生活保護世帯に対するケースワーカーの訪問活動基準、

(2) ボランティア活動に関し、本道におけるボランティアの活動状況、ボランティア活動の活性化に対する取り組み、福祉関係職員のボランティア意識の向上、社会保障制度審議会の提言に係る中間施設に対する見解及び道として施設整備に取り組む考え等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があって、民生部所管に対する質疑を終結。

④ 衛生部所管に対する質疑に入り、

水岡 薫委員(自民)から、

(1) 脳性麻痺対策に関し、脳性麻痺等早期発見事業の実施方法、検診の実施状況、専門医の養成及び保健婦の研修の実施状況、今後の専門医確保策、脳性麻痺の予防及び早期発見のための知識の啓発を行う必要性

(2) 小児がん対策に関し、小児がん対策の実施方法、検査セットの配付方法、検査についての周知方法、検査機関等について

木下 一見委員(道政)から、

医師確保及び釧路医大誘致に関し、厚生省の将来の医師需給に関する検討委員会の中間報告の内容、全国及び本道の医師数の現状、道内3医大の養成定員及び卒業生の就職状況、釧路医大が誘致された場合の医師の供給見通し、釧路医大誘致実現のためのこれまでの取り組みと今後の見通し等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって衛生部所管に対する質疑を終結。

○3月29日(金) 午前10時19分, 第2委員会室
において開議, 午前11時7分
閉会

第2分科委員長

神本 三也(社会)

① 教育委員会所管に対する質疑に入り,

伊藤 武一委員(公明)から,

(1) 道立高校の機器整備に関し, 商業高校,
工業高校に情報機器を導入する目的と整備
方針, 情報機器の活用方法と教育効果, ワ
ープロ技術の習得に対する企業の期待, 今
後の情報機器の整備目標,

(2) 児童生徒の健康診断に関し, 児童生徒の
定期健診の実施状況, 医療過疎地における
健診状況, 衛生部及び市町村との連携によ
る積極的な取り組み方,

(3) 道立美術館の祝日開館に関し, 他府県の
美術館の祝日開館の状況, 道立美術館の祝
日開館を早急に実施する考え等について
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があつて
教育委員会所管に対する質疑を終結。

② 付託案件に対する分科委員長報告について
は, 分科委員長に一任することとした。

第3分科会

○3月25日(月) 午後3時10分, 第11委員会室
において開議, 午後3時30分
散会

第3分科委員長

松崎 義雄(自民)

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により, 分科委員長に松崎
義雄委員(自民), 分科副委員長に長岡寅雄
委員(社会)をそれぞれ選出。

② 付託案件の審査日程, 質疑の方法について
協議, 決定した。

③ 本分科会の運営について, 自民, 社会, 道
政及び公明各1名計4名の理事を選びその協
議により行うことをはかり, 異議なく決定。
理事には, 酒井芳秀委員(自民), 舟山広治
委員(社会), 伊達忠一委員(道政)及び浅
野俊一委員(公明)をそれぞれ選出。

④ 委員外議員の発言の取扱いについて, その
都度分科会にはかり決定することとした。

⑤ 議席について, 配付の議席表のとおりとす
ることに決定。

○3月26日(火) 午後5時6分, 第11委員会室
において開議, 午後5時8分
散会

第3分科委員長

松崎 義雄(自民)

○ 会期延長に伴う今後の分科会の審査日程に
ついて協議, 決定した。

○3月27日(水) 午後5時54分, 第11委員会室
において開議, 午後5時55分
散会

第3分科委員長

松崎 義雄(自民)

○ 分科委員長から, 本日の議事はこの程度に
とどめることをはかり, 異議なく決定。

○3月28日(木) 午後1時7分, 第11委員会室
において開議, 午後6時46分
散会

第3分科委員長

松崎 義雄(自民)

① 農務部所管に対する質疑に入り,

操上 良宏委員(自民)から,

本道農業の将来展望に関し, 農業発展方策
策定後実施した施策の内容, 発展方策の地域
版の作成状況, 新計画基本構想骨子(案)に
おける農業部門に係る基本認識, 米の減反・
生乳の計画生産に係る将来の想定, 新計画と
農業発展方策との関連, 現在の農業の国際競
争力と今後の国際競争力を高める手だて, 農
村型複合産業の内容, 新計画における兼業農
家の位置づけ及び所得確保対策, 複合経営の
長所・短所, 複合経営の育成のための具体
策, 肉用牛振興の抜本策, 農家経営実態調査
の内容等について

中川 義雄委員(自民)から,

新計画構想骨子(案)における農業の展望
に関し, 「世界を目指す農業」の意味, 農業
経営の現状に対する認識, 価格面で国際競争

力が弱い理由と今後の対策、兼業農家を施策の中心にすえ農家所得の向上を図ることに対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって農務部所管に対する質疑を終結。

② 林務部所管に対する質疑に入り、

酒井 芳秀委員（自民）から、

林道事業に関し、民有林林道の開設実績、本道の林道網の整備目標とこれまでの整備状況、林道の開設効果、新計画骨子（案）における林道整備の位置づけ、道単独の林道事業予算増額の必要性、国庫補助率の引下げに伴う市町村への影響額、道開発予算の全国シェアが減少している理由、林業地域総合整備事業の実績及び効果、今後の進め方、大規模林道事業の計画目標及び進捗状況、計画遅延の理由、工事費の大幅増額及び平取・えりも線の新冠工区の新規着工を国に要請する考え等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって林務部所管に対する質疑を終結。

③ 商工観光部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

- (1) 企業立地促進条例に関し、工業団地指定の考え方、ベンチャービジネスが工業団地外に立地する場合の条例の適用、市町村の企業誘致施策との関係
- (2) 離島の流水対策に関し、利尻・礼文へのフェリー欠航に伴う生鮮食料品・灯油の供給への影響、水産加工・商工業者に対する資金措置の状況について

中川 義雄委員（自民）から、

- (1) 高レベル核廃棄物処理施設に関し、貯蔵工学センターの立地について国から理解を求められた場合の道の対応、道議会の意見との関連、
- (2) 苫東第3段階計画に関し、新計画の苫東開発第3段階計画との関連、新計画で立地想定している先端産業の種類、航空宇宙基地立地想定と立地場所等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

○ 3月29日（金） 午前10時15分、第11委員会室において開議、午後5時39分

閉会

第3分科委員長

松崎 義雄（自民）

① 商工観光部所管に対する質疑の続行

大橋 見議員（共産）から、

- (1) 企業立地促進条例案に関し、先端産業の立地見通し、本条例について札幌市と協議の有無、札幌市を条例の補助対象地域に含めた経緯及び期間設定をした理由、先端産業の立地に伴う地場産業への影響、雇用効果、環境対策、函館テクノポリスの企業立地の見通し、
- (2) 苫東開発に関し、石油備蓄基地建設の現状と今後の見通し、苫小牧総合化学の立地見通し、苫東工業基地開発に伴う開発関連公共施設整備事業費の額と今後の投資必要額、投資計画を手控える考え、臨海型及び臨空型の両方を推進する方針とその見通し等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部所管に対する質疑を終結。

② 水産部所管に対する質疑に入り、

木戸浦 隆一委員（自民）から、

- (1) 道立漁業研修所に関し、中卒者の総合研修の内容、実習をとり入れる等研修内容の改善を行う必要性、研修施設の整備に対する見解、
- (2) 水難救難所に関し、海難救助体制及び海難事故の発生状況、水難救難所の組織、道の助成額及び増額の必要性、救難所員の身分保障と待遇改善に対する見解、

久田 恭弘委員（自民）から、

- (1) 日ソ漁業交渉に関し、底びき漁船に係わる国への要請の内容、カニ・ツブ・エビの民間交渉の見通し、スケトウダラの原魚の供給見通し、水産加工業の育成に対する見解、底びき漁船乗組員の就労対策、地場関連産業の影響と対処策、
- (2) 離島などにおける流水被害に関し、被害状況調査の取りまとめ状況、被害対策の積極的な取り組み等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって水産部所管に対する質疑を終結。

③ 農地開発部所管に対する質疑に入り、

操上 良宏委員（自民）から、

- (1) 新計画の策定に関し、第3次土地改良長期計画及び北海道農業発展方策との調整、「世界をめざす力強い農業」を実現するための土地基盤整備の目標及び進め方、農村環境整備の進捗状況、
- (2) 土地改良区に関し、土地改良区の財政運営の実態に対する認識、土地改良区の統合・合併に対するこれまでの取り組み、土地改良区運営改善協議会の検討内容、土地改良区統合推進対策費の計上目的と内容等について

大橋 見議員（共産）から、

厚沢部川地区 国営かんがい排水事業に関し、国営事業を計画変更する手順、厚沢部川地区の計画変更について道への協議の有無、計画変更に伴う農家の負担増に対する見解、農家負担の軽減について国に働きかける考え等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって農地開発部所管に対する質疑を終結。

④ 労働部所管に対する質疑に入り、

平井 進委員（自民）から、

- (1) 労働時間の短縮に関し、我が国の労働時間と欧米との比較、道内企業の労働時間の実態、労働時間短縮の推進方策、道内における週休2日制の普及状況、ゴールデンウィークの連続休暇に対する見解、
- (2) 失業対策事業に関し、本道の失業対策事業の現況、60年度の事業費、市町村の事業実施状況、失対事業に対する国の方針、
- (3) 季節労働者冬期雇用援護制度に関し、制度の目的と活用状況、60年度で本制度打ち切りの動きと対応策、季節労働者関係給付金調査費計上の目的等について

大橋 見議員（共産）から、

婦人のパートタイムに関し、本道の婦人パートタイマーの労働条件に対する認識、国のパートタイム労働対策要綱と道の対応、女子パートタイマー実態調査費の内容、パート労働改善特別期間の設定、パート労働相談所の拡充等に対する見解について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって労働部所管に対する質疑を終結。

- ⑤ 付託案件に対する分科委員長報告について、分科委員長に一任することとした。

○3月30日（土） 午後2時35分、第1委員会室において開議、午後7時7分閉会

委員長 佐々木 利昭（自民）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

- ② 知事に対する総括質疑に入り、

今津 寛委員（自民）から、

政教分離に関し、慰霊祭へ公の立場で出席することに対する見解、交通事故物故者慰霊祭に対する道の対応、政教分離に関する学識経験者からの意見聴取方法の妥当性、宗教儀式を伴う行事に対する対応について再度通知を出す考え等について

山口 真人委員（自民）から、

道財政の運営に関し、60年度予算編成における景気対策関係予算の計上にあたっての考え方、道財政についての現状認識等について

中川 義雄委員（自民）から、

新計画における農業の将来構想については、文書質問にかえたいので委員長において適切に措置されたい旨の発言の後、

貯蔵工学センター立地環境調査に関し、現地調査に反対する法的根拠・権限の有無、国・動燃事業団から理解を求められた場合の道の対応、知事の態度を決定するにあたっての道議会の論議との関係等について

小野 秀夫委員（道政）から、

環境影響評価と貯蔵工学センターとの関係に関し、動燃事業団が貯蔵工学センター計画の環境影響評価書作成のため調査を行う場合の道の対応、道環境影響評価条例第3条の趣旨と開発事業者の環境保全に対する責務、貯蔵工学センターの立地環境調査の性格及び考え方、環境影響評価と立地可能性調査との関連等について（関連して、中川義雄委員（自民）から環境影響評価書の作成時期、立地可能性調査の内容と環境影響評価との関係について）

質疑、意見及び要望があり、知事及び生活環境部長から答弁があって知事に対する総括質疑を終結。

③ 委員長から、中川義雄委員（自民）の文書質問に対する答弁書が提出されている旨報告。

④ 委員長から、議案第1号ないし第18号、第23号及び第37号ないし第48号について、原案可決とすることをはかり、異議なく決定。

次いで、吉川貴盛委員（自民）から、議案第1号について、次の附帯意見を委員長報告文に挿入されたい旨の動議があり、これをはかって動議成立、直ちに本動議を議題とし、異議なく決定。

（議案第1号に対する附帯意見）

60年度予算編成において、財政調整基金等を全額取り崩したことは、今後の財政運営を極めて厳しいものになっている。

よって、本予算の執行にあたっては、その効率化に配意するとともに、新規財政需要にも適切に対応できるよう、財源確保に最善を尽くすべきである。

⑤ 付託案件に対する委員長報告について、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

⑥ 委員長から、付託案件の審査終了にあたってあいさつがあった。

会 合

全国都道府県議会議長会

○1月25日（金） 全議会議室において役員会を開催。会長（岩手県議長）のあいさつに引き続き、協議に入り、昭和60年度本会予算について、全議事務総長の説明のとおり臨時総会に提出することに決定の後、臨時総会の日程及び運営について了承。次いで、同総長から、昭和60年度政府予算編成に伴い決定された地方財政対策等について説明の後、会長から、来る2月7日に日本青年会館で「北方領土返還要求全国大会」が、また2月11日には、東京国立劇場で「建国記念の日祝賀記念式典」がそれぞれ開催される旨の報告の後、閉会した。

○1月25日（金） 都道府県会館において臨時総会を開催。会長（岩手県議長）のあいさつに引き続き、来賓の自治大臣（代理）からあいさつがあった。次いで協議に入り、昭和59年度本会予算について、会長及び全議事務総長から歳入歳出の概要等についてそれぞれ説明の後、原案のとおり決定した。次いで、兵庫県議会副議長から、大鳴戸橋の竣工を記念して本年4月21日から開催される「くにうみの祭典」についての紹介があった。次いで、同総長から昭和60年度政府予算編成に伴い決定された地方財政対策について説明の後、会長から「北方領土返還要求全国大会」並びに「建国記念の日祝賀記念式典」が開催されるが、同式典は本年から本会など地方六団体が総理府、自治省、文部省、外務省とともに後援することとなった旨の報告の後、閉会した。

都道府県議会議員共済会

○1月25日（金） 全国議長会会長室において理事会を開催。会長（岩手県議長）のあいさつに引き続き、協議に入り、代議員会の運営、昭和60年度事業計画及び予算案等について協議、原案のとおり了承し、代議員会に提出することとし、閉会した。

○1月25日（金） 都道府県会館において代議員会を開催、会長（岩手県議長）のあいさつに引き続き、議事に入り、昭和59年度変更事業計画及び予算（案）、昭和60年度事業計画及び予算（案）等についてはかり原案のとおり決定の後閉会した。

資 料

第1回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例	3. 30	4. 1	北海道条例第2号
北海道税条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第3号
北海道税条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第4号
北海道立文書館条例	同	同	北海道条例第6号
低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例	同	同	北海道条例第7号
北海道企業立地促進条例	同	同	北海道条例第8号
北海道立21世紀の森条例	同	同	北海道条例第9号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第10号
北海道公害紛争処理条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第11号
北海道ウタリ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第12号
北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第13号
北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第14号
北海道生乳取引調停審議会設置条例及び酪農振興法の規定により費用弁償条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第15号
北海道立都市公園条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第16号
北海道林業改良指導員資格試験条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第17号
北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第18号
北海道営工業用水道料金及び分担金徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第19号
北海道立衛生学院条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第20号
北海道立農業大学校条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第21号

提出案件の処理状況 …昭和59年中…

知事提出案件

定例会	提出件数					処理状況								
	条例案	予算	その他の議案	報告	計	原案可決	同意議決	承認議決	認定議決	意見を付し 認定議決	報告のみ	継続審査	撤回	計
1 定	49	25	24	1(1)	99(1)	96	2	—	—	—	1	(1)	—	99(1)
2 定	10	1	10	66(1)	87(1)	19	1	34	—	(1)	25	7	1	81(1)
3 定	7	6	10	3(7)	26(7)	20	3	2	(2)	(5)	1	—	—	26(7)
4 定	15	14	6	4	39	34	1	—	—	—	3	1	—	39
合計	81	46	50	74(9)	251(9)	169	7	36	(2)	(6)	30	8(1)	1	251(9)

注 かつこ内は、継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

議員提出案件

定例会	提出件数			処理状況	
	決議案	意見案	計	原案可決	計
1 定	1	6	7	7	7
2 定	2	4	6	6	6
3 定	—	7	7	7	7
4 定	—	2	2	2	2
合計	3	19	22	22	22

請願及び陳情の処理状況 …昭和59年中…

定例会	請願						陳情				
	受理件数	採択	議決不要	取下げ	継続審査	計	受理件数	採択	取下げ	継続審査	計
1 定	22	2	—	3	39	44	3	—	—	11	11
2 定	5	—	6	—	38	44	3	—	—	14	14
3 定	7	—	—	1	44	45	2	1	—	15	16
4 定	3	—	—	—	47	47	2	—	1	16	17
計	37	2	6	4			10	1	1		

注 継続審査及び計欄の数値は、前会から継続審査中のものであって更に継続審査の決定をされたものを含む。

議員提出案件の件名及び処理結果一覧 …昭和59年中…

決 議 案

定例会	提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
1 定	3. 31	1	シートベルト着用に関する決議	川口常人議員ほか13人	3. 31	原案可決	総務
2 定	7. 23	1	エネルギー問題調査特別委員会設置に関する決議	平野明彦議員ほか12人	7. 23	同	議連
	7. 25	2	第44回国民体育大会開催に関する決議	川口常人議員ほか13人	7. 25	同	総務

注 備考欄は提出者の所属委員会等を示す。

意 見 案

定例会	提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
1 定	3. 6	1	昭和59年度畜産物価格等に関する要望意見書	寺崎政朝議員ほか12人	3. 6	原案可決	農務
	3. 31	2	国鉄ローカル線の確保及び地方割増運賃制度導入撤回に関する要望意見書	川口常人議員ほか13人	3. 31	同	総務
	同	3	シートベルト着用の法制化を求める要望意見書	同	同	同	同
	同	4	青少年の非行防止に関する要望意見書	星野健三議員ほか26人	同	同	厚生 文教林務
	同	5	使用済み乾電池の処理対策に関する要望意見書	星野健三議員ほか12人	同	同	厚生
	同	6	食品添加物の規制に関する要望意見書	同	同	同	同
2 定	6. 28	1	昭和59年産生産者米価等に関する要望意見書	寺崎政朝議員ほか12人	6. 28	同	農務
	7. 25	2	道路整備特定財源の確保等に関する要望意見書	古川靖晃議員ほか13人	7. 25	同	建設
	同	3	石炭鉱業の安定及び産炭地域振興対策に関する要望意見書	伊藤 豪議員ほか14人	同	同	石炭対策 特別
	同	4	国立病院・療養所の存続等に関する要望意見書	星野健三議員ほか12人	同	同	厚生
3 定	9. 26	1	昭和59年産畑作価格等に関する要望意見書	寺崎政朝議員ほか12人	9. 26	同	農務
	10. 22	2	泰東丸の実地調査と遺骨収集に関する要望意見書	星野健三議員ほか12人	10. 22	同	厚生
	同	3	軍人・軍属恩給欠格者の処遇に関する要望意見書	同	同	同	同
	同	4	精神障害者福祉法（仮称）の制定に関する要望意見書	同	同	同	同
	同	5	少額貯蓄非課税制度の存続に関する要望意見書	川口常人議員ほか13人	同	同	総務
	同	6	国庫補助負担率の一律引き下げ反対に関する要望意見書	同	同	同	同
	同	7	人事院勧告の早期完全実施を求める要望意見書	同	同	同	同
4 定	12. 22	1	公立学校非木造建物（ブロック造）の耐力度測定方法の定式化促進に関する要望意見書	岩田徳弥議員ほか13人	12. 22	同	文教林務
	同	2	児童手当制度の改正に関する要望意見書	星野健三議員ほか12人	同	同	厚生

注 備考欄は提出者の所属委員会等を示す。

請願・陳情の件名及び処理経過一覧 …昭和59年中…

請 願

(継審=継続審査)

文書表 番 号	件 名	請 願 者	受 理 日 年 月 日	付 託 日 年 月 日	付 託 委 員 会	審 査 の 経 過
2	北海道立札幌中島体育センター別館を早期改修し弓道専用道場の併設を求める件	北海道弓道連盟連合会 会長 長谷川 譲	58. 6. 21	58. 6. 29	文教林務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
3	北海道立武道館の建設を促進し専用弓道場の併設を求める件	同	58. 6. 21	58. 6. 29	同	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
4	食品添加物の使用規制を強化し、消費者本位の食品衛生行政を求める件	北海道生活協同組合連合会 会代表者 会長理事 岡田義雄 ほか4人	58. 6. 25	58. 6. 29	厚生	1 定 取 下 げ
5	北海道を核戦場にさせないための件	新日本婦人の会 北海道本部 会長 渡辺 昌子	58. 7. 4	58. 7. 8	総 務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
6	老人医療に関する諸施策の拡充を求める件	同	58. 7. 4	58. 7. 8	厚生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
7	子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	同	58. 7. 4	58. 7. 8	文教林務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
8	灯油元売価格の値下げなどを求める件	同	58. 7. 4	58. 7. 8	商工労働	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
9	灯油元売価格の値下げなどを求める件	同	58. 7. 4	58. 7. 8	厚生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
11	食品添加物の規則緩和に反対する件	日本婦人会議北海道本部 議長 香取 柳子	58. 7. 6	58. 7. 9	同	1 定 取 下 げ
12	登別市に警察署設置の件	登別市長 中浜元三郎	58. 7. 8	58. 7. 12	総 務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
13	本道水田等農家の抜本的負債対策を実現し、冷害対策強化に関する件	全日農北海道連合会 委員長 菅原 朝喜	58. 7. 16	58. 7. 20	農 務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
14	平和に関する件	北海道主婦会連絡協議会 会長 一戸 キヨ	58. 7. 20	58. 7. 23	総 務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
15	老人医療と諸施策の拡充を求める件	北海道高齢者退職者の会 連合会 会長 改発 治幸	58. 7. 20	58. 7. 23	厚生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
16	老人医療に関する件	北海道主婦会連絡協議会 会長 一戸 キヨ	58. 7. 20	58. 7. 23	同	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
17	灯油値下げに関する件	同	58. 7. 20	58. 7. 23	商工労働	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
18	灯油値下げに関する件	同	58. 7. 20	58. 7. 23	厚生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
19	公立高校の増築等に関する件	同	58. 7. 20	58. 7. 23	文教林務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審

文書表 番 号	件 名	請 願 者	受 理 年 月 日	付 託 年 月 日	付 託 委 員 会	審 査 の 過 程
20	国立病院・療養所の廃止や地方移管・民営化、現場業務の民間下請けに反対し、医療従事職員の大幅増員を求める件	全日本国立医療労働組合 北海道地方協議会 議長 八田 克弘	58. 7. 26	58. 9. 28	厚生	1 定 取 下 げ
21	個人事業税に「みなし法人課税（事業主報酬）制度」の適用に関する件	富良野地方青色申告会連 合会 会長 竹本 清作	58. 8. 18	58. 9. 28	総 務	1 定 継 審 2 定 継 審 3 定 継 審 4 定 継 審
22	「非核・平和北海道宣言」を求める件	障害者の生活と権利を守る 北海道連絡協議会 会長 三浦 彌	58. 9. 19	58. 9. 28	同	1 定 継 審 2 定 継 審 3 定 継 審 4 定 継 審
23	（仮称）「雨竜地区高等養護学校」の収容定員等に関する件	空知生活と健康を守る会 流川支部障害児をもつ母 親部会 代表 宮木三代子	58. 12. 7	58. 12. 15	文教林務	1 定 継 審 2 定 継 審 3 定 継 審 4 定 継 審
24	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるための大幅私学助成を求める件	北海道私学助成をすすめる 会 代表 亀貝 一義 ほか1人	58. 12. 23	58. 12. 26	文教林務	1 定 継 審 2 定 継 審 3 定 継 審 4 定 継 審
25	獣医師の待遇等改善に関する件	社団法人北海道獣医師会 会長 山下 伸市	59. 2. 15	59. 2. 24	総 務	1 定 継 審 2 定 継 審 3 定 継 審 4 定 継 審
26	獣医師の待遇等改善に関する件	同	59. 2. 15	59. 2. 25	厚生	1 定 採 択
27	建設・季節労働者の雇用安定に関する件	地元で働く仕事と90日支 給復活を要求する北海道 連絡会 代表 山科 喜一	59. 2. 23	59. 3. 2	商工労働	1 定 継 審 2 定 継 審 3 定 継 審 4 定 継 審
28	道民負担増、大企業優遇に反対し、暮らしを守る59年度予算を求める件	北海道統一戦線促進労働 組合懇談会 代表 中野 募	59. 2. 27	59. 3. 2	総 務	2 定 議 決 不 要
29	道民負担増、大企業優遇に反対し、暮らしを守る59年度予算を求める件	同	59. 2. 27	59. 3. 2	厚生	1 定 継 審 2 定 継 審 3 定 継 審 4 定 継 審
30	道民負担増、大企業優遇に反対し、暮らしを守る59年度予算を求める件	同	59. 2. 27	59. 3. 2	商工労働	1 定 継 審 2 定 継 審 3 定 継 審 4 定 継 審
31	道民負担増、大企業優遇に反対し、暮らしを守る59年度予算を求める件	同	59. 2. 27	59. 3. 2	文教林務	2 定 議 決 不 要
32	道民負担増、大企業優遇に反対し、暮らしを守る59年度予算を求める件	同	59. 2. 27	59. 3. 2	建 設	1 定 継 審 2 定 継 審 3 定 継 審 4 定 継 審
33	道民負担増、大企業優遇に反対し、暮らしを守る59年度予算を求める件	同	59. 2. 27	59. 3. 2	石炭対策	1 定 継 審 2 定 継 審 3 定 継 審 4 定 継 審
34	母性保護を拡充し、実効ある男女雇用平等法を制定するよう国に意見書の提出を求める件	第74回国際婦人デー実行 委員会実行委員長 三浦章子ほか1人	59. 3. 2	59. 3. 10	商工労働	1 定 継 審 2 定 継 審 3 定 継 審 4 定 継 審
35	父母負担の軽減を求め、道立高校の授業料等道の各種公共料金値上げ反対に関する件	北海道高等学校教職員組 合中央執行委員長 斉藤 敏夫	59. 3. 2	59. 3. 10	文教林務	1 定 継 審 2 議 決 不 要
36	父母負担の軽減を求め、道立高校の授業料等道の各種公共料金値上げ反対に関する件	同	59. 3. 2	59. 3. 10	厚生	1 定 継 審 2 議 決 不 要
37	高校授業料をはじめ各種使用料・手数料など公共料金値上げ反対に関する件	暮らしと権利を守る諸要 求貫徹北海道実行委員会 委員長藤田新一ほか2人	59. 3. 2	59. 3. 10	文教林務	1 定 継 審 2 議 決 不 要
38	高校授業料をはじめ各種使用料・手数料など公共料金値上げ反対に関する件	同	59. 3. 2	59. 3. 10	厚生	1 定 継 審 2 議 決 不 要
39	男女雇用平等法の制定に関する件	日本婦人会議北海道本部 議長 香取 柳子	59. 3. 8	59. 3. 13	商工労働	1 定 継 審 2 定 継 審 3 定 継 審 4 定 継 審

文書表 番 号	件 名	請 願 者	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審 査 の 過 過
40	「私たちの求める男女雇用平等法の法制化を実現するよう」国に意見書の提出を求める件	北海道主婦会連絡協議会 会長 一戸 キヨ	59. 3. 8	59. 3. 13	同	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
41	北海道農業の基盤確立と水田復元対策推進に関する件	稲作農業を守る会 会長 酒井金作ほか1人	59. 3. 16	59. 3. 22	農 務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
42	国立病院・療養所の廃止や地方移管・民営化、現場業務の民間下請けに反対し、医療従事職員的大幅増員を求める件	全日本国立医療労働組合 北海道地方協議会 議長 八田 克弘	59. 3. 16	59. 3. 22	厚 生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審 取 下 げ
43	食生活の安全を確保するために、食品添加物に関し意見書を求める件	食品添加物の規制緩和に反対し、食品衛生行政の充実を求める北海道実行委員会 常任委員北海道生活協同組合連合会 会長理事岡田義雄ほか3人	59. 3. 17	59. 3. 22	同	1 定採択
44	広尾町の中小企業と、季節労働者のくらしと営業を守るために、適切な施策を求める件	地元で働く仕事と90日復活を求める広尾連絡会 代表 三浦千代志	59. 3. 22	59. 3. 27	建 設	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
45	広尾町の中小企業と、季節労働者のくらしと営業を守るために、適切な施策を求める件	同	59. 3. 22	59. 3. 27	商工労働	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
46	北海道の気象事業整備拡充を求める件	全気象労働組合北海道地方本部 執行委員長 生本 武 ほか1人	59. 3. 22	59. 3. 27	総 務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
47	道営住宅若竹団地3号棟に物置を求める件	小樽市若竹町14番地377号 北田 健二	59. 5. 14	59. 6. 28	建 設	2 定継審 3 定継審 4 定継審
48	水産問題に関する件	全日本海員組合北海道地方支部長 松本 保	59. 7. 17	59. 7. 20	水 産	2 定継審 3 定継審 4 定継審
49	原子力関連施設誘致実現に関する件	幌延町長 成佐佐喜男ほか2人	59. 7. 19	59. 7. 25	エネルギー問題 調査特別	2 定継審 3 定継審 4 定継審
50	幌延町への核廃棄物施設設置に反対する件	幌延町高レベル放射性廃棄物施設誘致反対留明地方住民会議 議長 中村利率ほか1人	59. 7. 20	59. 7. 25	同	2 審定継 3 審定継 4 審定継
51	対ノ貿易の振興について	社団法人北海道日ノ貿易協会理事長 柴野安二郎	59. 7. 21	59. 7. 25	商工労働	2 審定継 3 審定継 4 審定継
52	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	北海道大学生生活協同組合 理事長 安井 勉	59. 10. 4	59. 10. 4	総 務	3 定継審 4 定継審
53	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	同	59. 10. 4	59. 10. 8	商工労働	3 定継審 4 定継審
54	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	同	59. 10. 4	59. 10. 8	厚 生	3 定継審 4 定継審
55	精神障害者福祉法制定のための国会要請を求める件	障害者の生活と権利を守る北海道連絡協議会 代表 三浦 彌	59. 10. 8	59. 10. 12	同	3 定継審 4 定継審
56	太平洋海域におけるアカイカ流網漁業の実現に関する件	太平洋海域アカイカ流網漁業実現期成会 会長 小西 久年	59. 10. 11	59. 10. 16	水 産	3 定継審 4 定継審
57	軍人軍属恩欠者の処遇に関する件	軍人軍属恩欠者北海道連合会 会長 前鼻 一男	59. 10. 16	59. 10. 19	厚 生	3 定継審 4 定継審
58	暖房料の値上げ撤回と利用者の立場に立った熱供給事業の確立に関する件	暖房料金の値上げに反対する会 事務局長 竹腰 和夫	59. 10. 17	59. 10. 22	建 設	3 定継審 4 定継審
59	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるため、私学助成の拡充を求める件	北海道私学助成をすすめる会 代表 亀貝一義ほか1人	59. 12. 11	59. 12. 14	文教林務	4 定継審
60	無認可保育所への助成に関する件	全道無認可保育所連絡会 代表者 高堰 静江	59. 12. 14	59. 12. 19	厚 生	4 定継審

文書表番	件名	請願者	受理年月日	付託年月日	付託委員会	審査の経過
61	江差労働基準監督署の廃止計画案の撤回に関する件	江差労働基準協会 会長 加賀谷喜太郎 ほか3人	59.12.19	59.12.22	商工労働	4定継審

陳 情

文書表番	件名	陳情者	受理年月日	付託年月日	付託委員会	審査の経過
2	社会福祉法人釧路まりも学園の運営に関する件	釧路市南浜町9番34号 他岡 鶴雄	58.7.16	58.7.20	厚生	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
3	サラ金利用者のサラ金苦による悲劇の根絶及び住民保護に関する件	「軍事費を削り、くらしと福祉・教育の充実を」 国民大運動北海道実行委員会 代表 斉藤 敏夫	58.9.27	58.10.4	商工労働	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
4	医療保険制度の改悪に反対し、住民の健康を守る決議に関する件	同	58.9.27	58.10.4	厚生	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
5	老人医療の無料制度を復活・拡充し、老人を医療から締め出す老人診療報酬体系等の即時撤廃を求める決議に関する件	同	58.9.27	58.10.4	同	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
6	「大型間接税導入と申告納税制度の改正に反対し、3兆円減税を要求する意見書」決議の件	同	58.9.27	58.10.4	総務	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
7	指名競争入札執行の自粛の件	札幌市豊平区平岸1の2の6の201号 武田 芳郎	58.10.3	58.10.11	同	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
9	軍人・軍属恩給欠格者の早期救済に関する件	全国軍人軍属恩給欠格者連盟北海道連合会 代表 渡部 輝久	58.10.25	58.12.15	厚生	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審 取下げ
10	一級河川十勝川水系札内川第2札内橋架橋促進に関する件	中川郡幕別町本町第2札内橋架橋促進 幕別町期成会長 斉藤 正美	58.11.4	58.12.15	建設	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
11	医療保険制度の改悪に反対し、住民の健康を守る決議に関する件	北海道統一戦線促進労働組合懇談会 代表 中野 募	59.2.27	59.3.2	厚生	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
12	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直しに関する件	小樽運河を守る会 会長 峰山 富美	59.3.13	59.3.16	建設	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
13	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直しに関する件	小樽運河を守る会 会長 峰山 富美	59.3.13	59.3.16	文教林務	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
14	自閉症収容施設建設場所の移転に関する件	札幌支笏湖線沿線町内会協議会会長 石山4区上町町内会 会長 間地正雄ほか1人	39.6.4	59.6.28	厚生	2定継審 3定継審 4定継審
15	医療保険制度改定に反対する決議に関する件	生活協同組合市民生協中央消費者運動委員会 委員長 田端 弘子	59.6.4	59.6.28	同	2定継審 3定継審 4定継審
16	アイヌ民族に関する法律制定に関する件	社団法人 北海道ウタリ協会 理事長 野村 義一	59.7.12	59.7.16	同	2定継審 3定継審 4定継審
17	少額貯蓄非課税制度の見直しに関する件	北海道地方特定郵便局長会 会長 熊谷 五郎	59.8.22	59.9.26	総務	3定採択

文書表 番号	件名	陳情者	受理 年月日	付託 年月日	付託 委員会	審査の 経過
18	外国人登録法の改正要請方に関する件	在日外国人の指紋押捺問題を考える会 代表世話人 加藤 潔	59.10. 3	59.10. 8	総務	3 定継審 4 定継審
19	非木造校舎（ブロック造）の危険改築制度の創設と銭函小学校の改築に関する件	銭函小学校改築期成会準備委員会代表 銭函小学校F T A会長 六条 祐二ほか7人	59.12.15	59.12.19	文教林務	4 定継審
20	非木造校舎（ブロック造）の危険改築に関する件（外2件）	北海道小学校長会 会長 石川 俊男	59.12.17	59.12.22	同	4 定継審

1月のメモ

- 2日 ○日米首脳会談開く 中曽根首相とレーガン米大統領がロサンゼルス市内のホテルで会談。首相は7日からの米ソ両国外相による核軍縮交渉に関し、大統領の立場を支持するとともに、米ソ首脳会談の早期実現への期待を表明した。
- 3日 ○ソ連巡航ミサイルがフィンランドに墜落 ソ連巡航ミサイルが昨年12月28日ノルウェー上空を侵犯、フィンランド北部で墜落したとノルウェー国防省が発表した。
- 6日 ○東大雪山で3人不明 東大雪山系・ニベソツ山（2,012メートル）に登った「鉋路ひぐまの会」を中心とする3人のパーティが行方不明となり、5日から捜索が続けられたが、11日打ち切られた。このパーティーは1日に入山、3泊4日の予定だが、予定コースで雪崩がおきており、絶望視されている。
- 7日 ○米ソが包括軍縮交渉に合意 米ソの外相会議がジュネーブで行われ、両国が宇宙、地上での軍拡競争を防ぎ、核兵器を削減し、戦略的安定性を強化するために戦略核、中距離核、宇宙兵器を包括する新しい軍備管理・軍縮交渉を始めることで合意したとの共同声明を発表した。
- 8日 ○青函トンネル3月10日貫通 鉄建公団は本州と北海道を結ぶ青函トンネルが3月10日午前に貫通すると発表した。これにより、39年5月から7000億円近い巨費をつぎ込んだ同トンネルの作業を事実上終わり、62年度完成に向けて一気に踏み出す。
- 10日 ○グリコ・森永事件で似顔絵を公開手配 グリコ・森永事件で、大阪府警の捜査本部は丸大食品、ハウス食品脅迫事件の現場で、捜査員の動きを監視していた不審な男の似顔絵をつくり、公開した。
- 11日 ○21面相、不二家も脅迫 「かい人21面相」を名乗るグリコ・森永事件の犯人グループが昨年12月7日、大手菓子メーカー「不二家」に1億円を要求する脅迫状を送り、さらに年末と年明けに大阪と東京のビル屋上から2,000万円ずつばらまくよう要求していたことが明らかになった。
- 教育研究全国集会、札幌で開幕 日教組第34次、日高教第31次の教育研究全国集会在、札幌道立産業共進会場を全体会場に4日間の日程で開幕。日教組の田中一郎委員長が、臨教審の教育改革を批判。
- パーシングⅡが発火事故 西独ハイムブロン近郊のワルトハイデ米軍基地で訓練中、西側中距離核ミサイルの主力パーシングⅡが突然発火、兵士3人が死亡、7人が重軽傷。弾頭は装着されていなかった。
- 13日 ○中曽根首相 大洋州を歴訪 中曽根首相はフィジー、バプアニューギニア、オーストラリア、ニュージーランドの大洋州4か国を歴訪し、各国主脳との会談で、①低レベル放射性核廃棄物の太平洋投棄計画は、関係国の意向を無視して実施しない。②太平洋地域協力は東南アジア諸国連合（ASEAN）主導で推進する、などを表明。
- 14日 ○エチオピアで列車の峡谷転落事故 エチオピア東部のアワシュ近くで、ジプチ行き列車の数両が深い峡谷に転落、鉄道当局は418人が死亡、559人が負傷したことを確認した。
- 15日 ○北の湖が引退 大相撲初場所で初日から連敗した横綱北の海は体力の限界を理由に、18年間の土俵生活に別れを告げた。横綱として10年、63場所をつとめた。通算勝ち星951など計18にのぼる史上1位の記録をつくった。優勝回数は24回。
- 新日鉄釜石が連覇 第22回日本ラグビー選手権大会で新日鉄釜石が同志社大に逆転勝ち。7年連続、8度目の日本一に輝いた。新日道釜石の松尾雄二監督（30）は、この試合を最後に引退する。
- 20日 ○レーガン政権は2期目へ レーガン大統領、ブッシュ副大統領コンビのレーガン第2期政権が、ホワイトハウスでバーガー最高裁長官ら立ち合いの下に行われた

就任宣誓のあと正式にスタートした。

22日 ○衆院議長に坂田氏 福永健司衆院議長が健康不安を理由に辞表を提出。後任議長には自民党内で調整の結果、無派閥、当選16回で法相、防衛庁長官、文相、厚相などを歴任した坂田道太郎氏（68）に決まり、24日の衆院本会議で第64代議長に選出した。

○向坂逸郎氏が死亡 社会党左派の理論的指導者で、我が国有数のマルクス主義経済学者向坂逸郎氏（87）が、多発性脳コウソクのため死去。

○農業所得が大幅増 昨年4～10月の全国平均農業所得は、米の大豊作で前年同期比13.5%増となった。特に、58年に記録的な冷害に襲われた北海道が前年の約2倍に、東北地方も3割増を記録。

23日 ○フィリッピンのアキノ氏暗殺事件で軍人ら人起訴 83年8月のベニグノ・アキノ元上院議員暗殺事件で、マニラの公務員犯罪特別検察庁が、ペール国軍参謀総長ら軍人、民間人計26人を殺人罪と事件の隠匿工作で起訴した。

25日 ○渡辺惣蔵氏が死去 本道社会党の生みの親、元社会党代議士の渡辺惣蔵氏（78）が、入院先の東京・日大病院で死去した。

○愛称は「はまなす国体」 第44回国体道準備委員会は、64年に本道で開かれる完全国体のテーマ（愛称）、スローガンの最終選考会を開き、テーマは道花のハマナスにちなんだ「はまなす国体」、スローガンは「君よ今、北の大地の風となれ」に決定した。

26日 ○山口組の竹中組長ら射殺 広域暴力団山口組の竹中正久・4代目組長（51）ら最高幹部3人が、大阪府吹田市のマンション入口付近で、4人組の男に短銃で襲撃され、2人が死亡（26日）。竹中組長も翌日死亡。犯人は、一和会系の組員4人で、1人は逮捕された。

28日 ○スキーバス転落、25人死亡 長野市信更町の国道19号で、志賀高原へ向かう途中のスキーツアーバスが、ダムに転落。乗

っていた日本富士大学1年生ら46人のうち、学生22人、教員1人、運転手2人の計25人が遺体で引き揚げられた。

30日 ○校内暴力、先生に死者 青森県上北郡七戸町立七戸中の中渡康明教諭が24日、泥酔して教室に入ってきた中学3年の男子生徒を注意して暴行され、青森市内の病院に入院していたが、脳幹障害のため死亡した。校内暴力事件で、教師が死んだケースは初めて。

31日 ○石川達三氏が死去 「人間の壁」「金環蟬」など社会問題を取りあげてきた作家の石川達三氏（79）が、肺炎のため東京共済病院で死去した。日本芸術院会員。

○田中六助氏が死去 糖尿病で入院中だった田中六助・前自民党幹事長（62）が心筋こうそくのため死去。

○米の貿易赤字史上最高 米商務省が発表した昨年の米国の貿易赤字は1,233億ドルで、前年の倍近い史上最高。

○日本は貿易経常収支が最高黒字 大蔵省が発表した昨年の国際収支速報によると、貿易収支は444億ドル、経常収支は350億ドルの黒字で、ともに史上最高。

2月のメモ

- 1日 ○日ソ漁業交渉が妥結 難航していたモスクワでの日ソ両国 200 海里水域内の漁業交渉は31日、事態打開のため急ぎよ訪ソした佐藤農水相とカメンツェフ・ソ連漁業相によるトップ会談で双方が歩み寄って大筋合意に達し、1日正式に調印した。合意内容は①両国の85年の漁獲割当量を60万トンとする②ソ連漁船の日本での寄港地は塩釜港、日本漁船はネベリスク港とする③ソ連水域でのカニ、ツブ、エビ漁は民間協議にゆだねるなど。
- 4日 ○梅田事件、再審が決定 北見市で営林局員が殺された事件で、無期懲役刑が確定した梅田義光さんが無実を訴えていた「梅田事件」の第2次再審請求即時抗告審で、札幌高裁は再審開始を決定した釧路地裁網走支部の判断を支持、検察側の即時抗告を棄却する決定をした。札幌高検は抗告を断念、再審開始が決定（8日）
- 5日 ○ドル高、円安加速 米国が金融引き締めに転じるのではないかと懸念から米国金利の先行感が台頭し、東京外為市場の午前終値で円が260円を割った。また、この日の取引では一時、1ドル＝260円90銭まで下落した。これは2年2か月ぶりの円安水準。
- 「地方の時代シンポジウム」開幕 地方自治体の国際交流をテーマに、札幌パークホテルで「地方の時代シンポジウム」（道、神奈川、兵庫、沖縄4道県主催）が開幕、6日まで2日間にわたった熱心な討議が行われた。
- 7日 ○竹下氏の「創政会」発足 自民党田中派の竹下蔵相を中心とする政策集団「創政会」旗揚げの設立総会が東京・平河町の田中派事務所で開催、正式に発表した。この日出席したのは、すでに登録された83人のうち、衆参両院合わせて40人で、田中派の三分の一規模のスタートとなった。
- 「第36回さっぽろ雪まつり」開幕 一段と国際化した第36回さっぽろ雪まつりが、真駒内会場「南大門」の大雪像を舞台にした開会式で開幕。真駒内のほか大通ススキノの会場には、13基の大雪像、大氷像と301基の氷雪像が冬の光に輝き、11日までの期間中、約185万人の見物客を楽しませた。
- 8日 ○金大中氏が帰国 米国に滞在中だった韓国の反体制政治家、金大中氏がノースウエスト191便で、2年1か月ぶりの帰国をした。成田で一泊後、ソウル郊外金浦空港に到着、当局差し回しの車で自宅に戻った。米政府は、金氏と同行米議員が警備隊から乱暴な取り扱ひを受けたと韓国政府に抗議、また金氏の自宅軟禁措置解防を要求した。
- 12日 ○文化庁長官に三浦朱門氏 文化庁の7代目長官に作家の三浦朱門氏が内定した。初代の故今日出海氏に次いで17年ぶり2日目の民間人。
- 中国残留孤児が来日 日本人孤児の肉親捜し第7次訪日団のうち、第1次陣吉林省45人が成田空港に到着、肉親ではないかとみられる人たちと対面調査に入った。
- 北朝鮮の体育代表団が「第1回冬期アジア大会」参加を表明 JOCの招待で来日している北朝鮮の体育代表団は東京・渋谷の岸記念体育会会場で柴田JOC委員長らと会い、来年3月に札幌で開かれる第1回冬季アジア大会参加を北朝鮮スポーツ界要人として正式に表明した。
- 13日 ○韓国総選挙で新野党が躍進 韓国の第12回総選挙は12日に投票が行われ、新野党の新韓民主党がソウル市14選挙区のほとんどで一位当選を果たしたのはじめ、都市部で躍進、全276議席中の67議席（改選前17議席）を占めて野党第1党の地位を獲得した。与党の民主正義党は1議席増で、安定多数の148議席を確保した。
- 15日 ○新潟県青梅町で土砂崩れ、10人死亡 新潟県青梅町玉ノ木地区で土砂崩れが発

生、民家など7棟が埋まり、4世帯14人が生き埋めとなり10人が死亡した。高さ80米のがけが幅150米にわたって崩れ、国道8号も通行止めになった。原因は約1米の積雪が数日続いた季節外れの暖かさで解け、裏山の地面に浸透、地盤が緩んだのではないかとみられている。

16日 ○昭和60年度道予算案決まる 横路知事の任期4年の折り返しとなる60年度の道予算案が決まった。予算規模は一般会計約1兆7,267億円、特別会計約1,081億円で、一般会計は本年度当初予算に比べ5.3%増となった。この伸び率は58年度の1.5%、59年度の1.1%を大きく上回っているばかりでなく、地方財政の日安となる自治省の地方財政計画の伸び率4.6%をも超えている。

17日 ○イスラエル軍、レバノンから第一段階の撤収完了 レバノン南部を占領しているイスラエル軍が主要拠点サイダとその周辺地区から撤収し、イスラエル内閣が決めた収案の第一段階が完了。撤収後の地域にはレバノン政府軍が進駐を始めた。

18日 ○ペルシャ湾で被弾、邦人船員死傷 大阪商船三井船舶の乗組員が乗船する「労務提供船」、クウェート船籍のコンテナ船アルマナックが、ペルシャ湾南部地域でイラン空軍機と見られる航空機からロケット攻撃を受け、1人が死亡、1人が軽いけがをした。日本人船員が死傷したのは初めて。

20日 ○中野好夫氏死去 シェークスピア研究などの英文学者で評論家として知られ、戦後の平和運動に大きな足跡を残した中野好夫氏(81)が、肝硬変のため死亡。

21日 ●第1回臨時道議会開会

22日 ●第1回定例道議会開会

○藤山愛一郎氏死去 岸内閣の外相として日米安保条約を改定する一方、日中国交回復の橋渡し役をした藤山愛一郎氏(87)が、胃かいようのため死去。

25日 ○北転船、沈没 カムチャッカ半島ロバトカ岬の南南東約60キロの海上で、青森県八戸市鮫町、福島漁業所有の北転船第52

惣宝丸(349.5トン)が沈没、4人が近くの僚船に救助されたが、そのうち2人は死亡、残る18人が行方不明(26日)。

27日 ○21面相、森永に「休戦状」 グリコ・森永事件で、森永製菓に対する脅迫中止をほのめかす犯人グループからの手紙が大府警茨木署下穂積派出所に置かれているのが見つかった。同製菓は、通常の生産、販売体制を復活させる方針を決定。

○田中元首相が入院 田中角栄元首相が東京通信病院に入院。医師団は「可逆性虚血性神経障害」で「軽い脳卒中で、3~4週間程度で回復する」と発表。

28日 ○共済年金改革案を諮問 竹下蔵相は、国家公務員等共済組合審議会に、昭和70年に厚生年金、国民年金と一元化させることを同格した共済年金法改正案を諮問した。

3月のメモ

- 3日 ○漁船転覆、20人不明・死亡 26日、カムチャッカの半島南東の北太平洋上で、青森県の遠洋底引き網漁船「第52惣宝丸」（22人乗り組み）が横波を受け転覆、沈没した。2人が僚船に助けられたが2人が死亡、18人が行方不明。
- 佐々木七恵さんが優勝、引退に花 名古屋国際子女マラソンで、佐々木七恵さんが自己最高の大会新記録2時間33分57秒で優勝。このレースを限りに引退し、結婚へ。
- チリで大規模地震 チリの首都サンチアゴなど同国中部でマグニチュード7.4の強い地震が起き、政府は死者142人、負傷者約2,000人と発表した。
- 4日 ○元田中首相は脳こうそく 東京通信病院医師団は、田中元首相の病状について「診断は脳こうそく。回復は当初の予測より長くなり、仕事復帰に2～3か月かかる」と発表。
- 扇動罪は合意、と東京地裁 昭和44年の「4・28沖繩デー闘争」に際し、「首都制圧」などを呼びかけた活動家らに対する破防法裁判の判決公判で、東京地裁は「破防法の政治目的の扇動罪は合憲」との判断を下し、3被告に有罪判決を言い渡した。
- 5日 ○シートベルト着用義務強化へ 一般道路を走るドライバー、助手席同乗者にもシートベルト着用を義務づける道路交通法改正案が閣議決定した。早ければ9月から施行。
- 越森前奥尻町長に有罪 59年7月、松山管内奥尻町の町営発注工事に絡む汚職事件で逮捕され、収賄罪に問われた前奥尻町長越森幸夫被告（54）に対し、函館地裁は懲役2年6月、執行猶予4年、追徴金450万円の判決を言い渡した。
- 6日 ○金大中氏ら14人の政治活動禁止措置を解除 韓国の全斗煥大統領は、「政治風土刷新法」に基づき、金大中、金泳三、金鍾泌氏ら14人の政治家に対し続けてきた政治活動規制措置を6日付で全面解除するとともに、金大中氏を軟禁から解くと正式に発表した。
- 9日 ○誘拐犯事故死、園児は保護 兵庫県芦屋市の繊維問屋社長宅から孫の園児を誘拐して逃走していた運転手保田定美が8日、現金受け渡し場所に指定した中国自動車道で車にはねられて死亡した。園児は近くの車の中から無事保護された。
- 10日 ○青函トンネル本坑貫通 本州と北海道を結ぶ世界最長の青函トンネル（53,85キロ）本坑が開通、津軽海峡の海底下100メートルで貫通式が行われた。
- 11日 ○ソ連新書記長にゴルバチョフ氏 ソ連はチェルネンコ共産党書記長が10日夜、重く長い病気のあと死去したと発表した。73歳。続いて開かれた党中央委臨時総会は、ゴルバチョフ党政治局員・書記(54)を後継書記長に選出した。
- 機長らを書類送検 道警釧路方面本部と中標津署は、日本近距離航空の原静雄機長（38）と安西武司操縦士（31）の2人を業務上過失致傷などの疑いで釧路地検に送致した。一昨年3月、根室管内中標津町の空港にYS11機で着陸する際、操縦ミスで、52人の乗客、乗員に重軽傷を負わせた疑い。
- 12日 ○予防接種訴訟で原告勝訴 インフルエンザの予防接種で両足がマヒした被害者らが宮城県泉市を相手取り、同市の行った医療費拒否処分の取り消しを求めた訴訟で、仙台地裁は、「両足マヒは予防接種が原因」と認定。泉市に対し、処分取り消しを命じる原告側勝訴の判決を言い渡した。
- 米ソ軍縮交渉開始 核軍縮をめざす米ソの包括軍縮がジュネーブのソ連代表部で交渉中断以来15カ月ぶりに始まった。
- 13日 ○「連続企業爆破事件」の宇賀神に懲役18年判決 「連続企業爆破事件」で殺人未遂罪、爆発物取締罰則違反に問われた東アジア反日武装戦線「さそり」のメンバー、宇賀神寿一被告に東京地裁が懲役18

年を言い渡した。

- 各国首脳、モスクワで弔問外交** 故チェルネンコ書記長の国葬はモスクワの赤の広場で行われ、世界各国の首脳が参列した。その際、各国首脳による弔問外交が展開され、中曽根首相はゴルバチョフ新書記長と会談（14日）し、12年ぶりに日ソ首脳会談が実現した。

- 14日 ○「やまびこ」上野発車 東北・上越新幹線の上野～大宮間が開業、一番列車の「やまびこ31号」が盛岡に向けて上野駅を出発した。大宮駅乗り継ぎの不便解消と、時速240キロの高速運転実施により、上野～盛岡間は1時間11分短縮の2時間45分に。

- 16日 ○**科学万博オープン** 「科学万博～つくば'85」の開会式が茨城県・筑波研究学園都市の会場で行われ、184日間に及ぶ一般公開が始まった。（17日）

- 大洗フェリー就航** 本道と首都圏を結ぶ最短ルート・大洗フェリーは16日、運転を開始、室蘭港からの第一船が大洗港に向け出港した。

- 17日 ○**グリコ森永事件2年目へ** 未解決のまま迎えた18日の一周年を前に、犯人グループ「かい人21面相」の挑戦状が大阪城で見つかった。「夏までにごっついことやろ」との内容。

- イ・イ戦争さらに強化** イラクの首都バグダッドで、14日から6日間に計4回の大規模な爆撃がなり、3回目の爆撃（18日）では日本人の建設作業員2人が負傷した。イラク側もペルシャ湾のイラン石油積み出し基地カーク島付近で大型タンカーなど2隻を空爆（17日）、イランの5都市を空襲（19日）、在テヘラン日本大使館は、イラン存住の日本人に出国を勧告（16日）し、約260人の邦人がテヘランから空路出国した。（19日まで）

- 20日 ○**日通所長殺しは無罪** 殺人容疑のただ一つの証拠とされた被告人自白調書などを裁判所が認めず、検察側が求刑をあきらめた「旭川・日通営業所長殺人事件」の判決言い渡し旭川地裁であり、滝川義

道裁判所長は「捜査段階での自白は違法な取り調べによるもので、証拠能力はない。アリバイも成立する」として、旭川市、元会社員佐藤正彦被告（50）に無罪を言い渡した。

- 22日 ○**志布志開発、住民らの訴え却下** 鹿児島県の計画に反対している地元住民や漁民61人が、公有水面埋め立て免許の取り消しを求めた行政訴訟の判決で、鹿児島地裁の猪瀬俊雄裁判長は「原告には訴えによって得られる法律上の利益がない」と訴えを退けた。

- 中国魚雷艇内で銃撃事件** 黄海で訓練中の中国海軍魚雷艇内で亡命を企てたとみられる乗組員と、それを阻止する側の間に銃撃戦が起き、乗組員6人が死亡。同艇は韓国漁船によって韓国西南部の群山港沖の島へえい航された。

- 24日 ○**元巡査部長が銀行強盗** 横浜市の三菱銀行横浜支店に短銃を持った2人組が警官を装って侵入、行員ら4人を人質に場外馬券売りの売上金など約5億6,000万円を奪おうとしたが、翌朝、警官隊が突入、2人を逮捕した。主犯格の男は突入前に短銃自殺を図り、同日夕方入院先の病院で死亡した。この男は5カ月前まで同警巡査部長だった小沢弘と判明した。

- 25日 ○**ソ連兵、米将校を射殺** 東独ルートウィヒスルスト付近で情報収集にあたった米軍少佐がソ連兵に射殺された。

- 26日 ○**宇都宮病院事件判決** 宇都宮市の報徳会宇都宮病院事件で、保健婦助産婦法違反など四つの罪に問われた前院長石川文之進被告に対する判決公判が宇都宮地裁で開かれ、藤井登葵夫裁判長は懲役1年、罰金30万円の実刑を宣告した。無資格診療などの医療行為で、医師に実刑判決が言い渡されたのは初めて。

- 27日 ○**サラリーマン税制は合憲** 元同志社大教授の故大島正氏が起こした「サラリーマン税金訴訟」で、最高裁大法廷は、サラリーマンに必要な経費の実額控除を認めていない税制を「合憲」とする初判断を示したうえで、所得税決定処分取り消し請

求を退けた二審判決を支持、大島氏側の上告を棄却した。

○山梨・筋拘縮訴訟で製薬会社に賠償命令
乳幼児時期の筋肉注射で筋拘縮症になった山梨県の被害者 223 人が起こした損害賠償訴訟で、東京地裁は、製薬 7 社に対し、総額 23 億 5 千余万円の賠償を命じる判決を言い渡した。

○佐々木民社党委員長が辞意 民社党の佐々木良作委員長は、同党臨時中央執行委員会で、「党の活力を取り戻すには人心一新が必要だ」として、4 月の定期党大会で委員長を辞任する意向を明らかにした。

28 日 ○日本電信 電話株式会社 (N T T) の創立総会開催 電電公社に代わって 4 月 1 日から民営化する日本電信電話株式会社 (N T T) の創立総会と最初の取締役会が開かれ初代社長に真藤恒現電電公社総裁を正式に選任した。

○シャガール死去 幻想的な画風で知られ、「色の魔術師」とも呼ばれた巨匠マルク・シャガール氏がフランス・リビエラの自宅で死去。97 歳。

30 日 ○野上弥生子さん死去 文壇の最長老で、「真知子」「迷路」などの作品を残した野上弥生子さんが急性不全のため死去。99 歳。

○笠置シズ子さん死去 「ブギの女王」として一世をふうび、数多くの映画、舞台で親しまれた笠置シズ子さんが卵巣がんのため死去。70 歳。

●第一回定例道議会閉会

4 月 の メ モ

1 日 ○新電電と日本たばこ発足 電電公社と専売公社が民間企業に衣替え、日本電信電話株式会社 (N T T) と日本たばこ産業株式会社としてそれぞれ再出発した。新電電は資本金 7.800 億円、従業員 32 万人の日本一マンモス企業。電電民営化で通信自由化体制が始まった。

○釣り船遭難、死者・不明 27 人 鹿児島県・串木野港を出港した瀬渡し船開洋丸 (6.71 トン) が転覆、釣り客ら 11 人が遺体で発見され、16 人が行方不明になった。季節風による横波を受けたらしい。

○尻岸内町が恵山町と町名変更 渡島管内の尻岸内町が道内の観光名所「恵山」にちなみ恵山町と町名変更した。恵山を巡っては、境界線確定と恵山への名称変更で隣接の樞法華村との間に「百年紛争」と呼ばれる対立があった。

○日通所長殺人事件、控訴断念 旭川口通所長殺人事件で起訴され、3 月 20 日、殺人については無罪の判決を受けた佐藤正彦被告について、旭川地検は札幌高検と協議した結果、控訴を断念することを決めた。

2 日 ○米が「ソ連の軍事力」発表 米国防総省が 85 年版「ソ連の軍事力」を発表。ソ連も宇宙防衛計画の研究開発に懸命なこと新型大陸間弾道ミサイル SSX 24, SSX 25 の配備が間近いことなどを強調した。

4 日 ○南北朝鮮 会談再開へ 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮) と韓国が、中断していた両国の経済会議、赤十字本会議の 5 月開催で合意。

○滝川の連続放火犯 3 従業員 滝川市の北炭機械工業滝川工場で先月 29 日から今月 2 日にかけて相次いで 3 件の連続放火事件で、滝川署は同工場工作課製缶工、内田隆雄 (30) を逮捕した。同僚や上司に仕事が遅いとばかにされていると思い込み、うっ憤ばらしの犯行だった。

5 日 ○昭和 60 年度 予算成立 一般会計 52 兆

4,996億円を中心とする60年度予算が参院本会議で可決、成立。

6日 ○スーダンでクーデター サワ・エル・ダハブ国軍最高司令官が指導する軍が、外遊中のヌメイソ大統領を解任、全権を掌握した。ダハブ司令官は政策要綱の中で民主化、親欧米路線の継承を公約、南部の反政府勢力へも和解を呼びかけた。

7日 ○ソ連、中距離核の凍結を発表 ゴルバチョフソ連共産党書記長は、中距離核ミサイルの展開と、欧州での米ミサイル配備への対抗措置を、今年11月まで停止するとの一方的凍結を発表。併せて米ソ首脳会議についても基本的に合意していることを明らかにした。

8日 ○国鉄運賃値上げ 運輸審議会は、通学定期の割引率引き下げを9月1日まで繰り延べる修正を求め、旅客平均で4.3%の値上げなどは申請通りの認可がやむを得ないとの答申を山下運輸相に提出。運輸省は20日から認可、実施の方針。

9日 ○首相が「外国製品の購入」を国民に呼びかけ 中曽根首相は、市場解放のための対外経済対策について談話を発表後、テレビ中継を通じて、自由貿易体制維持の重要性を強調、「外国製品をぜひ買ってほしい」と国民に呼びかけた。

○政府、市場開放へ包括的対策 政府は経済対策閣僚会議を開き、米国などとの経済摩擦を緩和するための包括的な対外政策を決めた。3年以内に関税引き下げなど市場開放政策を実行する「行動計画」の策定が柱。

10日 ○しょうちゅう戦後最高 国税庁の59年「お酒白書」でしょうちゅうは一気に前年比で4割近くも増え、戦後最高の売れ行き。一方、ウイスキーは約20%減。清酒約9%、ビールも5.5%減。

11日 ○ホツジャ第一書記が死去 独自の「鎖国政策」で40年余アルバニアを統治してきたエンベル・ホツジャ労働党第一書記が死去、76歳。

12日 ○名古屋新幹線公害訴訟控訴審判決 東海道新幹線の騒音や振動に悩む名古屋市南

部の住民が国鉄を相手に、減速や損害賠償を求めて訴えていたが、名古屋高裁は新幹線の公共性を高く評価し、被害は「受忍限度内」と減速を認めなかった。損害賠償も総額約3億8,200万円と一審判決の約5億3,000万円を下回った。

13日 ○OECD閣僚理事会が共同声明 経済協力開発機構(OECD)閣僚理事会は、日本の経常黒字削減など日米欧それぞれの課題を盛り込んだ共同声明を採択した。

15日 ○三菱自工、クライスラーが合併生産 三菱自動車工業と米クライスラー社は、88年後半から米国で小型乗用車を合併生産することで正式合意。

16日 ○東証ダウ最大の下げ 東京証券取引所第一部のダウ平均株価は、前日比345円45銭安と史上最大の下げ幅を記録した。

○補助金削減一括法案が衆院を通過 福祉、教育、公共事業など地方自治体向け国庫補助金の一律削減をめざす補助金削減一括法案を衆院本会議で可決、参院へ。

17日 ○天六ガス爆発で有罪判決 45年4月、死傷者499人を出した大阪市北区の地下鉄建設現場ガス爆発事故で、工事を請け負った鉄建建設と施工主の大阪市交通局の監督責任者ら8人に、大阪地裁が業務上過失致死傷罪で禁固2年6月から同10月の執行猶予つき判決。

○レバノン内戦で内閣が危機 ベイルートのイスラム教徒民兵同士が衝突、大規模な戦闘に。カラミ首相が辞意を表明。

○SDIへ参加めぐり西欧各国に動き ノルウェー外務省は、NATO加盟国としては初めてSDIの研究に同国が参加しない、との方針を発表。西独コール首相はSDI支持の態度を表明した。一方、仏は米国主導を警戒、西欧レベルでの先端技術研究・開発の共同結成を呼びかけた。

18日 ○創政会が2回目の定例会 自民党田中派の竹下蔵相を中心とする「創政会」が2回目の定例会を開き、学者の講演を聴いた。代理も含む出席者は49人で、2月7日の初会合より9人増えた。竹下氏が総裁選出馬に必要な推薦人(50人)をほぼ

確保したことになり、党内他派閥に「創政会」と田中元首相グループとの修復は不可能」との判断が強まった。

19日 ○**対外経済対等推進本部が発足** 市場解放のための行動計画づくりの推進体制として、政府・与党対外経済対策推進本部が発足、中曽根首相は「市場開放に聖域はない」と強調した。

21日 ○**ブラジル新大統領が死去** ブラジル大統領に選ばれながら、就任式前夜に倒れたネベス氏が死去。憲法に基づき副大統領のジョゼ・サルネイ氏が新大統領に就任した。

22日 ○**新女満別空港が開港** 道内6番目のジェット化空機となった新女満別空港が開港。午前10時半、東京からの東亜国内航空DC9型ジェット一番機が到着した。

24日 ○**国民年金改正法が成立** 年金一元化のための国民年金法改正案が参院本会議で可決、参院の審議で修正し、衆院本会議で同意を受け、成立した。

○**臨教審が審議の概要公表** 臨時教育審議会が昨年11月以来の論議を「審議経過の概要(その2)」として公表。教育の面一性打破をめざす「個性主義」を教育改革の新理念として提唱。

○**三菱高島砒でガス爆発、11人死亡** 長崎県西彼杵郡高島町、三菱石炭鉱業高島砒業所の海底下の作業現場でガス爆発が起き、作業員16人のうち11人が死亡、救助された5人のうち、4人が重軽傷。

○**バンドン会議30周年で記念式典** バンドン会議30周年記念式典がインドネシアのバンドンで開かれ、アジア・アフリカ地域の新たな連帯を呼びかけた「新バンドン宣言」を採択。また中国とインドネシアの外相が18年ぶりに会談。

25日 ○**民社「長老支配」で大揺れ** 第30回民社党定期大会は、佐々木委員長の辞任に伴う人事抗争が尾を引き、「長老支配」の排除を巡って激論が交され、佐々木、春日の両氏が席上、面ばし合うなど党内の亀裂の深さをのぞかせたが、塚本氏を委員長とする新三役を選出して閉会した。

○**漁船「第71日東丸」の16人絶望** サハラン東海域で22日以降消息を絶っていた稚内市の沖合底引き漁船「第71日東丸」は、付近海底から同船の漁網などが発見されたことから、遭難、沈没したものと断定(24日)、捜索を続けた結果、4人の遺体を発見(28日)、残り12人は不明のまま絶望と見られ、遭難原因も不明のまま、捜索を打ち切った(29日)。

26日 ○**ワルシャワ条約、20年延長を決定** ワルシャワ条約機構加盟のソ連と東欧6か国の首脳がワルシャワで会談、5月14日に30年の期限が終了する同条約を20年延長する交書に調印、共同コミュニケを採択して閉会した。

29日 ○**桜田武氏死** 日本経営者団体連盟の生みの親である桜田武名学会会長が肝不全のため死去、81歳。

○**山下泰裕6段9連覇** 柔道日本一を決める全日本柔道選手権大会で、山下泰裕6段(東海大教)がライバル斉藤仁5段(国士館大教)を破り、9連覇を達成した。山下の連勝記録はこれで203勝を記録した。

○**死刑囚平沢を移送** 法務省は、帝銀事件の死刑囚平沢貞通(93)を仙台拘置支所から八王子医療刑務所に移送した。高齢を考慮したことと、人身保護法に基づく釈放の申し立てを審理している東京地裁の審尋に備えた措置と説明。

○**第91回天皇賞競馬でシンボリドルフが快勝** 第91回天皇賞競馬は一番人気のシンボリドルフが快勝、39~40年のシンザン以来の史上2頭目の5冠馬となった。日高管内門別町のシンボリ牧場産。

30日 ○**日米航空協議に合意** 日本貨物航空(NCA)の米国乗り入れをめぐる日米航空協議が決着し、日本はその見返りに、日本~ミクロネシア路線に5月1日から日米複数の航空会社連航を認めた。

○**経常黒字、空前の370億ドル** 大蔵省が発表した国際収支連報によると、59年度の経常黒字はこれまで最高の369億9.100万ドルに達し、貿易収支も456億2.100万ドルの黒字を記録した。

北海道議会時報 昭和60年第1号
昭和60年7月13日発行(通巻第37巻第1号)

編集 北海道議会議務局調査課
発行 北海道議会議務局

北海道議会時報第37巻第1号(昭和60年第1回臨時会第1回定例会)